

令和3年度 事業実施報告書

【期間 : 令和3年4月1日～令和4年3月31日】

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

経過報告 p. 2

各課の取り組み

I. 法人運営事業

○総務課

1. 法人運営事業 p. 3
2. 放課後児童クラブ事業（受託事業） p. 14
3. 地域包括支援センター（受託事業） p. 15

II. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課

1. 地域福祉活動推進事業 p. 19
2. 共同募金配分金事業 p. 39
3. 生活福祉資金貸付事業（受託事業） p. 46
4. 会員サービス事業（法人運営事業に包含） p. 49
5. 日常生活自立支援事業（受託事業） p. 51
6. 生活困窮者自立支援事業（受託事業） p. 53

III. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課

1. 居宅介護支援事業 p. 57

○在宅サービス課

1. 訪問介護事業 p. 62
2. 障がい者ヘルパーセンター事業 p. 64
3. 訪問入浴介護事業 p. 66
4. 福祉用具貸与事業 p. 68
5. 訪問看護事業 p. 69
6. 通所介護事業 p. 71
7. 介護予防事業（受託事業・菜の花館） p. 74

○障がい福祉課

1. 障がい者生活介護センター事業 p. 75
2. 放課後等デイサービス事業 p. 79
3. 就労支援事業 p. 81

経過報告

令和3年度の事業実績報告を行います。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の患者が市内でも毎月発生するなど気の抜けない状況が継続しました。8月には三重県が緊急事態宣言地域に追加され、9月から10月にかけて予定されていた三重とこわか国体（第76回国民体育大会）、三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）が中止になるなど、大きな影響が出ました。本会の事業運営においても少なからず影響を受けており、オミクロン株の流行期には、検査対象となる職員が増加、患者も発生しましたが、新型コロナウイルス感染症対策行動計画に基づいて、随時対策会議を開催し迅速な対応を行いました。

総務課においては、まず任期満了を迎えた役員の選任を行い、新しい業務執行体制を整えることができました。喫緊の課題である阿児地域福祉センターの在り方について市の方針が示され、阿児地域福祉センターでの通所介護事業は令和3年度末での終了が決定したことにより、理事会で報告しました。働き方改革については、昨年度に引き続き作業部会での検討を進めています。

地域支援課では、ふれあいサロン活動など住民主体の取り組みを慎重に進めていましたが、緊急事態宣言の発令によりその推進に再びブレーキがかかることになりました。本年度の最重要事業である第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定では、市とともに検討会議の開催、各種座談会、企業ヒアリングと多くの時間を費やし計画を完成させました。

企画事業部の各事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、昨年同期と比べても同等かそれ以上の実績をあげている事業がある一方、サービスの利用状況が思わしくない事業も散見されます。

在宅サービス課の通所介護事業は、今年度で廃止する阿児通所介護事業所を除いて好調な業績でした。訪問介護事業も業績が向上していますが、訪問入浴介護事業、訪問看護事業では利用状況が低調で、今後も事業実績と地域ニーズとの関係を注視していく必要があります。

居宅介護支援課においては、緊急事態宣言下において在宅勤務を常態化し出勤率を50%としました。また居宅介護支援課長を中心に感染対策委員会を立ち上げ、法人全体で各種感染症への対応を検討する体制を整えています。

障がい福祉課の大半の事業は計画を下回っており、特に放課後等デイサービス事業は、新規利用者が少なく新型コロナウイルス感染症の影響をうけ利用控えが発生するなど実績の低下が顕著となっています。市内で唯一の事業所ではあるもののその運営に関しては厳しい状況です。就労系の事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、昨年度と比べると回復してきていますが、計画を下回っています。虐待防止の取り組みとしては、障がい福祉課長を中心に虐待防止委員会を立ち上げ、法人全体での取り組みに着手しました。

介護や支援の現場において、道義的責任が認められる利用者の怪我や職員の受傷事故も散見されており、重大事故につながらないようにケースごとに検証を重ね、安全衛生委員会を通じて事故防止の啓発を行っています。令和4年度に向け、新型コロナウイルス感染症の状況は最も気にかかる点ではありますが、感染防止対策をこれまで同様に徹底し、事業運営に支障がないように努力してまいります。

中区分において掲げた「目標」に対して、下記の5段階の評価基準で事業評価を記載しました。

*中区分の例：P3 総務課 (1) 法人運営

記号	評価基準
A	・計画を大きく上回った
B	・概ね計画どおり
C	・十分ではなく、努力を要する
D	・計画を大きく下回った
E	・未着手、準備中



I. 法人運営事業

○総務課（事業方針）

単年度収支均衡に寄与し、効率的かつ効果的な組織運営ができる経営改善を重点として次の通り取り組みを行います。



1. 法人運営事業・・・・・・・・支出予算 104,162千円

(1) 法人運営

(組織運営)

■目標

- ①経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等に取り組み、法人運営の強化を図ります。
- ②本会事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査及び内部監査を実施します。
- ③組織機構の再編や事業内容及び実施体制などを見直し、収支の均衡が図れるよう身の丈にあった経営改善に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①定例理事会を開催します。（年3回） また、理事会、評議員会を必要に応じて柔軟に開催します。 ・参考：令和2年度 理事会 6回開催 評議員会 3回開催	100%	①下表のとおり理事会を開催しました。（定例理事会：3回、臨時理事会：3回、書面理事会：3回）		
		開催日	決議及び協議事項（○印は協議事項）	出席者
		[第1回] 6月11日	1. 令和2年度事業実施報告について 2. 令和2年度社会福祉事業会計決算について 3. 理事・監事選任規程の一部変更について 4. 事務局規程の一部変更について 5. 評議員候補者の推薦について 6. 評議員選任・解任委員の選任について 7. 理事候補者及び監事候補者の推薦について 8. 令和3年度第1回評議員会の招集について	理事9名 監事2名
		[第2回] 6月25日	1. 会長の選定について 2. 副会長の選定について	理事8名 監事2名
[第3回書面]	1. 顧問の委嘱について	理事9名		

		7月23日		書面協議
	[第4回]	9月22日	1. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について ①社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について ②大王・志摩地域包括支援センター運営業務の受託について	理事9名 監事2名
	[第5回]	10月22日	1. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う特別有給休暇規程の制定について ①「阿児健康福祉センターサンライフあご」の大規模改修に伴う阿児通所介護事業所の事業展開について ②重層的支援体制整備事業の実施について ③大王・志摩地域包括支援センター運営業務の受託について	理事8名 監事2名
	[第6回書面]	11月19日	1. 令和3年度第2回評議員会の招集について	理事9名 書面協議
	[第7回]	12月22日	1. 虐待防止対策実施要綱の制定について 2. 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策要綱の制定について ①職員退職手当の制度設計について	理事9名 監事2名
	[第8回書面]	2月25日	1. 令和3年度第3回評議員会の招集について	理事9名 書面協議
	[第9回]	3月25日	1. 令和3年度資金収支第1次補正予算について 2. 職員給与規程の一部変更について 3. 職員就業規程の一部変更について 4. 嘱託職員就業規程の一部変更について 5. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 6. 職員の懲戒処分等の手続及び公表に関する規程の一部変更について 7. 職員在宅勤務規程の一部変更について 8. 職員等人事評価実施規程の一部変更について 9. 育児休業等に関する規程の一部変更について 10. 介護休業等に関する規程の一部変更について 11. 役員等賠償責任保険の契約について	理事7名 監事2名

<p>②定例評議員会を開催します。(年3回)</p>	<p>100%</p>	<p>12. 令和4年度事業計画について 13. 令和4年度資金収支予算について</p>													
<p>③内部監査を実施します。(年2回)</p>	<p>100%</p>	<p>②下表のとおり評議員会を開催しました。(定例評議員会：3回)</p>													
<p>④監事監査を実施します。(年2回)</p>	<p>100%</p>	<p>③実施体制や効果について検討した後、内部監査実施要領を定め、内部監査を下記のとおり実施しました。</p>													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="763 301 999 349">開催日</th> <th data-bbox="999 301 1957 349">決議及び協議事項</th> <th data-bbox="1957 301 2136 349">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="763 349 999 544"> <p>[第1回] 6月25日</p> </td> <td data-bbox="999 349 1957 544"> <p>1. 令和2年度事業実施報告について 2. 令和2年度社会福祉事業会計決算について 3. 理事及び監事の選任について</p> </td> <td data-bbox="1957 349 2136 544"> <p>評議員 11名 会長 1名 副会長 1名 監事 2名</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 544 999 738"> <p>[第2回] 12月22日</p> </td> <td data-bbox="999 544 1957 738"> <p>第4回から第7回の理事会事項等について報告を行いました。</p> </td> <td data-bbox="1957 544 2136 738"> <p>評議員 12名 会長 1名 副会長 2名 監事 2名</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 738 999 884"> <p>[第3回] 3月25日</p> </td> <td data-bbox="999 738 1957 884"> <p>1. 令和3年度資金収支第1次補正予算について 2. 令和4年度事業計画について 3. 令和4年度資金収支予算について</p> </td> <td data-bbox="1957 738 2136 884"> <p>評議員 11名 会長 1名 副会長 2名</p> </td> </tr> </tbody> </table>	開催日	決議及び協議事項	出席者	<p>[第1回] 6月25日</p>	<p>1. 令和2年度事業実施報告について 2. 令和2年度社会福祉事業会計決算について 3. 理事及び監事の選任について</p>	<p>評議員 11名 会長 1名 副会長 1名 監事 2名</p>	<p>[第2回] 12月22日</p>	<p>第4回から第7回の理事会事項等について報告を行いました。</p>	<p>評議員 12名 会長 1名 副会長 2名 監事 2名</p>	<p>[第3回] 3月25日</p>	<p>1. 令和3年度資金収支第1次補正予算について 2. 令和4年度事業計画について 3. 令和4年度資金収支予算について</p>	<p>評議員 11名 会長 1名 副会長 2名</p>	
開催日	決議及び協議事項	出席者													
<p>[第1回] 6月25日</p>	<p>1. 令和2年度事業実施報告について 2. 令和2年度社会福祉事業会計決算について 3. 理事及び監事の選任について</p>	<p>評議員 11名 会長 1名 副会長 1名 監事 2名</p>													
<p>[第2回] 12月22日</p>	<p>第4回から第7回の理事会事項等について報告を行いました。</p>	<p>評議員 12名 会長 1名 副会長 2名 監事 2名</p>													
<p>[第3回] 3月25日</p>	<p>1. 令和3年度資金収支第1次補正予算について 2. 令和4年度事業計画について 3. 令和4年度資金収支予算について</p>	<p>評議員 11名 会長 1名 副会長 2名</p>													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="763 984 999 1032">開催日</th> <th data-bbox="999 984 1957 1032">決議及び協議事項</th> <th data-bbox="1957 984 2136 1032">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="763 1032 999 1080"> <p>6月30日</p> </td> <td data-bbox="999 1032 1957 1080"> <p>法人内11カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</p> </td> <td data-bbox="1957 1032 2136 1080"> <p>事務局長 総務部長</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="763 1080 999 1177"> <p>12月16日</p> </td> <td data-bbox="999 1080 1957 1177"> <p>監事と共に、法人内11カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</p> </td> <td data-bbox="1957 1080 2136 1177"> <p>事務局 2名 監事 2名</p> </td> </tr> </tbody> </table>	開催日	決議及び協議事項	出席者	<p>6月30日</p>	<p>法人内11カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</p>	<p>事務局長 総務部長</p>	<p>12月16日</p>	<p>監事と共に、法人内11カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</p>	<p>事務局 2名 監事 2名</p>				
開催日	決議及び協議事項	出席者													
<p>6月30日</p>	<p>法人内11カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</p>	<p>事務局長 総務部長</p>													
<p>12月16日</p>	<p>監事と共に、法人内11カ所の事業所を対象に、「内部監査確認書類チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</p>	<p>事務局 2名 監事 2名</p>													
		<p>④下表のとおり監事監査を実施しました。</p>													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="763 1278 999 1326">開催日</th> <th data-bbox="999 1278 1957 1326">内容</th> <th data-bbox="1957 1278 2136 1326">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="763 1326 999 1417"> <p>[第1回] 5月27日</p> </td> <td data-bbox="999 1326 1957 1417"> <p>令和3年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和2年度事業実施報告書 ②令和2年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)</p> </td> <td data-bbox="1957 1326 2136 1417"> <p>監事 2名</p> </td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	<p>[第1回] 5月27日</p>	<p>令和3年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和2年度事業実施報告書 ②令和2年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)</p>	<p>監事 2名</p>							
開催日	内容	出席者													
<p>[第1回] 5月27日</p>	<p>令和3年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①令和2年度事業実施報告書 ②令和2年度決算報告書(貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など)</p>	<p>監事 2名</p>													

<p>⑤管理職会議を原則毎月1回開催し、運営状況及び方向性の確認と協議を行います。</p> <p>定例会議：12回 臨時会議：3回</p> <p>⑥役員の定年制及び理事会などの夜間開催について方針を確定します。</p> <p>⑦その他（計画外）</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="752 126 994 277"> <p>[第2回] 11月25日</p> </td> <td data-bbox="994 126 1957 277"> <p>令和3年度上半期決算監査（下記書類を中心に監査） ①令和3年度上半期事業実施報告書 ②令和3年度上半期決算報告書</p> </td> <td data-bbox="1957 126 2143 277"> <p>監事2名</p> </td> </tr> </table> <p>⑤原則、毎月第3水曜日を開催日とし、管理職会議を15回開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。</p> <p>『阿児健康福祉センター「サンライフあご」の大規模改修について』『令和3年度組織変更（人事異動等）による課題等について』『令和2年度決算概要について』『令和3年度志摩市社会福祉大会について』『感染対策委員会について』『新型コロナウイルス感染症対策会議』『令和4年度の組織編制についての課題整理』『居宅介護支援事業所におけるICTの導入について』『最低賃金の改定による時給単価の改正について』『待遇差比較表の点検について』『大王・志摩地域包括支援センターの受託について』『退職金制度について』『重層的支援体制整備事業の実施について』『上半期決算状況について』『人事評価制度の基本設計について』『財政改善計画について』『正職員の基本給の基本設計について』『労働災害防止対策について』『令和4年度組織体制について』『介護職員処遇改善支援補助金について』</p> <p>⑥第1回理事会において、理事及び監事の定年について協議を行い、会長より提案いたしました原案に基づき、理事会の承認を得ました。（議案第3号 理事・監事選任規程の一部変更について）</p> <p>⑦-1 下表のとおり評議員の任期満了に伴い、評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="763 807 994 855">開催日</th> <th data-bbox="994 807 1957 855">決議事項</th> <th data-bbox="1957 807 2143 855">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="763 855 994 951"> <p>[第1回] 6月22日</p> </td> <td data-bbox="994 855 1957 951"> <p>1. 評議員の選任について</p> </td> <td data-bbox="1957 855 2143 951"> <p>委員6名 会長1名</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦-2 市内での新型コロナウイルス感染症の陽性患者の確認等に伴い、管理職を構成員とした対策本部会議を24回開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。</p> <p>「本会職員及び本会サービス利用者が陽性患者となったことに対する対応」「本会職員及び本会サービス利用者が濃厚接触者となった対応」「新型コロナウイルス感染症対策行動計画の修正事項」「三重県が実施する抗原検査の対応」「市内で発生した陽性患者情報による対応」「三重県緊急事態宣言が発令されたことによる対応」</p>	<p>[第2回] 11月25日</p>	<p>令和3年度上半期決算監査（下記書類を中心に監査） ①令和3年度上半期事業実施報告書 ②令和3年度上半期決算報告書</p>	<p>監事2名</p>	開催日	決議事項	出席者	<p>[第1回] 6月22日</p>	<p>1. 評議員の選任について</p>	<p>委員6名 会長1名</p>
<p>[第2回] 11月25日</p>	<p>令和3年度上半期決算監査（下記書類を中心に監査） ①令和3年度上半期事業実施報告書 ②令和3年度上半期決算報告書</p>	<p>監事2名</p>									
開催日	決議事項	出席者									
<p>[第1回] 6月22日</p>	<p>1. 評議員の選任について</p>	<p>委員6名 会長1名</p>									

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="91 1350 203 1398">評価</td> <td data-bbox="203 1350 282 1398">B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 定例理事会、評議員会は事業計画、予算、事業報告及び決算を中心として議案を提出し、全議案が承認されました。 本会の理事及び評議員、評議員選任・解任委員の任期満了に伴い、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催し、新たな役員等を選任いたしました。 任期満了に伴う理事の選任により、会長、副会長が再任されました。
評価	B		

	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の点について理事会で協議を行いました。 「社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について」、「大王・志摩地域包括支援センター運営業務の受託について」、「『阿児健康福祉センター「サンライフあご」の大規模改修に伴う阿児通所介護事業所の事業展開について』、「重層的支援体制整備事業の実施について」、「職員退職手当の制度設計について」 ・令和3年度の経営状況は、当期活動増減差額（利益）が3,700万円余りの黒字決算となりましたが、前年対比では1,600万円余りの減額となりました。主な要因は、収益では居宅介護支援事業所との情報交換などの連携を密にしたこと等により、訪問介護事業、通所介護事業において利用者が増加したことや加算を算定できる事業運営を行ったことから介護保険事業収益が前年対比1,800万円余り増加しました。障がい福祉サービス事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響によるサービスの利用控えにより障がい福祉サービス等事業収益が前年対比2,400万円余り減少しました。また費用では、退職給与引当金の繰入額が増加したことや災害備蓄品を購入したことなどから400万円余り増加しました。
--	--

(職員管理)

■目標

- ①次世代職員の育成と組織の活性化を目指し、人事評価制度の効果的な運用と評価につながる研修（計画）を計画し実施します。
- ②持続可能な法人運営を目指し、事業に必要とされる資格を取得させる仕組みを構築します。
- ③相互理解が進む人事異動により、職員の士気高揚に努めます。
- ④各事業場において、正職員・嘱託職員・契約職員・パート職員のバランスに注視し、余剰人員が生じないような体制整備を行います。
- ⑤職員の働き方を見直し、選ばれる職場づくりに努めることで、優秀な人材確保につなげます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①人事評価制度の運用について、目標設定、評価基準などこれまでの運用の課題を検証し、制度が成熟するよう改善に努めます。	30%	①作業部会において令和4年度の人事評価マニュアルの改善案について検討し、評価期間等について見直しを行ったことから関係する規程を変更しましたが、令和4年度から運用を開始する設計変更には至りませんでした。（令和4年度は試行運用を予定します。）
②人事評価の精度を高めるための研修を実施し、人事評価の効果的な運用につなげます。	0%	②令和3年度において人事評価制度の設計変更を整理することができなかったことから、実施いたしませんでした。
③新規採用職員、既存職員とも、三重県社協のキャリアパス対応生涯研修課程などを活用	100%	③三重県社会福祉協議会が主催する研修会に参加しました。 ・市町社会福祉協議会職員新任職員研修会

<p>し、階層に応じた研修を順次、受講させていただきます。</p> <p>④パートタイム・有期雇用労働法による正規雇用と非正規雇用の不合理な待遇差を解消するため、職員就業規程や職員給与規程等の関係諸規程の見直しをすすめるとともに、職員説明会を開催するなど理解が深まる対応に努めます。</p> <p>⑤職員給与規程の見直しと併せて長期的な職員採用計画について協議を継続します。</p> <p>⑥セクハラ、マタハラ、パワハラなどのハラスメント対策を強化します。</p> <p>⑦新型コロナウイルス感染症による感染防止対策として実施した在宅勤務について、その効果を検証します。</p> <p>⑧その他（計画外）</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月4日</td> <td>研修内容：社会福祉協議会の基本的な役割、機能について理解する (オンライン開催)</td> <td>正職員1名 パート職員1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・キャリアパス対応生涯研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日等</th> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2日間</td> <td>チームリーダー</td> <td>研修内容：チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</td> <td>正職員4名</td> </tr> <tr> <td>1月25日 1月26日</td> <td>管理職員コース</td> <td>研修内容：管理職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</td> <td>正職員2名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	6月4日	研修内容：社会福祉協議会の基本的な役割、機能について理解する (オンライン開催)	正職員1名 パート職員1名	開催日等	区分	内容	出席者	2日間	チームリーダー	研修内容：チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員4名	1月25日 1月26日	管理職員コース	研修内容：管理職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員2名
	開催日	内容	出席者																	
	6月4日	研修内容：社会福祉協議会の基本的な役割、機能について理解する (オンライン開催)	正職員1名 パート職員1名																	
	開催日等	区分	内容	出席者																
	2日間	チームリーダー	研修内容：チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員4名																
	1月25日 1月26日	管理職員コース	研修内容：管理職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員2名																
	80%	<p>④令和3年7月に事務局長、総務部長、総務課職員2名により作業部会を再編し、令和2年度に検討した課題を基本に本会の給料、賞与、各種手当、退職金などの待遇について再点検を行い、待遇差解消のための方策について検討しました。(12回開催)</p> <p>協議によって整理した主な内容は以下のとおりです。</p> <p>「業務整理」「最低賃金の単価変更に伴う規程の見直し」「退職金制度の変更に伴う規程の見直し」「財政改善計画の作成手順の確認」「人事評価制度の期間の見直し」</p>																		
	50%	⑤具体的な採用計画は、財政改善計画の作成と合わせて行う手順について検証しました。																		
	0%	⑥今年度は着手できませんでした。																		
	90%	⑦三重県緊急事態措置などの感染防止対策に伴い在宅勤務の実施について検討し、総務課、地域支援課、居宅介護支援課において在宅勤務を実施しました。在宅勤務を実施したことにより、感染リスクが分散されたことについては一定の効果があつたと分析しています。令和3年度に感染した職員は3名です。																		
	⑧下表のとおり懲罰委員会を開催しました。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 11月8日</td> <td>1. 交通死亡事故に関する懲罰について (国道167号線新穴川交差点付近にて発生した交通死亡事故)</td> <td>副会長2名 理事1名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	[第1回] 11月8日	1. 交通死亡事故に関する懲罰について (国道167号線新穴川交差点付近にて発生した交通死亡事故)	副会長2名 理事1名													
開催日	内容	出席者																		
[第1回] 11月8日	1. 交通死亡事故に関する懲罰について (国道167号線新穴川交差点付近にて発生した交通死亡事故)	副会長2名 理事1名																		

		[第2回] 3月10日	1. 交通死亡事故に関する懲罰について (国道167号線新穴川交差点付近にて発生した交通死亡事故)	事務局長1名 職員代表1名
--	--	----------------	--	------------------

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に整理ができなかったパートタイム・有期雇用労働法に関わる退職手当の課題については、概ね改善することができました。 人事評価制度は職員給与規程の設計変更にあわせ目標設定や評価基準について見直しを行うため準備を進めてきましたが、令和4年度からの運用には間に合わせることはできませんでした。令和4年度は試行的運用とし、準備を進めていきます。
評価	

(その他)

■目標

- ①大災害などの非常時において本会の担うべき業務と事業の再開・継続に向けた過程を明らかにするために作成したBCP（事業継続計画）を検証します。
- ②BCP（事業継続計画）と連動した福祉版DCP（地域継続計画）を作成するため、関連部署と連携しながら協議を開始します。
- ③地域福祉センターの老朽化が進んでおり修繕費等の管理費が増大していることから、その在り方について、市と価値観を共有したうえで、収支のバランスが整うよう協議できる体制を要望します。
- ④受託事業に関する迅速な対応を研究します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①これまで作成したBCP（事業継続計画）を検証し、実状に応じ修正を行います。	100%	①令和2年第4回理事会（令和2年12月18日開催）において報告いたしましたBCP（事業継続計画）は継続しており、今後、実状に応じ修正を行います。
②関連部署と調整のうえ、事業者等と福祉版DCPの協議を行います。	0%	②令和3年度においては、協議を開始することができませんでした。
③市とサンライフあご大規模改修に向けた協議を継続します。	100%	③8月31日、志摩市より阿児健康福祉センター「サンライフあご」の大規模改修に伴う阿児通所介護事業の廃止について説明がありました。このことにより、第4回理事会に阿児通所介護事業所を廃止する運営方針について報告したところ役員より再協議を求められました。第5回理事会において阿児通所介護事業所の運営方針について再協議した結果、廃止する方針により承認を得ました。

<p>④他の地域福祉センターの大規模修繕費用については、市に理解を求め、費用負担の軽減に努めます。</p>	100%	<p>④磯部健康福祉センターかがやきの空調設備の改修など市との協議による負担軽減に努めました。</p> <p>・志摩市地域福祉センターの管理運営（利用者数）</p> <table border="1" data-bbox="757 229 1816 429"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島</th> <th>大王</th> <th>阿児</th> <th>磯部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～9月</td> <td>5,990名</td> <td>5,526名</td> <td>3,360名</td> <td>9,251名</td> </tr> <tr> <td>10月～3月</td> <td>5,893名</td> <td>5,232名</td> <td>2,364名</td> <td>8,295名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,883名</td> <td>10,758名</td> <td>5,724名</td> <td>17,546名</td> </tr> </tbody> </table> <p>（利用者：通所介護、生活介護、障がい児童デイサービス、ボランティア）</p>		浜島	大王	阿児	磯部	4月～9月	5,990名	5,526名	3,360名	9,251名	10月～3月	5,893名	5,232名	2,364名	8,295名	合計	11,883名	10,758名	5,724名	17,546名
	浜島	大王	阿児	磯部																		
4月～9月	5,990名	5,526名	3,360名	9,251名																		
10月～3月	5,893名	5,232名	2,364名	8,295名																		
合計	11,883名	10,758名	5,724名	17,546名																		
<p>⑤大災害などの非常時に必要とされる防災用品について品目及び数量を精査したうえで備蓄します。</p>	100%	<p>⑤BCP（事業継続計画）において規定しているアルファ米、飲料水などの災害備蓄品は、利用者及び職員分を3日分購入しました。</p>																				
<p>⑥新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に向けた情報収集などの準備を進めます。</p>	100%	<p>⑥志摩市が実施するワクチン接種の情報を収集し、法人内において情報を共有しました。</p>																				

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 871 282 919"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉版DCPへの着手が遅れている状況です。令和4年度において協議を開始できるよう環境整備を含め対策を講じていきます。 ・阿児健康福祉センター「サンライフあご」は、経年劣化等により令和4年度から2ヵ年に渡り大規模改修が行われることとなりました。このことにより、「サンライフあご」にて展開していた事業（事務所）は、改修中は浜島町や磯部町などの地域福祉センターに分散し、運営することといたしました。
評価	B		

(2) 会員サービス事業

■目標

①貴重な自主財源である会費については、自治会及び関係機関、法人等に協力を求め、会費増額に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①広報誌やホームページを通じて社協を理解してもらえよう、活動や事業の積極的なPRを行います。</p>	100%	<p>①社協だよりやホームページ等において写真を多用し、視覚から社協の理解が深まるよう工夫しました。また、活動報告や参加募集等については、SNSの活用により、タイムリーな情報発信に努めました。</p>

<p>②資料等へ会費の情報を掲載し、納入促進を図ります。</p> <p>③会費の使いみちを明確にし、会費納入依頼の際に、市民に分かりやすく説明します。</p> <p>④特別会費については、募集する企業について見直し、幅広い企業への募集を実施します。加入状況に応じて再募集を実施し、加入者の増加と増収を図ります。(前年比+10件以上)</p>	100%	<p>②③一般会費の趣意書において、会費の用途をわかりやすく示しました。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、募集開始の時期が例年より遅れた地区もありましたが、全ての地区で実施していただくことができました。</p>																																																																																	
	101%	<p>④特別会費は新型コロナウイルス感染症の拡大に対応した事業や会員サービスについての案内文書を同封し、例年通り7月に市内の企業を中心に文書の郵送により協力をお願いしました。今年度は新たに28事業所を追加して協力をお願いしました。実績件数、金額ともに微増となりました。</p> <p>・会費・寄附金等の実績 本会の経営基盤の確立と事業の充実を図るため、自治会や関係団体の協力を得て会員加入に向けた取り組みを行いました。</p> <p>・一般会費の状況</p> <table border="1" data-bbox="763 679 2011 855"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>1,194件</td> <td>1,296件</td> <td>2,042件</td> <td>3,037件</td> <td>2,083件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>597,000円</td> <td>636,203円</td> <td>1,024,009円</td> <td>1,476,794円</td> <td>1,042,000円</td> </tr> <tr> <td>納入件数合計</td> <td colspan="2">9,652件 [前年比±0件]</td> <td colspan="2">納入金額合計</td> <td>4,776,006円 [前年比+2,478円]</td> </tr> </tbody> </table> <p>・賛助会費の状況</p> <table border="1" data-bbox="763 903 2011 1078"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>23件</td> <td>24件</td> <td>27件</td> <td>57件</td> <td>14件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>75,000円</td> <td>72,000円</td> <td>81,000円</td> <td>174,000円</td> <td>42,000円</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>納入件数合計</td> <td colspan="2">149件 [前年比-14件]</td> <td colspan="2">納入金額合計</td> <td colspan="2">459,000円 [前年比-41,000円]</td> </tr> </tbody> </table> <p>・特別会費の状況</p> <table border="1" data-bbox="763 1126 2011 1398"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>10件</td> <td>22件</td> <td>10件</td> <td>105件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>65,000円</td> <td>120,000円</td> <td>110,000円</td> <td>670,000円</td> </tr> <tr> <th></th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <td>納入件数</td> <td>34件</td> <td>17件</td> <td colspan="2">198件 [前年比+12件]</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>265,000円</td> <td>110,000円</td> <td colspan="2">1,340,000円 [前年比+75,000円]</td> </tr> </tbody> </table> <p>・会費の推移 [単位：円]</p>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	納入件数	1,194件	1,296件	2,042件	3,037件	2,083件	納入金額	597,000円	636,203円	1,024,009円	1,476,794円	1,042,000円	納入件数合計	9,652件 [前年比±0件]		納入金額合計		4,776,006円 [前年比+2,478円]		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	納入件数	23件	24件	27件	57件	14件	4件	納入金額	75,000円	72,000円	81,000円	174,000円	42,000円	15,000円	納入件数合計	149件 [前年比-14件]		納入金額合計		459,000円 [前年比-41,000円]			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	納入件数	10件	22件	10件	105件	納入金額	65,000円	120,000円	110,000円	670,000円		磯部町	市外	合計		納入件数	34件	17件	198件 [前年比+12件]		納入金額	265,000円	110,000円	1,340,000円 [前年比+75,000円]
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																																																																														
納入件数	1,194件	1,296件	2,042件	3,037件	2,083件																																																																														
納入金額	597,000円	636,203円	1,024,009円	1,476,794円	1,042,000円																																																																														
納入件数合計	9,652件 [前年比±0件]		納入金額合計		4,776,006円 [前年比+2,478円]																																																																														
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外																																																																													
納入件数	23件	24件	27件	57件	14件	4件																																																																													
納入金額	75,000円	72,000円	81,000円	174,000円	42,000円	15,000円																																																																													
納入件数合計	149件 [前年比-14件]		納入金額合計		459,000円 [前年比-41,000円]																																																																														
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町																																																																															
納入件数	10件	22件	10件	105件																																																																															
納入金額	65,000円	120,000円	110,000円	670,000円																																																																															
	磯部町	市外	合計																																																																																
納入件数	34件	17件	198件 [前年比+12件]																																																																																
納入金額	265,000円	110,000円	1,340,000円 [前年比+75,000円]																																																																																

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会費	5,115,105	4,989,044	5,011,348	4,773,528	4,776,006
賛助会費	514,000	461,000	478,000	500,000	459,000
特別会費	1,290,000	1,390,000	1,353,000	1,265,000	1,340,000
合計	6,919,105	6,840,044	6,842,348	6,538,528	6,575,006

・寄附金の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
寄附件数	4件	10件	5件	28件
寄附金額	148,500円	371,821円	93,262円	678,029円

	磯部町	市外	合計
寄附件数	17件	2件	66件〔前年比：+6件〕
寄附金額	521,000円	296,700円	2,109,312円〔前年比+223,345円〕

※物品のうち1万円以上の価値のあるものについては、金額に換算しています。

・寄附金額の推移

[単位：円]

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
寄附金	2,358,809	2,844,678	4,477,406	1,885,967	2,109,312

⑤その他（計画外）

⑤-1 広報活動の推進

・広報誌やホームページを活用して、本会の役割や活動などの情報提供・発信に努めました。

〈1〉志摩市社会福祉協議会ホームページの運営 [[https:// www.shima-fukushikyo.or.jp](https://www.shima-fukushikyo.or.jp)]

内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ（社協日記・市民活動ひろば等）

〈2〉広報誌「志摩市社協だより」の発行

発行回数 / 計6回発行（奇数月の1日発行）

A4版2色刷り（4ページ）／約16,000部発行（1回あたり）

〈3〉SNSの活用

新鮮な情報を発信するため、スピーディーな情報発信に努めています。

⑤-2 令和3年度志摩市社会福祉大会

・多年にわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力をいただいた方々の功績に敬意と感謝の意を表すことを目的とした志摩

		<p>市社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加対象者を限定するなど開催規模を縮小して実施しました。</p> <p>開催日 / 令和3年11月12日（金） 13：00～14：00 場所/阿児アリーナ</p> <p>内容 / 顕彰</p> <p>顕彰者数 / 社会福祉功労表彰 個人：6人 団体：8団体 社会福祉功労感謝 個人：4人 団体（法人）：7団体</p>
--	--	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・会員募集については、新型コロナウイルス感染症の影響により、募集時期の変更等地域の実情に合わせた対応を行いました。会費の実績額は前年度と比較し、賛助会費は減少しましたが、特別会費、一般会費ともに微増となり、会費全体でも微増となりました。特別会費についてはわずかではありますが目標件数を上回ることができました。</p>
評価	B		

(3) 志摩市連携事業

■目標

①引き続き市（介護・総合相談支援課、生活支援課）に職員を派遣し、市との福祉サービス事業の連携強化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①定期的に地域支援コーディネーター会議を開催し、地域福祉事業の方向性の確認、実践方法などについて協議し、共有します。	100%	①介護・総合相談支援課に職員1名を派遣しました。町を単位として地域福祉活動に取り組む地域支援コーディネーターと毎月開催する会議などにより連携を図り、地域との協働による地域づくりを推進しました。
②経済的な課題を抱えている市民の相談を受け止め、関係機関と連携を図りながら市民に寄り添った支援を進めます。	100%	②生活支援課に職員1名を派遣し、経済的な生活課題を抱える市民の相談を受け止め、関係機関と連携を図りながら市民に寄り添った支援を進めました。

■評価

目標の達成度	・志摩市からの要請を受け、介護・総合相談支援課及び生活支援課にそれぞれ1名の職員を派遣し、その業務効果については一定の評価をいただいています。引き続き、市との福祉サービス事業の連携強化に努めていきます。
評価 B	

(4) 障がい者雇用促進事業

■目標

①障がい者の法定雇用率を下回らないよう障がい者雇用に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①障がい特性に応じた職場配置や業務を検証し、職場定着を推進します。 ②法定雇用率が次年度も充足するよう障がい者の採用を検討し、必要に応じて募集します。	100%	①②障がい者雇用の状況は、令和3年度実績で身体障がい者5名、知的障がい者2名、精神障がい者1名、合計8名であり法定雇用率は法定要件を遵守いたしました。【法定雇用率：2.3%】

■評価

目標の達成度	・令和3年6月末で1名が退職いたしましたが、令和3年度における法定雇用率は法定要件を遵守いたしました。
評価 B	

2. 放課後児童クラブ事業（受託事業）・・・・・・支出予算 20,280千円

(1) 放課後児童クラブ事業

■目標

①市及び関係機関と協調し磯部及び浜島地域において、放課後児童の健全育成と保護者の就労支援に寄与すべく、事業を運営します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①年2回放課後児童クラブ運営委員会を開催し、	80%	①放課後児童クラブ運営委員会は、11月4日及び2月17日に開催しました。当該委員会は「保護者の代表」、「浜島・磯部の小

<p>保護者及び有識者代表の意見・助言を事業運営に活かしていきます。</p> <p>②必要に応じて利用者ニーズをアンケート等でつかみ、施設の環境整備等を行っていきます。</p> <p>③浜島放課後児童クラブのネット環境構築を目指して、市関連課及び関連各部署との検討を始めます。</p>	<p>60%</p> <p>100%</p>	<p>学校長」、「主任児童委員」により構成されており、現状の児童クラブ運営状態の把握、また、それぞれの立場からのニーズ及び意見を聞くことにより、放課後児童クラブ事業運営に活かしていくことを目的としています。令和3年度に関しては、新型コロナウイルス感染症対策及び分散登校時の対応についての議事に多くの時間を割きました。</p> <p>②磯部放課後児童クラブに2月より新しい支援員を配置し、多様な児童に対応しうる指導体制を構築しました。また、自治会及び志摩市との協議により、児童保育室の排煙窓のワイヤー交換を行い稼働できるようにしました。非常用誘導灯の交換も行いました。浜島放課後児童クラブのコピー機は、経年劣化により正常なコピーができなかったため、新しい機器を導入しました。</p> <p>③浜島放課後児童クラブのネット環境の構築は、志摩市こども家庭課より令和4年度放課後児童クラブ事業当初予算見積書にデータ通信料の計上について許諾を得ました。またテザリング対応のためのパソコンを導入し、令和4年度より稼働予定です。</p> <p>・経営状況</p> <table border="1" data-bbox="757 587 1603 975"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島</th> <th>磯部</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>25名</td> <td>75名</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,678名</td> <td>10,528名</td> <td>12,206名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-617名</td> <td>-573名</td> <td>-1,190名</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>6名</td> <td>40名</td> <td>46名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td></td> <td></td> <td>2,849,435円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td></td> <td></td> <td>936,169円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・1日平均利用者数は、土曜日を除く。</p>		浜島	磯部	合計	定員	25名	75名	100名	延べ利用者数	1,678名	10,528名	12,206名	[前年比]	-617名	-573名	-1,190名	1日平均利用者数	6名	40名	46名	当期利益			2,849,435円	当期利益増減値 [前年比]			936,169円
	浜島	磯部	合計																											
定員	25名	75名	100名																											
延べ利用者数	1,678名	10,528名	12,206名																											
[前年比]	-617名	-573名	-1,190名																											
1日平均利用者数	6名	40名	46名																											
当期利益			2,849,435円																											
当期利益増減値 [前年比]			936,169円																											

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1177 282 1225"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・令和3年8月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、9月期の小学校分散登校に伴う児童の自主休会の影響があり、両放課後児童クラブとも利用者数が著しく減少しました。また、自宅で児童を見守る家庭内体制ができたことにより高学年児童を中心に退会者がみられたこと及び10月以降も児童クラブでの感染を恐れて自主的に休会する児童もみられたことにより、年間通しての利用児童は減少しました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策として“マスクの着用” “施設の常時換気” “手指消毒”等を継続的に行っています。</p>
評価	B		

3. 地域包括支援センター（受託事業）・・・・・・支出予算 24,979千円

(1) 浜島・磯部地域包括支援センター事業

■目標

①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がチームアプローチによる住民の健康保持及び生活の安定に向けた必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																															
①高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けるとともに、必要に応じ訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぎます。	120%	<p>①総合相談支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関する総合相談窓口として相談支援を行いました。 ・自宅への訪問や関係者からの情報提供を受け、適切な制度やサービスへつなげました。また、民生委員や生活困窮者自立支援事業担当者、地域支援コーディネーターとの同行訪問も適宜行っています。 ・地域支援体制づくりのために、地域ケア会議の開催や認知症カフェ、民生児童委員協議会研修会等へ参加しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活介護</th> <th>介護保険</th> <th>介護予防</th> <th>医療</th> <th>経済問題</th> <th>虐待</th> <th>福祉サービス (介護保険外)</th> <th>権利擁護</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島町</td> <td>181件</td> <td>153件</td> <td>0件</td> <td>25件</td> <td>87件</td> <td>60件</td> <td>14件</td> <td>0件</td> <td>7件</td> <td>527件</td> </tr> <tr> <td>磯部町</td> <td>188件</td> <td>214件</td> <td>0件</td> <td>42件</td> <td>33件</td> <td>20件</td> <td>18件</td> <td>0件</td> <td>11件</td> <td>526件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>369件</td> <td>372件</td> <td>0件</td> <td>67件</td> <td>120件</td> <td>80件</td> <td>33件</td> <td>0件</td> <td>18件</td> <td>1,059件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(参考)</th> <th>令和2年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島町</td> <td>487件</td> </tr> <tr> <td>磯部町</td> <td>391件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>878件</td> </tr> </tbody> </table>		生活介護	介護保険	介護予防	医療	経済問題	虐待	福祉サービス (介護保険外)	権利擁護	その他	合計	浜島町	181件	153件	0件	25件	87件	60件	14件	0件	7件	527件	磯部町	188件	214件	0件	42件	33件	20件	18件	0件	11件	526件	その他	0件	5件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	6件	合計	369件	372件	0件	67件	120件	80件	33件	0件	18件	1,059件	(参考)	令和2年度実績	浜島町	487件	磯部町	391件	合計	878件
			生活介護	介護保険	介護予防	医療	経済問題	虐待	福祉サービス (介護保険外)	権利擁護	その他	合計																																																					
浜島町	181件	153件	0件	25件	87件	60件	14件	0件	7件	527件																																																							
磯部町	188件	214件	0件	42件	33件	20件	18件	0件	11件	526件																																																							
その他	0件	5件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	6件																																																							
合計	369件	372件	0件	67件	120件	80件	33件	0件	18件	1,059件																																																							
(参考)	令和2年度実績																																																																
浜島町	487件																																																																
磯部町	391件																																																																
合計	878件																																																																
②高齢者の虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供などを行います。	100%	<p>②権利擁護業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待通報、相談を受けた案件について、現地への状況確認、相談支援を行いました。志摩市が虐待事例に対して開催するコアメンバー会議にも担当地域包括支援センターとして出席しています。 ・志摩市介護総合相談支援課や鳥羽警察署との連携を図り、必要時に対応できる体制作りに努めています。 																																																															

		浜島町	磯部町	合計
		5 件	2 件	7 件
		4 件	2 件	6 件

(参考)	令和2年度実績		
	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	6 件	4 件	10 件
虐待認定された件数	2 件	3 件	5 件

③ケアマネジャーが孤立しないよう、一緒にケアマネジメント過程を振り返ったり、連絡会議などを開催し、他機関との連携が行えるよう支援します。	100%	③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ・居宅介護支援事業所のケアマネジャーへ、主任介護支援専門員として随時個別相談・アドバイスを行いました。支援困難事例等への対応指導や、特に虐待事例においての同行訪問も行っています。
④要支援者に対する予防給付、要介護・要支援状態となるおそれのある方に対する介護予防事業が効果的かつ効率的に提供されるための適切なケアマネジメントを行います。	93%	④介護予防ケアマネジメント業務 ・要支援者及び事業対象者が要介護状態となることを予防し、または維持するために適切なケアマネジメントを行いました。

	自機関	委託	合計
介護予防ケアマネジメント数	442 件	333 件	775 件

(参考)	令和2年度実績		
	自機関	委託	合計
介護予防ケアマネジメント数	478 件	348 件	826 件

自機関：浜島・磯部地域包括支援センター
委託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8 事業所）

⑤要支援者が介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況や	116%	⑤介護予防支援 ・要支援者が必要な介護予防サービス等を適切に利用できるよう、介護予防計画の作成を行いました。

環境等を勘案し介護予防サービス計画を作成します。			自機関	委託	合計
		介護予防サービス計画作成数	520 件	611 件	1,131 件
⑥大王・志摩地域包括支援センター事業の受託に関して検証し、方針を決定します。	100%	(参考)	令和2年度実績		
			自機関	委託	合計
		介護予防サービス計画作成数	422 件	553 件	975 件
		自機関：浜島・磯部地域包括支援センター 委託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8事業所）			
		⑥大王・志摩地域包括支援センター事業 ・9月22日開催の第4回理事会上において協議した結果を市に伝達し、本会の条件が満たされる前提で前向きな協議の継続を提案しましたが、その後重層的支援体制整備事業の委託依頼があり、それぞれの事業内容を精査し、大王・志摩地域包括支援センター事業に関して次年度においては受託しないこととしました。			

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により各地域での会議や催しの開催は少なかったですが、令和3年度は感染対策を行った上で民生委員との同行訪問を増やすなど地域への積極的な働きかけを行いました。その結果、全体的な相談件数も増加しており、また地域の方々から直接浜島・磯部地域包括支援センターへ相談を受けることも増えています。今後も引き続き、地域包括支援センターの機能について啓発し、住民のみならず信頼され安心して相談できる拠点づくりを目指します。 相談を受けたケースについて、配置された専門職がそれぞれの特性を活かして対応しています。 個別課題、地域課題を解決するため地域ケア会議を開催し、それぞれの課題の見える化、共有化からの具体的な解決方法の検討を行いました。 定期的に志摩市地域包括支援センターと情報共有会議を行い、地域に関する情報交換や地域包括支援センターとしての支援のあり方を検討しています。 生活困窮者自立支援事業や地域支援コーディネーターと協働し、社会福祉協議会で地域包括支援センターを受託している強みを活かした活動を行っていきます。
評価	

II. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課（事業方針）

令和3年度は、第3次地域福祉（活動）計画の最終年度を迎えています。高齢化と少子化、人口減少が進んでいる中、社協として



どれだけ地域に寄り添うことができたか、また、市や関係機関との効果的な連携が出来ていたかなどについて、社協の地域福祉事業と併せて検証と評価を行います。

さらに、上記を踏まえ令和4年度策定の第4次地域福祉（活動）計画へは、地域共生・住民主体をベースとした地域支援策を盛り込むことと、特に国が示している重層的支援体制の構築により、市民にわかりやすい相談体制を追求した計画づくりを提言していきます。

また、コロナ禍で昨年度急増した特例貸付相談から浮かびあがってきた生活困窮者ケースへの生活再建に向けた必要な支援（家計改善支援、就労準備、求職支援）の対応を行っていきます。

1. 地域福祉活動推進事業・・・・・・・・支出予算 51,277千円

(1) 地域福祉活動計画推進

■目標

- ①第3次地域福祉（活動）計画の最終年度にあたり、志摩市と連携を図り第4次地域福祉（活動）計画を策定します。
- ②社会福祉法の改正を踏まえ、包括的な支援体制の整備について考え方を整理します。
- ③相談支援調整会議と連携し、包括的な支援体制の充実を目指します。
- ④地域支援コーディネーターによる地域コーディネート の推進を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況												
①第4次地域福祉（活動）計画の策定に向け、志摩市と連携を図り事務局会議を実施し、地域福祉活動計画策定検討会議に意見を提案します。	100%	①地域福祉活動計画に関する会議の実施												
		・事務局会議（事務座談会）												
		目的：第4次地域福祉（活動）計画策定に向けた協議の場												
		参加：志摩市地域福祉推進アドバイザー（三重大学 深井教授）、志摩市（地域福祉課、介護・総合相談支援課、こども家庭課、健康推進課、生活支援課）、本会（地域支援課）												
		※全体会議：月1回、他：コアメンバー会議												
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #cccccc;">開催日</th> <th style="background-color: #cccccc;">内 容</th> <th style="background-color: #cccccc;">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月12日</td> <td>第1回策定委員会の進め方、策定委員会分科会のテーマ（案）について</td> <td>職員2名</td> </tr> <tr> <td>4月16日</td> <td>地域座談会の進め方について</td> <td>職員2名</td> </tr> <tr> <td>4月30日</td> <td>地域座談会の役割分担について</td> <td>職員2名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内 容	出席者	4月12日	第1回策定委員会の進め方、策定委員会分科会のテーマ（案）について	職員2名	4月16日	地域座談会の進め方について	職員2名	4月30日	地域座談会の役割分担について	職員2名
開催日	内 容	出席者												
4月12日	第1回策定委員会の進め方、策定委員会分科会のテーマ（案）について	職員2名												
4月16日	地域座談会の進め方について	職員2名												
4月30日	地域座談会の役割分担について	職員2名												

		5月11日	地域座談会、策定委員会分科会について（※全体会）	職員6名
		5月17日	地域座談会、策定委員会分科会の再検討	職員2名
		6月1日	地域座談会、策定委員会分科会について（※全体会）	職員6名
		6月22日	地域座談会、策定委員会分科会について（※全体会）	職員6名
		7月20日	地域座談会、策定委員会分科会について（※全体会）	職員6名
		8月10日	施策検討の進め方について	職員2名
		8月17日	地域座談会のまとめについて	職員2名
		8月24日	地域座談会のまとめ、施策検討について（※全体会）	職員5名
			業務推進体制・スケジュールについて	職員2名
		8月31日	地域座談会、策定委員会分科会のまとめについて	職員3名
		9月7日	骨子（案）の検討	職員2名
		9月14日	第2回策定委員会の進め方、骨子（案）について（※全体会）	職員6名
		9月21日	骨子（案）、施策（案）の検討	職員3名
		9月28日	骨子（案）、施策（案）の検討（※全体会）	職員4名
		10月5日	骨子（案）、施策（案）の検討	職員2名
		10月14日	策定委員会、審議会について、施策（案）について（※全体会）	職員6名
		10月26日	計画策定のスケジュールについて	職員3名
		11月1日	計画素案、ポンチ絵について検討	職員3名
		11月9日	審議会事項の確認、策定委員会資料の検討	職員3名
		11月15日	策定委員会の進め方について（※全体会）	職員6名
		11月22日	策定委員会意見について、審議会事項の確認	職員2名
		11月29日	審議会事項の確認、今後の推進体制について	職員2名
		11月30日	計画策定スケジュールについて	職員2名
		12月6日	審議会振り返り、計画（素案）作成に向けて	職員3名
		12月14日	計画（素案）作成に向けて	職員2名
		12月20日	計画（素案）作成に向けて	職員3名

12月28日	計画（素案）作成に向けて	職員2名
1月6日	計画（素案）原稿の確認、スケジュール確認	職員3名
1月11日	計画（素案）原稿の確認、スケジュール確認	職員3名
2月10日	計画（案）について、パブリックコメントについて、委員意見について	職員2名
2月21日	審議会について、計画推進に向けて	職員3名
2月28日	計画推進に向けて（相談支援アドバイザー候補者等）	職員3名
3月7日	計画推進に向けて（会議体等）	職員1名
3月17日	計画推進に向けて	職員3名

・地域福祉（活動）計画策定検討会議

目的：第4次地域福祉（活動）計画策定に向けた本会内の協議の場

参加：事務局長、総務部長、地域支援課長、地域支援課担当者、第1層地域支援コーディネーター

開催日	内 容	出席者
6月7日	策定委員会分科会、部会の進め方について	職員5名
6月21日	第1回分科会の振り返り、第2回部会に向けて	職員6名
7月28日	第2回分科会の振り返り、第3回部会に向けて	職員6名
8月12日	第3回分科会の振り返り、策定検討会議の進め方について	職員6名
8月27日	第2回策定委員会に向けて	職員7名
9月3日	骨子（案）の検討	職員6名
9月17日	骨子（案）の検討	職員7名
10月1日	骨子（案）について、施策（案）の検討	職員6名
10月13日	施策（案）の検討	職員6名
11月2日	施策（案）の検討	職員7名

・地域福祉（活動）計画策定検討会議

目的：第4次地域福祉（活動）計画策定に向けた志摩市と本会合同の協議の場

参加：志摩市（健康福祉部長、福祉事務所長、地域福祉課長、介護・総合相談支援課長、こども家庭課長、健康推進課長、生活支援課長、事務局員）

本会（事務局長、地域支援課長、事務局員）

開催日	内 容	出席者
9月8日	骨子（案）について	職員6名
10月8日	施策（案）について	職員6名
11月16日	施策（案）について	職員5名

②相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の一体的実施に向け、現在の支援体制を見直ししていきます。

100% ②第4次地域福祉（活動）計画策定の過程において、重層的支援体制整備事業に関する研修会に参加したり会議での話し合いを重ね、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の一体的な実施について検討しました。

③市民の意見を計画策定に反映させるため、ふくし座談会（6月～8月予定）を実施します。

100% ③ふくし座談会の実施
 地域座談会等の実施
 目的：第4次地域福祉（活動）計画策定に向け、地域の福祉ニーズや生活支援ニーズを把握すること
 期間：令和3年6月～8月
 対象：ボランティア等座談会
 ・各町のボランティア団体、福祉委員会、サロン運営者等に呼びかけ、活動の実状や課題を確認
 ・計5回開催（参加者38名）
 ・本会が中心となり実施
 企業ヒアリング
 ・市内の企業を訪問し、活動の実状や課題を確認
 ・計14企業訪問
 ・市役所が中心となり実施。本会の職員も参加協力。
 分野別座談会・ヒアリング（こども・障がい・介護）
 ・市役所が中心となり実施。本会の職員も一部参加協力。
 ※第4次地域福祉（活動）計画策定に向けた意見集約の場としての座談会名称は地域座談会としています。

④地域支援コーディネーターと相談支援調整会議の定期的な連絡会議により、包括的な支援に向けた話し合いを進めます。（月1回）

100% ④相談支援調整会議との連携会議

開催日	内 容	出席者
4月28日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有（コロナワクチン接種の情報含む）	職員6名

		5月26日	各担当部署からの情報提供・情報共有（コロナワクチン接種の情報含む）	職員6名																														
		6月27日	各担当部署からの情報提供・情報共有（社協助成金、いのちのバトン等）	職員6名																														
		7月28日	各担当部署からの情報提供・情報共有（コロナワクチン接種の情報含む）	職員6名																														
		8月25日	各担当部署からの情報提供・情報共有（緊急事態宣言を想定した情報含む）	職員6名																														
		9月29日	各担当部署からの情報提供・情報共有（避難行動要支援者制度等）	職員6名																														
		10月27日	各担当部署からの情報提供・情報共有（特殊詐欺、社協公式SNS等）	職員6名																														
		11月24日	各担当部署からの情報提供・情報共有（認知症カフェ、ボランティア養成講座等）	職員6名																														
		12月22日	各担当部署からの情報提供・情報共有（コロナ給付金、福祉イベント等）	職員6名																														
		1月26日	各担当部署からの情報提供・情報共有（コロナ給付金、県ひきこもり支援計画等）	職員5名																														
		2月16日	各担当部署からの情報提供・情報共有（移動販売、福祉学習等）	職員4名																														
		3月23日	各担当部署からの情報提供・情報共有（高齢者の働く場、コロナ給付金等）	職員5名																														
				<p>※志摩市健康福祉部各課担当者と地域支援コーディネーター等で構成。</p> <p>100% ⑤-1 地域訪問活動</p> <p>自治会、民生委員、サロンなど地域活動の機会や必要に応じて訪問活動を実施しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動</td> <td>203回</td> <td>212回</td> <td>338回</td> <td>261回</td> <td>167回</td> </tr> </tbody> </table> <p>実態把握活動（地域アセスメント、個別ケース）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域アセスメント</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>10件</td> <td>15件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>個別ケース</td> <td>10件</td> <td>12件</td> <td>10件</td> <td>15件</td> <td>13件</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤-2 担当者定例会議</p> <p>開催：月1回（4/16、5/21、6/15、7/16、8/23、9/22、10/15、11/22、12/17、1/24、2/14、3/22）</p> <p>参加：第1層・第2層地域支援コーディネーター</p> <p>内容：地域支援進捗状況の確認、資源の見える化の方法協議、各種地域福祉事業についての検討等</p>				浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	訪問活動	203回	212回	338回	261回	167回		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	地域アセスメント	0件	4件	10件	15件	0件	個別ケース	10件	12件	10件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																													
訪問活動	203回	212回	338回	261回	167回																													
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																													
地域アセスメント	0件	4件	10件	15件	0件																													
個別ケース	10件	12件	10件	15件	13件																													

⑤地域課題の把握、検討を通じた地域づくりを進めます。（各地域支援コーディネーターによる延べ月10回以上の地域訪問）

100%

⑤-1 地域訪問活動

自治会、民生委員、サロンなど地域活動の機会や必要に応じて訪問活動を実施しました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
訪問活動	203回	212回	338回	261回	167回

実態把握活動（地域アセスメント、個別ケース）

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
地域アセスメント	0件	4件	10件	15件	0件
個別ケース	10件	12件	10件	15件	13件

⑤-2 担当者定例会議

開催：月1回（4/16、5/21、6/15、7/16、8/23、9/22、10/15、11/22、12/17、1/24、2/14、3/22）

参加：第1層・第2層地域支援コーディネーター

内容：地域支援進捗状況の確認、資源の見える化の方法協議、各種地域福祉事業についての検討等

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 第3次地域福祉（活動）計画の最終年度にあたり、志摩市担当部局との協議及び本会内での話し合いを重ね、第4次地域福祉（活動）計画を策定しました。次年度からは、第4次計画の基本理念である「誰もがつながりあい自分らしく暮らす志摩市」の実現を目指し、3つの重点施策「地域づくり」、「包括的な相談体制」、「包括的な支援体制」を推進していきます。 地域支援コーディネーターと相談支援調整会議の定期的な連携会議は、計画どおり月1回実施し、新型コロナウイルス感染症などの状況及び支援について志摩市関係部署との情報共有による連携を取ることができました。 地域支援コーディネートについては、緊急事態宣言の発令もあり、昨年度同様訪問活動が進みにくい現状が依然続いています。新型コロナウイルス感染症対策に配慮し地域への訪問活動や実態把握を重ね、地域課題の把握や検討を通して地域づくりを進めていきます。
評価	B		

(2) 生活支援体制整備事業

■目標

- ①総合事業にかかる地域での取り組み状況を把握し、地域住民と協働で地域資源開発の仕組みづくりを進めます。
- ②協議体（第3層）の立ち上げ支援を行うと共に、第2層協議体の在り方について検討していきます。
- ③地域アセスメントや地域組織化などの手法やコミュニティソーシャルワークによる地域ネットワークのしくみづくりを進めるための技術や知識を習得し、質の高い地域支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①地域づくりや地域課題への取り組みについて継続的に話し合う場を作り、活動への支援と開発を一体的に進めていきます。（各地区）	70%	①地域づくりや地域課題への取り組みについて、前年度は浜島町南張地区、志摩町和具地区、志摩町間崎地区で継続的に協議の場をもってきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大及び緊急事態宣言発令から、地域との相談の上、開催に至っていません。地域訪問や個別ケースの対応等により、地域課題の把握に努めました。
②地域に合った地域力向上に向けた協議をする場づくりを進めます。（各地区）	70%	②ふくし座談会等、地域づくりの関係者が話し合う場を協議体と位置づけており、磯部町迫間地区と阿児町鶴方地区・神明地区においてふくし座談会を開催し、それぞれ地域の見守り体制について話し合いました。また、第4次地域福祉（活動）計画策定の過程において、ふくし座談会の進め方を検討しました。
③地域アセスメントやコーディネート機能を担うことができるように、技術や知識の習得に努めます。 ・生活支援コーディネーター研修への参加（年1	100%	③質の高い地域支援を行うことができるように、下記研修会へ参加しました。 ・内部研修 日時：6月28日（月）9：00～10：20 会場：磯部健康福祉センターかがやき

<p>回) ・三重県社協主催の研修会への参加 (年2回)</p>	<p>参加：第1層・第2層の地域支援コーディネーター6名</p> <p>内容：「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」が提供する実践紹介動画を視聴しての意見交換</p> <p>・相談連携スキルアップのための研修</p> <p>障がい者福祉と高齢者福祉の施策について（講師：志摩市地域福祉課）</p> <p>日時：8月23日（月）13：30～14：30</p> <p>参加：地域支援コーディネーター2名</p> <p>子育て世代包括支援センターと母子保健事業について（講師：志摩市健康推進課）</p> <p>日時：9月2日（木）10：00～11：15</p> <p>参加：地域支援コーディネーター4名</p> <p>児童福祉施策について（講師：志摩市こども家庭課）</p> <p>日時：9月2日（木）13：30～14：50</p> <p>参加：地域支援コーディネーター4名</p> <p>○研修会への参加</p> <p>・拡大版オンラインサロン研修</p> <p>日時：6月30日（水）14：00～16：00</p> <p>会場：磯部健康福祉センターかがやき（オンライン参加）</p> <p>参加：地域支援コーディネーター2名</p> <p>内容：オンラインシンポジウム「コロナ禍のもと、地域での取り組みを進めるために」</p> <p>・【子ども×災害×地域】分野を超えてつながる研修交流会</p> <p>日時：8月20日（金）19：00～21：15</p> <p>会場：磯部健康福祉センターかがやき（オンライン参加）</p> <p>参加：地域支援コーディネーター2名</p> <p>・令和3年度生活支援コーディネーター養成研修</p> <p>日時：8月25日（水）13：30～16：00</p> <p>会場：磯部健康福祉センターかがやき（オンライン参加）</p> <p>参加：地域支援コーディネーター5名</p> <p>内容：「誰もが安心して暮らすために ～我がこと、丸ごとの地域共生社会づくり～」について</p>
--	--

<p>④支え合い体制づくりの充実に向けて、支え合い推進員研修会を開催します。(年1回)</p>	<p>0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【多文化×災害×地域】分野を超えてつながる研修交流会 日時：9月5日(日) 13:30～15:30 参加：地域支援コーディネーター2名(オンライン参加) ・つながり推進プロジェクト オンライン講座 日時：9月24日(金) 14:00～15:00 参加：地域支援コーディネーター1名 内容：コロナ禍でも「気になる人を真ん中に」～住民主体の地域活動～ ・令和3年度生活支援コーディネーター研究協議会 日時：2月9日(水) 13:00～17:00 参加：第1層・第2層の地域支援コーディネーター6名(オンライン参加) 内容：地域共生社会の実現に向けて求められる役割と実践 ・令和3年度生活支援コーディネーター実践者研修・意見交換会 日時：2月25日(金) 13:30～16:00 参加：地域支援コーディネーター1名(オンライン参加) 内容：コロナ禍における事業の進め方の実践報告・意見交換 ・相談支援包括化推進員等養成事業研修会 参加：各研修会地域支援コーディネーター1～2名(オンライン参加) 日時・内容：12/9 コミュニティソーシャルワーカースキルアップ研修 (地域共生社会に向けた重層的支援体制整備事業～行政・社協に求められること～) 1/13 外国人住民への理解と支援方法 2/2 地域福祉力実践向上研修(社会資源の開発) 2/8 第2回コミュニティソーシャルワーカースキルアップ研修 (重層的支援体制整備事業の説明) 2/17 相談支援包括化推進員等指導者研修 (多職種・多機関の連携に向けた全方位型アセスメントと全方位型支援) <p>④新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、開催を自粛しました。</p>
---	-----------	---

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援コーディネーターは変更なく担当したことから、地域や関係機関との顔の見える関係は醸成され、円滑にコミュニケーションをとることができています。しかし地域における活動や会合は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に少しずつ戻りつつあるものの、支援や働きかけが思うように進んでいません。新型コロナウイルス感染症の影響も受け、スタッフの高齢化が著しいふれあいサロンは解散に至っています。年齢や障がい等にかかわらず、誰もが参加できる地域づくりが求められていることに向き合うこととなりました。 ・昨年度からオンライン開催となる研修会が多く、長時間の移動をしなくても研修会へ参加できるようになったため、今まで以上に積極的に参加しています。引き続き、技術や知識の習得に努めつつ、質の高い地域支援を行うことができるように、研修会への参加と定例会議を通した学びの場を継続していきます。
----------------	---

(3) 地域生活拠点づくり事業（市受託事業）

■目標

①間崎地区「もやい」

拠点の運営・活用や地区の課題解決に向け、もやい運営協議会、志摩市や支援者、企業、「つばさ（和具地区拠点）」の連携を支援します。また、拠点運営、健康づくりや余暇活動において地域住民がやりがいと役割が持てるよう支援します。

②浜島町新拠点

志摩市や地域のコアメンバー（自治会・老人クラブ・地区事業所等・住民有志等）と協議し、住民に必要とされる拠点づくりへ取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①間崎地区「もやい」 ・職員を派遣します。 （月2日～週1日程度） ・買い物課題の解決に向けて、もやい運営協議会と企業の連携を支援します。 （ショップ・買い物ツアー） ・健康づくり、余暇活動の取り組みをもやい運営協議会と連携して地域支援員主体で進めま	100%	①間崎地区「もやい」 ・住民主体による「もやい」の運営を進めています。 ・「もやい」の生活支援メニューのひとつとして、買い物支援（ショップ運営）を地域支援員（住民ボランティア）が主体となって運営しています。またショップ開店中に、体調不良や急病者へ対応するなど地域支援員による見守りが行われています。 ・買い物支援（ショップ運営）について、週1回職員を派遣しています。 ・地域支援員6名は、運営協議会（協議体）のメンバーとして、また、買い物支援スタッフとして、やりがいを見い出した中で活躍しています。また、運営委員会は新型コロナウイルス感染症の影響から開催は控えています。 ・ショップはオープン2周年を迎え、イオン阿児店のご厚意で、2周年記念のお祝いとお値打ち商品の販売が行われました。また、

<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点つばさにかかわる協力員と合同会議を実施します。(月1回) 		<p>間崎の住民による主体的で活発なショップ運営(買い物支援)の様子について、イオン阿児店(9/20~9/30)と志摩市役所ロビー(10/1~10/15)にてパネル展示によるPRを行いました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*陳列販売:月・水・金 9:00~11:30(約200品目)</p> <p>*受注販売:注文受付…月・金9:00~11:30、販売…金10:00頃~11:30</p> <p>*商品調達・棚卸し…イオン阿児店 *商品運搬・販売・在庫管理…地域支援員</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物ツアーは緊急事態宣言中の9月を除き、月1回実施しました(参加者数1回あたり平均7.4人)。本会保有のマイクロバスを本会職員が運転し、ツアー参加者の希望によりイオン阿児店で買い物する機会を提供しました。住民への周知と参加者のとりまとめは地域支援員が担っています。 <p><u>地区内外の資源等や拠点間の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・和具地区(地域交流拠点つばさ)との情報共有や、つばさ地域支援員との協力と交流機会を目的とした拠点合同会議は、新型コロナウイルス感染症の影響から開催を控えています。 ・地域支援員と連携して間崎いきいきサロンを月1回程度計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から11月のみ開催しました。 ・志摩市及び三重大学深井研究室と進捗状況を共有しながら、「もやい」の展開について適宜協議を実施しています。
<p>②浜島町新拠点 (南張地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した地域の実態把握調査を基に、南張地区のコアメンバーとともに地域に即した拠点づくりを進めます。 ・住民主体の拠点を設置し、住民の生活に関する課題や困りごとの解決を目指します。 ・拠点を活用した課題解決の仕組みを作ります。 ・拠点(3層)へ2層支援者の連携をコーディネートします。 (浜島町内他地区) 	<p>80%</p>	<p>②浜島町新拠点 (南張地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南張地区のコアメンバーとともに福祉委員会の設置について検討していますが、新型コロナウイルス感染症の情勢から協議の実施を見合わせています。 ・浜島町の地域振興と暮らしを考える組織である浜島町まちづくり委員会とは、情報連携を図っています。 (浜島町内他地区) ・桧山路・塩屋・迫子・大崎地区へ地区課題である買い物ニーズとLABO(特定非営利活動法人三重ダルクの志摩事業所)の買い物支援の取り組みへのマッチングを行い、ニーズと支援の可能性を確認しました。 ・地域の主体的な買い物課題解決に向けて、地域とLABOによる買い物支援に係る座談会の開催を調整しました。(計3回開催) ・協議の結果、上記4地区で停留所(拠点)を設置し、LABOのスタッフが各停留所からイオン阿児店までの移動支援や買い物の付添支援を実施することになりました。 ・また、地区の方々への事業周知と支援車両の利用と買い物ニーズの調査を目的として、2回の試験運行が実施されました。

<ul style="list-style-type: none"> ・地区の買い物課題について精査し、支援が必要な地区を選定します。 ・ふくし座談会等で地域住民が主体的に買い物課題の解決に取り組む協議機会をコーディネートします。 ・市内買い物事業所と協働で買い物支援に取り組めるよう検討機会を調整します。 			実施期間	実施日（実施回数）	利用者数
		第1回	令和3年11月1日～11月30日	各地区週1回（計20回）	48名
		第2回	令和4年2月21日～3月31日 ※車輛メンテナンスの為、3月21日、22日は休止	桧山路・塩屋地区：毎週水曜日 迫子・大崎地区：毎週月曜日 （計12回）	19名

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>①間崎地区「もやい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援コーディネーターは地域支援員が主体性を持てるようにかかわり、本会パート職員を買い物支援のサポートや作業指導のため派遣しています（週1日）。 ・住民主体（地域支援員）と企業（イオン阿児店）の協働関係も安定しています。住民のほとんどが高齢者である地域のため、地域支援員の確保は心配があるものの、住民と支援者（企業・志摩市・本会）の役割分担で「もやい」はうまく回っており、しばらくは持続可能であると考えています。 ・他の生活支援メニューは、間崎サロンで実施しています。 ・買い物支援が注目を集めています。国土交通省（離島振興課）や内閣府（調査事業の受託事業者）から調査を受けたり、新聞社の取材や大学生の実習と授業へ協力することもありました。引き続き拠点「もやい」の仕組みや魅力を行政や地域へ発信していきます。 <p>②浜島町新拠点 （南張地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜島町の新しい地域生活拠点づくりのための協議として、昨年度から南張地区の住民コアメンバーと話し合いを重ねています。住民の方々の高齢化が進む中でも互助力を尊重しながら、地区に見合った助け合いのスタイルとして、福祉委員会のしくみづくりについて検討していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から協議機会が延期となっています。 ・今後も引き続き地区の中で相談がつながる仕組みづくりについて協議機会を設定していきます。地元介護施設や薬局、開業医等との連携を図り地区内の理解を深めていく予定です。 <p>（浜島町内他地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桧山路区、塩屋自治会、迫子自治会、大崎自治会の買い物課題と、地域貢献を目指すLABOの両ニーズをコーディネートしています。併せて市内スーパー等の協力もコーディネートすることで、持続可能な買い物支援を目指します。 ・令和4年5月からの運行開始を目指し、引き続き地域とLABOによる買い物課題を解決できる仕組みづくりを支援していきます。
評価	B		

(4) 災害ボランティアセンターの運営準備

■目標

- ①有事に備え、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう準備していきます。
- ②有事に備え、県内市町社協の連携強化を進めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																					
<p>①災害ボランティアセンターの運営マニュアルに基づき、災害の規模に応じた別冊版策定による具体的な検討を行います。</p> <p>(11月まで)</p>	50%	<p>①災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害規模（大規模地震、津波・大雨浸水災害など）に応じた別冊版運営マニュアルは作成中です。次年度の完成を目指します。 ・災害ボランティアセンター運営にかかる以下の研修会等へ参加しました。 <table border="0"> <tr> <td>6/18</td> <td>新型コロナウイルス感染症に配慮した三重県版ボランティア受援ガイドライン説明会</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>7/11</td> <td>ITセミナー（災害ボランティアセンター開設時のIT活用）</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>8/20</td> <td>分野を超えてつながる交流会（子ども×災害×地域）</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>9/5</td> <td>分野を超えてつながる交流会（多文化×災害×地域）</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>11/17</td> <td>三重県災害ボランティアセンター研修会（災害ボランティアセンターのあり方と圏域の支援）</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>12/7</td> <td>三重県災害ボランティアセンター研修会（協働型災害ボランティアセンターの運営）</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>1/12</td> <td>三重県災害ボランティアセンター研修会（ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営）</td> <td>2名参加</td> </tr> </table>	6/18	新型コロナウイルス感染症に配慮した三重県版ボランティア受援ガイドライン説明会	2名参加	7/11	ITセミナー（災害ボランティアセンター開設時のIT活用）	2名参加	8/20	分野を超えてつながる交流会（子ども×災害×地域）	2名参加	9/5	分野を超えてつながる交流会（多文化×災害×地域）	2名参加	11/17	三重県災害ボランティアセンター研修会（災害ボランティアセンターのあり方と圏域の支援）	1名参加	12/7	三重県災害ボランティアセンター研修会（協働型災害ボランティアセンターの運営）	2名参加	1/12	三重県災害ボランティアセンター研修会（ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営）	2名参加
6/18	新型コロナウイルス感染症に配慮した三重県版ボランティア受援ガイドライン説明会	2名参加																					
7/11	ITセミナー（災害ボランティアセンター開設時のIT活用）	2名参加																					
8/20	分野を超えてつながる交流会（子ども×災害×地域）	2名参加																					
9/5	分野を超えてつながる交流会（多文化×災害×地域）	2名参加																					
11/17	三重県災害ボランティアセンター研修会（災害ボランティアセンターのあり方と圏域の支援）	1名参加																					
12/7	三重県災害ボランティアセンター研修会（協働型災害ボランティアセンターの運営）	2名参加																					
1/12	三重県災害ボランティアセンター研修会（ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営）	2名参加																					
<p>②災害ボランティアセンターの運営協力者の養成に向け、災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。</p> <p>(年1回)</p>	100%	<p>②災害ボランティアコーディネーター養成講座の実施</p> <p>災害ボランティアセンターの仕組みについて理解を深め、災害ボランティアセンターの担い手となる人材を養成するため、下記の日程で災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施しました。（参加者：20名）</p> <p><第1回> 日時：11月19日（金）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：20名 内容：災害ボランティアセンターについて</p> <p><第2回> 日時：12月3日（金）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：17名</p>																					

<p>③災害ボランティアコーディネーター養成講座 修了者をベースに組織化と地域ネットワーク化を進めます。</p> <p>④南勢志摩ブロック災害時社協広域連携協議会へ参画します（令和3年度から開始、災害ボランティアに関することに限らない県内市町社協の相互応援協定を具体化するもの）</p>	<p>100%</p> <p>100%</p>	<p>内容：座談会「災害ボランティアセンターにて自身ができること」</p> <p><第3回> 日時：12月17日（金）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：19名 内容：災害時のICTの利活用について</p> <p>③災害ボランティアコーディネーター養成講座3回目にLINEオープンチャットを活用した情報連絡網を構築しました。有事の際の情報交換や防災についての情報共有に活用します。 (LINEオープンチャット参加者：16名)</p> <p>④南勢志摩ブロック災害時社協広域連携協議会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会へ参加しました…7/13（2名参加） ・幹事社協である伊勢市社協主催の研修会へ参加しました。 ・11月27日「技術系災害ボランティア養成研修」 2名参加 ・1月22日「災害ボランティアセンター運営者研修会（ICTを活用したボランティアセンター運営訓練等）」 2名参加、災害ボランティアコーディネーター3名参加 ※オンライン参加
---	-------------------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 975 282 1027"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・災害規模に応じた別冊版運営マニュアルは次年度内に完成させます。 ・災害ボランティアコーディネーター養成講座は予定通り全3回で開催しました。第2回では災害ボランティアセンターにて自身が担う役割についてグループワークを実施し、より具体的な災害ボランティアセンター運営について考える機会としました。また、第3回ではLINEオープンチャットを活用した情報連絡網を作成しました。次年度は今年度の講座内容を反映させた災害ボランティアセンター運営訓練を計画します。 ・南勢志摩ブロック災害時社協広域連携協議会へ参画し、会議、研修会へ参加しました。研修会については養成講座で作成した情報連絡網にて災害ボランティアコーディネーターへ情報提供を行い、3名の出席がありました。今後も継続し、災害時に連携し合える関係作りを進めていきます。
評価	B		

(5) 災害時要援護者支援

■目標

- ①災害時に支援が必要な高齢者、障がい者などを地域が把握をし、助け合いにつながるよう志摩市、自治会、民生委員などと連携して災害時要援護者台帳の整備を支援します。また、自主避難や要援護者支援について検討していきます。

■評価

目標の達成度	・志摩市では、新制度である「避難行動要援護者制度」を導入しました。志摩市と連携して本会が担う役割を明確にして地域支援に結びつけます。
評価	

(6) 救急医療情報キット配付事業 (受託事業)

■目標

- ①高齢者等の急な傷病など万が一に備えるため、救急医療キットを必要とする独居高齢者や高齢者世帯等に対し、救急時に必要な情報シートを入れたケースを世帯へ配付します。
- ②救急医療情報キットの配付を、地域のつながりを確認する機会とし、支え合いや見守りにつながるように地域へ働きかけます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①救急医療情報キットの配付方法や活用について 自治会や民生委員と協議して新たな対象者への配付を実施します。</p> <p>配付時期：令和3年7月から</p> <p>対象年齢：70歳以上独居高齢者、高齢者世帯等</p> <p>配付数：令和3年度新規対象者約500世帯</p> <p>配付方法：自治会・民生委員等と協議し、地域で取り組みやすい方法を検討の上、配付方法を定めます。</p> <p>情報更新：本人の医療情報等の更新を促します。(年1回)</p>	100%	<p>①今年度の新規対象者へ7月から救急医療情報キットの配付を開始しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や民生委員等と相談・協議をし、配付時期や配付方法について検討しました。 ・過年度配付したキット情報(あんしんカード)については、最新の情報として有事の際に役立つように、配付された対象者向けに社協だよりや自治会回覧・全戸配布、ホームページや本会 SNS を活用し情報更新の啓発を行いました。 ・志摩市からの指示で緊急事態宣言中(8月20日～9月30日)は、救急医療情報キットの配付を見合わせました。
<p>②救急医療情報キットの配付を通じて地域住民の状況を把握し、必要に応じて適宜、地域支援コーディネーターが相談対応します。</p>	100%	<p>②自治会や民生委員・児童委員等を通じて追加配付の希望(対象外等)があった場合、地域支援コーディネーターが相談等を受けて、必要な方へキットを配付しました。</p>

■評価

目標の達成度	・自治会や民生委員・児童委員、地域団体と配付方法を協議し、実施しました。また、地域からの要望等について志摩市へ報告し、実施方法について随時協議を行いました。
評価	

(7) 成年後見制度の利用支援

■目標

①認知症、知的・精神障がいなどの障がいにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
①支援に要する財源や担当人員に見合った法人後見支援を継続し実施していきます。	100%	<p>①利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>後見</th> <th>保佐</th> <th>補助</th> <th>任意後見</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初受任者数</td> <td>9名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>新規受任者数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>後見終了者数</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>8名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・令和3年7月に被後見人が死亡したため、受任件数が1名減となりました。</p>		後見	保佐	補助	任意後見	合計	年度当初受任者数	9名	2名	0名	0名	11名	新規受任者数	0名	0名	0名	0名	0名	後見終了者数	1名	0名	0名	0名	1名	利用者数合計	8名	2名	0名	0名	10名
	後見	保佐	補助	任意後見	合計																											
年度当初受任者数	9名	2名	0名	0名	11名																											
新規受任者数	0名	0名	0名	0名	0名																											
後見終了者数	1名	0名	0名	0名	1名																											
利用者数合計	8名	2名	0名	0名	10名																											
②制度の利用希望者に対する申立等の相談支援を行います。	100%	<p>②関係機関へ適切につなげることができるよう支援体制をとっています。</p> <p>・成年後見申立てについての相談がありましたので、制度説明の上で、市内の専門職の情報を提供しました。</p> <p>・申立等の相談に対する知識を深めることを目的に研修会へ参加しました。</p> <p>「成年後見申立支援研修」(三重県社会福祉士会主催)/12月2日、1名参加</p>																														
③成年後見推進会議へ参加します。 (県社協年1回)	0%	<p>③成年後見推進会議</p> <p>・成年後見推進会議は実施されませんでした。</p>																														
④成年後見連絡会議へ参加します。 (県社協年1回)	100%	<p>④令和3年度成年後見制度中核機関の設置に係るオンライン情報交換会への参加</p> <p>・市町行政、市町社会福祉協議会、成年後見関連事業担当者を対象とした情報交換会へZoom (Web会議ツール：以下「Zoom」)にて参加しました。</p>																														

<p>⑤成年後見制度利用促進基本計画に関する情報収集と研究を行います。</p>	<p>100%</p>	<p>(8月25日、1名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修」(全国権利擁護支援ネットワーク主催) /3月4日、1名参加 <p>⑤成年後見制度利用促進基本計画について</p> <p>(1)成年後見制度利用促進に関する意見交換会 (津家庭裁判所主催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 <p>(2)志摩市と意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志摩市が設置している権利擁護専門会議へ1名出席しています。
---	-------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 687 282 740"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見受任件数は、1名亡くなられたため10件となりました。月1回～2回の定期的な訪問等により、被後見人等の身上保護と財産管理を行い、家庭裁判所へ適切に報告事務を行いました。現在はサンライフあご勤務の地域支援課と訪問介護事業所の職員が兼務による後見事務を担っております。昨年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響から施設入所者の被後見人との面会制限がありましたが、施設や関係機関と連携しながら被後見人等の権利を守るために必要な活動を行いました。引き続き、被後見人等の意思決定支援を行いながら後見人等としての職務を実施します。 ・令和4年度より志摩市においては成年後見制度利用促進計画に基づき、志摩市役所が中核組織となります。本会としましては、志摩市の後見人の担い手の確保や市民後見人講座の組み立てへの必要な提言を行っていきます。
評価	B		

(8) 福祉人材の育成支援

■目標

①次世代を担う介護・福祉の人材を育成するため、高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況								
<p>①社会福祉士相談援助実習の受け入れを行います。(2名まで)</p>	<p>100%</p>	<p>①福祉・介護人材の育成支援</p> <table border="1" data-bbox="750 1326 2024 1428"> <thead> <tr> <th data-bbox="750 1326 1133 1378"></th> <th data-bbox="1133 1326 1288 1378">人数</th> <th data-bbox="1288 1326 2024 1378">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="750 1378 1133 1428">社会福祉士相談援助実習</td> <td data-bbox="1133 1378 1288 1428">2名</td> <td data-bbox="1288 1378 2024 1428">社会福祉士受験資格取得に係る実習(180時間以上)</td> </tr> </tbody> </table>				人数	備考	社会福祉士相談援助実習	2名	社会福祉士受験資格取得に係る実習(180時間以上)
	人数	備考								
社会福祉士相談援助実習	2名	社会福祉士受験資格取得に係る実習(180時間以上)								

		介護等体験実習	0名	小中学校教員免許資格取得に係る実習（40時間）	
		その他	0名		
		合計	2名		

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士相談援助実習について皇學館大学生2名を受入れました。 ・介護等体験実習については、新型コロナウイルス感染症予防につき、通所介護事業所での受入れは中止しています。（担当：在宅サービス課）
評価	B

(9) 広報、啓発

■目標

①地域住民の福祉への興味・関心を高め、福祉活動に協力しやすくなるよう広報・啓発していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①社協だよりを活用して情報を伝達します。 (年6回)	100%	①奇数月に社協だよりにて情報発信を行いました。
②ホームページやブログ、SNSを活用して情報を発信します。(月1回以上)	100%	②若い世代への情報発信やさらに多くの方への情報発信ツールとして、ホームページやSNSを活用したボランティア情報や地域支援情報等を定期的に発信しました。
③新たな情報発信として、LINE等を活用して地域住民へ旬な情報をお届けします。	100%	③公式SNS（Instagram、LINE）を新たに開設し、啓発チラシを作成して広く地域住民へ啓発しました。
④蓄積された情報や地域情報を元に社会資源を見える化していきます。	100%	④市内弁当配達業者一覧や移動販売情報等を更新し、ホームページへ掲載しました。随時、情報を更新しています。

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで関わりが少なかった若い世代が福祉活動への興味・関心が高まるような工夫が必要だと考え、公式SNSとしてInstagram、LINEの運用を始めました。定期的な情報発信や投稿内容等を工夫し、各コーディネーターと連携して地域の情報を発信していきます。
評価	B

(10) 専門相談会

■目標

①住民が抱える様々な悩みや困りごとの中で、法的な問題に対し、解決に向けた必要な情報提供や助言を与える機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況			
①土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催します。 ※弁護士相談（年10回）、司法書士相談（年10回）、法テラス三重の巡回相談（年6回）	100%	①専門相談会			
		相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談	巡回相談 (法テラス三重)
		開催回数	10回	10回	6回
		相談件数	34件	35件	13件

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法律相談は、受付開始後早々に予約が埋まり、キャンセル待ちで対応することも多い状況でした。 ・登記・訴訟相談に関しては予約が少ない月もありましたが、概ね計画どおり実施することができました。 ・法律相談の予約が多い状況ですが、内容によっては登記・訴訟相談での対応可能なケースもあることから、相談内容に応じて柔軟な受付案内を行いました。また、本事業において対応できない場合は、他制度を紹介するなどして、市民の困りごとに可能な限り対応しました。
評価	B		

(11) 民生委員児童委員協議会事務、当事者団体への支援

■目標

①地区民生委員児童委員協議会との連携強化を図ります。

②当事者団体の自主運営のための側面支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①民生委員児童委員協議会	100%	①民生委員児童委員協議会

<p>・地区民生委員児童委員協議会の事務局として、民生委員・児童委員との連携を一層強化し、小地域での福祉活動を推進していきます。</p> <p>◇各地区定例会、専門部会の事務調整 (定例会 各地区年6回、専門部会 随時)</p> <p>◇視察研修の企画、同行支援</p> <p>◇相談連携(同行訪問等 随時)</p> <p>②老人クラブ</p> <p>・志摩市老人クラブ連合会、各町老人クラブの自主運営を支援します。</p> <p>◇志摩市老人クラブ連合会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会等への参加(会長会議年2回、役員会年6回) ・スポーツ交流大会、役員研修会への協力(各年1回) <p>③障がい者団体</p> <p>・志摩市障がい者福祉会をはじめ、障がい者関連団体の自主運営を支援します。</p> <p>◇志摩市障がい者福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会等への参加(総会1回、理事会6回) ・志摩市障がい者福祉体育大会、志摩市障がい者福祉大会、忘年芸能発表会への協力(各年1回) <p>◇志摩市視覚障がい者福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会への参加(年1回) 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>協議会名</th> <th>定数</th> <th>委員数</th> <th>定例会</th> <th>役員会</th> <th>専門部会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島地区民生委員児童委員協議会</td> <td>18名</td> <td>15名</td> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>大王地区民生委員児童委員協議会</td> <td>20名</td> <td>17名</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>志摩地区民生委員児童委員協議会</td> <td>31名</td> <td>29名</td> <td>6回</td> <td>11回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>阿児地区民生委員児童委員協議会</td> <td>49名</td> <td>43名</td> <td>5回</td> <td>6回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>磯部地区民生委員児童委員協議会</td> <td>23名</td> <td>23名</td> <td>6回</td> <td>10回</td> <td>5回</td> </tr> </tbody> </table>	協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	専門部会	浜島地区民生委員児童委員協議会	18名	15名	6回	5回	0回	大王地区民生委員児童委員協議会	20名	17名	5回	5回	5回	志摩地区民生委員児童委員協議会	31名	29名	6回	11回	3回	阿児地区民生委員児童委員協議会	49名	43名	5回	6回	3回	磯部地区民生委員児童委員協議会	23名	23名	6回	10回	5回	
	協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	専門部会																																	
	浜島地区民生委員児童委員協議会	18名	15名	6回	5回	0回																																	
	大王地区民生委員児童委員協議会	20名	17名	5回	5回	5回																																	
	志摩地区民生委員児童委員協議会	31名	29名	6回	11回	3回																																	
	阿児地区民生委員児童委員協議会	49名	43名	5回	6回	3回																																	
磯部地区民生委員児童委員協議会	23名	23名	6回	10回	5回																																		
		<p>・民生委員・児童委員からの相談、問い合わせ等：各地区1月平均25件</p>																																					
	100%	<p>②老人クラブ</p> <p>◇志摩市老人クラブ連合会</p> <p>志摩市老人クラブ連合会の会合へ参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長会議(5/14:不参加、8/27:中止、11/26参加、1/14参加) ・役員会(7/16:参加、9月中止、12/3:参加、1/21:中止)※5月は書面議決による開催 ・スポーツ交流会 11月開催予定が中止 ・役員研修会 2月開催予定が中止 <p>◇各町老人クラブ</p> <p>阿児町老人クラブ連合会の会合へ参加 ・会長会議(7/29:1名参加)</p>																																					
	100%	<p>③障がい者団体</p> <p>◇志摩市障がい者福祉会</p> <p>志摩市障がい者福祉会の自主運営を尊重し、文書作成など事務的な補佐支援を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大、緊急事態宣言の影響から行事が中止となりました。</p> <p>以下の会合へ参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会(5/6:2名参加) ・第1回理事会(6/17:3名参加) ・臨時理事会(10/4:3名参加) ・第2回理事会(3/24:2名参加) <p>◇志摩市視覚障がい者福祉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から書面開催となったため不参加でした。 																																					

・第81回三重県視覚障害者福祉大会への協力 (11月11日予定)		・志摩市阿児アリーナで開催された『第81回三重県視覚障害者福祉大会 (あいふえすたイン志摩市)』へ参加しました。
----------------------------------	--	--

■評価

目標の達成度 <table border="1" data-bbox="89 399 291 454"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区民生委員児童委員協議会との連携及び各団体への支援を継続的に行い、連携を強化しています。 ・老人クラブなどの当事者団体は、地域福祉活動を推進する団体でもあることから、当事者団体の自主運営を側面支援しました。 ・志摩市障がい者福祉会は、高齢化に伴い磯部町以外の4町の支部が解散となりました。今後は、志摩市視覚障がい者福祉会とみしま会、磯部町福祉共生会の3団体で連合会の存続を予定されることになりました。引き続き自主運営を支援していきます。
評価	B		

2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・支出予算 5,033千円

共同募金配分金が、現状の志摩市のニーズを確認し、地域・事業への効果的な配分と活用ができるように、共同募金配分計画の見直しを行います。今年度は、共同募金配分金が地域支援の一助となるしくみとなっていることの意義を改めて検証し、実施事業を見直します。

(1) 地域見守り事業

■目標

①地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																										
①関係団体、協力ボランティア等と協力し、地域での見守り活動を実施します。(定期訪問各地区年12回)	100%	①定期訪問 <table border="1" data-bbox="750 1085 1982 1236"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ実施回数</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>60回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>437名</td> <td>178名</td> <td>999名</td> <td>361名</td> <td>845名</td> <td>2,820名</td> </tr> </tbody> </table>							浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	延べ実施回数	12回	12回	12回	12回	12回	60回	延べ利用者数	437名	178名	999名	361名	845名	2,820名
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																						
延べ実施回数	12回	12回	12回	12回	12回	60回																						
延べ利用者数	437名	178名	999名	361名	845名	2,820名																						
②訪問時の状況を確認し、日頃の様子と異なる場合などは、親族や関係機関に速やかにつながります。	100%	②訪問時に留守や体調の変化等があった場合は、親族や関係機関等へ連絡し、安否の確認や必要な支援を行いました。また、利用が休止中になっている方等の現況について、家族やケアマネジャーへ確認をしました。																										

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症における感染対策を行い、ボランティアや民生委員・児童委員と連携し、地域での見守り活動を継続しています。 ・浜島地区のボランティアと実施方法等について協議し、ボランティアが主体的に活動できるようにグループ分けや連絡先の共有を支援しました。
評価	

(2) 地域ふれあいサロン支援事業

■目標

①地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																					
①地域支援コーディネーターが日頃のサロン活動を随時訪問し、活動者の想いを聞き取るなどして、活性できるプログラム作りを支援します。	100%	①プログラム作りへの助言や運営への参加協力を通して、サロン活動への支援を行いました。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問件数</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>7件</td> <td>17件</td> <td>7件</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>支援件数</td> <td>13件</td> <td>8件</td> <td>71件</td> <td>45件</td> <td>50件</td> <td>187件</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	訪問件数	5件	6件	7件	17件	7件	42件	支援件数	13件	8件	71件	45件	50件	187件
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計															
訪問件数	5件	6件	7件	17件	7件	42件																	
支援件数	13件	8件	71件	45件	50件	187件																	
②助成金の交付を行います。 (52団体、上限30,000円)	100%	②助成金の交付状況																					
③新規サロン設置の支援を行います。	100%	③新規の地域ふれあいサロン設置希望から、設置に向けた準備や実施方法への助言などの相談を重ねました。 今年度は新たに4団体のサロンが立ち上がりました。 ※サロンの活性化、地域住民への分かりやすい情報提供を目指し、昨年度作成したサロンパンフレットを市内居宅介護支援事業所や市役所、市内で地域住民が集まる機会が多い診療所等に配付しました。 ※今年度はサロン助成事業の二次募集を行い、3団体から申請がありました。																					
		④上半期終了時期にサロンの実施状況と下半期の予定について電話調査を実施し、サロン実施についての困りごとや不安、工夫して開催している様子等について確認しました。																					
		④新型コロナウイルス感染症情勢を考慮した活動支援を行います。																					

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で活動が予定通り実施できないサロンが多くありました。ただ、それぞれのサロンで活動方法を工夫するなどして継続している様子が伺えました。活動をどのようにしたらよいかといった内容の相談は昨年度に比べ減少したように感じます。 サロン助成の2次募集を実施したところ、3団体のサロン（内2団体は新設）より申請がありました。少しずつですが、地域の中で地域の居場所づくりが主体的に進められている様子が伺えました。 令和3年度をもって3団体のサロンが活動者不足等の理由により解散しました。次年度は新たなサロンの立ち上げ支援とともに、活動しているサロンへの継続支援も実施していきます。
----------------	---

(3) 福祉学習の支援

■目標

①児童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉に理解と関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるとともに、家庭及び地域社会への啓発を図り、地域福祉の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																		
①福祉体験学習を実施します。 ・児童・生徒が交流体験を通して高齢者や障がい者への理解を深めます。（夏休みデイサービス体験） ②助成金の交付を行います。 （15校、上限30,000円）	0%	①福祉学習 ※夏休み福祉体験教室「デイサービス体験」を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、デイサービスでの受け入れが困難となり取りやめました。																																		
	100%	②助成金の交付状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">浜島町</th> <th style="width: 15%;">大王町</th> <th style="width: 15%;">志摩町</th> <th style="width: 15%;">阿児町</th> <th style="width: 15%;">磯部町</th> <th style="width: 10%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,000円</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>20,000円</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>30,000円</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30,000円</td> <td>20,000円</td> <td>30,000円</td> <td>60,000円</td> <td>40,000円</td> <td>180,000円</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校	20,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校	30,000円	1校	0校	1校	2校	1校	5校	合計	30,000円	20,000円	30,000円	60,000円	40,000円
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																														
10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校																														
20,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校																														
30,000円	1校	0校	1校	2校	1校	5校																														
合計	30,000円	20,000円	30,000円	60,000円	40,000円	180,000円																														

<p>③福祉教育を支援するために、学校と協働し福祉体験プログラムを進めます。</p>	80%	<p>③小中学校にて福祉学習を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="725 180 2033 676"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島小学校</td> <td>1月20日</td> <td>①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>大王小学校</td> <td>2月24日</td> <td>①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>志摩小学校</td> <td>12月16日</td> <td>①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鶯方小学校</td> <td>10月18日</td> <td>アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td>11月18日</td> <td>視覚障がい者との交流・講義</td> </tr> <tr> <td>神明小学校</td> <td>2月3日(中止)</td> <td>①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">磯部小学校</td> <td>11月8日</td> <td>車いす体験</td> </tr> <tr> <td>2月7日</td> <td>動画を使用した交流(デイスサービス利用者、職員への質問に対し、動画にて回答する形で交流)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市内6校で実施しました(1校が新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた学習が中止) ・磯部小学校ではデイスサービスに訪問しての学習が新型コロナウイルスの影響で実施できない中、動画を活用した交流学習を実施しました。 ・神明小学校は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。次年度に同様の内容で予定しています。 ・福祉教育推進セミナー(コロナ禍における福祉教育実践について)へ参加しました(1名参加)。 	学校名	日	内容	浜島小学校	1月20日	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験	大王小学校	2月24日	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験	志摩小学校	12月16日	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験	鶯方小学校	10月18日	アイマスク体験	11月18日	視覚障がい者との交流・講義	神明小学校	2月3日(中止)	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験	磯部小学校	11月8日	車いす体験	2月7日	動画を使用した交流(デイスサービス利用者、職員への質問に対し、動画にて回答する形で交流)
学校名	日	内容																									
浜島小学校	1月20日	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験																									
大王小学校	2月24日	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験																									
志摩小学校	12月16日	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験																									
鶯方小学校	10月18日	アイマスク体験																									
	11月18日	視覚障がい者との交流・講義																									
神明小学校	2月3日(中止)	①視覚障がい者との交流 ②アイマスク体験																									
磯部小学校	11月8日	車いす体験																									
	2月7日	動画を使用した交流(デイスサービス利用者、職員への質問に対し、動画にて回答する形で交流)																									
<p>④福祉学習を支援するため、オンライン等を活用する新しいプログラムを取り入れた福祉学習パンフレットを作成します。</p>	90%	<p>④現在使用している福祉学習リーフレットについて下記を目的に改訂しました。(未発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉学習プログラムにICTを活用した学習内容を追加しました。 ・使用している写真を最新のものと変更し、内容や目的をわかりやすく記載しました。 <p>令和4年度に市内小中学校および高等学校(16校)へ配付します。</p>																									

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1262 286 1315"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学童生徒が福祉やボランティアを学ぶきっかけづくりを推進するための事業費を助成しました。 ・市内6校より依頼を受け、福祉学習を実施しました。アイマスク体験学習ではガイドヘルプボランティア養成講座修了者に協力を仰ぎ、学校とボランティアの連携機会としました。新型コロナウイルス感染症の影響からか、学校からの依頼数は減少しているため、コロナ禍でも可能な学習について改訂したリーフレットを活用し、学校へ働きかけを行っていきます。
評価	B		

(4) ボランティア活動支援

■目標

- ①ボランティア団体やまちづくりに取り組む市民の方々への相談対応・情報提供・活動支援を推進していきます。
- ②ボランティアセンター運営を活性化させます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																
①助成金の交付を行います。 (45団体、上限10,000円)	100%	<p>①ボランティア支援、団体情報、助成金など</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外等</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>66件</td> <td>91件</td> <td>139件</td> <td>16件</td> <td>67件</td> <td>1件</td> <td>380件</td> </tr> <tr> <td>登録団体数</td> <td>6団体</td> <td>8団体</td> <td>5団体</td> <td>11団体</td> <td>12団体</td> <td>0団体</td> <td>42団体</td> </tr> <tr> <td>登録団体会員数</td> <td>66名</td> <td>75名</td> <td>91名</td> <td>188名</td> <td>162名</td> <td>0名</td> <td>582名</td> </tr> <tr> <td>個人登録者数</td> <td>6名</td> <td>3名</td> <td>21名</td> <td>29名</td> <td>25名</td> <td>3名</td> <td>87名</td> </tr> <tr> <td>活動費の助成 上限10,000円/1団体</td> <td>30,000円</td> <td>20,000円</td> <td>20,000円</td> <td>77,000円</td> <td>50,000円</td> <td>0円</td> <td>197,000円</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外等	合計	相談・助言	66件	91件	139件	16件	67件	1件	380件	登録団体数	6団体	8団体	5団体	11団体	12団体	0団体	42団体	登録団体会員数	66名	75名	91名	188名	162名	0名	582名	個人登録者数	6名	3名	21名	29名	25名	3名	87名	活動費の助成 上限10,000円/1団体	30,000円	20,000円	20,000円	77,000円	50,000円	0円	197,000円
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外等	合計																																										
相談・助言	66件	91件	139件	16件	67件	1件	380件																																											
登録団体数	6団体	8団体	5団体	11団体	12団体	0団体	42団体																																											
登録団体会員数	66名	75名	91名	188名	162名	0名	582名																																											
個人登録者数	6名	3名	21名	29名	25名	3名	87名																																											
活動費の助成 上限10,000円/1団体	30,000円	20,000円	20,000円	77,000円	50,000円	0円	197,000円																																											
②ボランティア同士の研鑽や交流を目的にボランティア交流会を開催します。(年1回)	100%	<p>②新型コロナウイルス感染症の情勢を見極めつつ、町別に地域で活動するボランティア団体、サロン団体、福祉委員会が活動に関する意見交換や交流を目的にボランティア交流会を開催しました(地域福祉計画推進事業 地域座談会と合同開催)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日付</td> <td>7月14日</td> <td>7月27日</td> <td>7月14日</td> <td>7月19日</td> <td>7月21日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>浜島生涯学習センター</td> <td>大王公民館</td> <td>志摩文化会館</td> <td>志摩商工会館</td> <td>磯部健康福祉センター かがやき</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>7名</td> <td>8名</td> <td>5名</td> <td>9名</td> <td>9名</td> <td>38名</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	日付	7月14日	7月27日	7月14日	7月19日	7月21日		会場	浜島生涯学習センター	大王公民館	志摩文化会館	志摩商工会館	磯部健康福祉センター かがやき		参加者数	7名	8名	5名	9名	9名	38名																				
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																											
日付	7月14日	7月27日	7月14日	7月19日	7月21日																																													
会場	浜島生涯学習センター	大王公民館	志摩文化会館	志摩商工会館	磯部健康福祉センター かがやき																																													
参加者数	7名	8名	5名	9名	9名	38名																																												
③地域の活動機会へのコーディネートを行います。	50%	<p>③活動機会のコーディネートを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、浜島地区民生委員児童委員協議会主催のふれあい喫茶において、子どもボランティアの募集を毎回呼びかけていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。 																																																

<p>④ガイドヘルプボランティアを募集し、活動支援を行います。</p>	<p>100%</p>	<p>・その他相談に応じてコーディネート（活動調整・研修・寄付など）を行っています。</p> <p>・コーディネート力を高めるため研修会へ参加しました。</p> <p>ボランティアコーディネーション研修 10/19 アセスメントの理解 2名 11/19 実践とプログラム提供 2名 11/26 事例発表 2名 12/3 相談技術 2名</p> <p>三重県内の企業と地域のつながりを考える勉強会 10/25 今から取り組むローカルSDGS 1名 11/24 これまでのつながりを振り返る 1名 12/14 未来へ向けた行動を考える 1名</p> <p>④視覚障がい者の外出・移動を支援するボランティアを養成するため、ガイドヘルプボランティア養成講座を以下のとおり開催しました。（参加者 15名）</p> <p><第1回> 日時：10月7日（木）14：00～15：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：15名 内容：ボランティアについて基礎学習</p> <p><第2回> 日時：10月21日（木）14：00～15：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：14名 内容：視覚障がい者との交流会</p> <p><第3回> 日時：11月4日（木）10：00～16：15 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：15名 内容：ガイドヘルプボランティアの基礎知識・実技指導</p> <p><第4回> 日時：11月11日（木）9：20～14：45 会場：阿児アリーナ 参加：12名 内容：実践「あいふえすたへの参加」</p>
-------------------------------------	-------------	--

<p>⑤HP、SNS 等を活用し活動のPRを行います。 (随時)</p>	<p>100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講座終了後、LINE オープンチャットを活用した情報連絡網を作成しました (9名参加)。福祉学習 (アイマスク体験学習) の補助活動呼びかけ、活動機会の提供を行いました (全2回 4名参加)。 ・志摩市視覚障害者福祉会との新春交流会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で次年度に延期となりました。次年度は、視覚障がい者福祉会員とガイドヘルプボランティアが今後の活動方針等の意見交流を行う機会を企画します。 <p>⑤月1回以上HPやFacebook、Instagramを活用した情報発信を実施しました。</p>
--	-------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 592 282 644"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の登録団体が1団体ありました。(昨年度登録10団体は、諸般の事情により未登録となったため、今年度の登録団体数は昨年度より減少しています。) ・ボランティア交流会は多くの団体の代表者が参加し、積極的な情報交換がなされました。また参加者からは、他のボランティア団体や関係機関(市役所等)とも連携を図りたいといった前向きな意見も聞くことができました。 ・ガイドヘルプボランティア養成講座を開催し、15名のガイドヘルプボランティアを養成しました。次年度は志摩市視覚障がい者福祉会との橋渡しを行い、活動の活性化に向けて支援を行います。
評価	B		

(5) 共同募金配分委員会の運営

■目標

- ①社会福祉を目的とする団体や事業に対し、公平中立な立場で配分金を配分できるよう運営していきます。
- ②配分金の効果的な配分方法を見出します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①配分金事業を精査・検証し、効果的な配分計画を検討します。(配分委員会年3回)</p>	<p>100%</p>	<p>①配分委員会において以下のとおり検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(5/27)…令和3年度充当事業の変更・計画について ・第2回(6/6)…共同募金助成審査会(プレゼンテーション)とその審査結果から申請7団体への配分方法と令和3年度の配分事業の計画について検討しました。 ・令和3年度先駆的・重点的地域福祉活動助成事業の総申請金額が酒記分額に満たなかったため、余剰分について配分委員会で検

②助成事業のプレゼンテーションの開催とともに、共同募金配分助成審査会を開催します。(年1回)	100%	討し、重点的な生活課題の解決に向けた住民主体の福祉事業等に対して2次募集をしました。 ・第3回(8/1)・・・2次募集の審査会(申請1団体)とその審査結果から配分の在り方について検討しました。 ・第4回(3/15)・・・令和3年度充当事業を報告し、令和4年度充当事業を検討しました。 ②共同募金配分助成審査会では、配分委員7名と主任児童委員1名、企業代表者2名が審査員となり、申請7団体のプレゼンテーションによる審査を実施しました。また2次募集に伴い、同審査員にて申請団体(1団体)のプレゼンテーションを実施しました。
--	------	--

■評価

目標の達成度 評価 B	・先駆的・重点的・地域福祉活動助成事業2次募集により、新たな活動の発掘につながりました。 ・引き続き、活動等に訪問し、必要な支援を実施していきます。
----------------	---

3. 生活福祉資金貸付事業(受託事業)・・・・・・支出予算 700千円

(1) 生活福祉資金貸付事業

■目標

①三重県社会福祉協議会から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行ない、経済的に安定した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
①生活福祉資金の借り入れについて、貸付相談を実施します。(随時)	100%	①貸付相談 (1)通常貸付について ・相談件数 <table border="1" data-bbox="770 1166 2145 1267"> <tr> <td></td> <td>浜島町</td> <td>大王町</td> <td>志摩町</td> <td>阿児町</td> <td>磯部町</td> <td>市外</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>相談・助言</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>8件</td> <td>71件</td> <td>12件</td> <td>0件</td> <td>95件</td> </tr> </table> ・貸付件数 <table border="1" data-bbox="770 1315 2145 1415"> <tr> <td></td> <td>浜島町</td> <td>大王町</td> <td>志摩町</td> <td>阿児町</td> <td>磯部町</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>年度当初既貸付件数</td> <td>3件</td> <td>12件</td> <td>21件</td> <td>86件</td> <td>18件</td> <td>140件</td> </tr> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計	相談・助言	0件	4件	8件	71件	12件	0件	95件		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	年度当初既貸付件数	3件	12件	21件	86件	18件	140件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計																									
相談・助言	0件	4件	8件	71件	12件	0件	95件																									
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																										
年度当初既貸付件数	3件	12件	21件	86件	18件	140件																										

年度内新規貸付件数	0件	0件	0件	11件	3件	14件
年度内償還完了等件数	1件	0件	0件	3件	6件	10件
年度末貸付件数	2件	12件	21件	94件	15件	144件

(2) 新型コロナ特例貸付について

令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活資金に困っている方の経済的な相談を支援しました。

・相談件数(延べ件数)：令和3年4月1日～令和4年3月31日

(内 訳)

浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外・不明	合計
25件	29件	34件	110件	21件	3件	220件

・貸付件数(令和3年4月1日～令和4年3月31日までの申請件数及び貸付決定件数)

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
緊急小口資金(申請)	8件	6件	9件	34件	3件	60件
緊急小口資金(決定)	10件	7件	7件	33件	3件	60件
総合支援資金(申請)	11件	10件	7件	33件	9件	70件
総合支援資金(決定)	10件	6件	6件	28件	6件	56件
総合支援資金延長(申請)	1件	0件	2件	8件	1件	12件
総合支援資金延長(決定)	0件	1件	1件	5件	0件	7件
総合支援資金再貸付(申請)	4件	5件	6件	27件	4件	46件
総合支援資金再貸付(決定)	4件	3件	3件	17件	5件	32件

※総合支援資金延長貸付は、「令和3年3月末までに総合支援資金の初回貸付を申請した世帯をもって終了する」となっているため、9月末時点で受付を終了しました。

※総合支援資金再貸付は、令和3年12月末をもって受付を終了しました。

※貸付決定件数には、令和2年度に申請し貸付決定した件数が含まれています。浜島町：申請6件<決定10件など

②現在の貸付世帯の中で、定期的に滞納者の生活状況を確認し、借入れ資金への償還指導を行い

100%

②生活状況の把握と償還指導

・自立、生活意欲の助長促進に向けた更なる相談援助と償還指導を行いました。

<p>ます。</p> <p>償還指導数=38/113件</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・償還対象者全員に対し、償還案内を送付(送付時期：6月・9月・12月・3月)し、6ヵ月以上返済が滞っている方には督促状を送付(送付時期：6月・12月)しました。 ・償還指導対象者の生活状況について民生委員等と相談の上、訪問、電話、文書、来所面談により指導しました。 <table border="1" data-bbox="770 277 2145 507"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>償還指導対象者件数 (内、督促状送付件数)</td> <td>2件 (2件)</td> <td>9件 (3件)</td> <td>20件 (11件)</td> <td>68件 (18件)</td> <td>14件 (4件)</td> <td>113件 (38件)</td> </tr> <tr> <td>償還指導実施件数</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>12件</td> <td>10件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>償還につながった件数</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td>7件</td> <td>2件</td> <td>17件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※償還指導対象者件数は、生活保護世帯や行方不明の世帯が含まれます。</p>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	償還指導対象者件数 (内、督促状送付件数)	2件 (2件)	9件 (3件)	20件 (11件)	68件 (18件)	14件 (4件)	113件 (38件)	償還指導実施件数	2件	6件	8件	12件	10件	38件	償還につながった件数	1件	3件	5件	7件	2件	17件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																								
償還指導対象者件数 (内、督促状送付件数)	2件 (2件)	9件 (3件)	20件 (11件)	68件 (18件)	14件 (4件)	113件 (38件)																								
償還指導実施件数	2件	6件	8件	12件	10件	38件																								
償還につながった件数	1件	3件	5件	7件	2件	17件																								
<p>③生活福祉資金貸付担当者研修会へ参加します。 (年2回)</p>	100%	<p>③生活福祉資金貸付担当者研修会へ次のとおり参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会(県社協主催)/12月15日、1名参加 ・緊急小口資金等特例貸付に関連する償還免除説明会/2月2日、3名参加 ・緊急小口資金等特例貸付に関連する償還免除第2回説明会/3月8日、1名参加 																												
<p>④新型コロナウイルス感染症の影響を受けた相談者の生活状況を受け、生活困窮者自立相談、家計改善相談への連携を行います。</p>	100%	<p>④新型コロナウイルス感染症特例貸付を相談される方は、失業、休業、時短勤務、負債、疾病、介護、年金など様々な要因が背景にあることが伺えました。この貸付の相談件数は令和元年～2年度と合わせると976件となり、通常的生活福祉資金貸付では見られなかった生活困窮者の実情を知ることにつながりました。今後、どのような支援が可能なのか、どうしたら相談者がよりよい生活を取り戻せるのか、担当者としても貸付ありきではなく、「くらしサポートセンターふんばり」とも連携し、自立支援を見据え、多角的に支援しました。</p> <table border="1" data-bbox="770 991 1563 1059"> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症特例貸付から自立相談支援機関への相談につないだ件数</td> <td>58件</td> </tr> </table>	新型コロナウイルス感染症特例貸付から自立相談支援機関への相談につないだ件数	58件																										
新型コロナウイルス感染症特例貸付から自立相談支援機関への相談につないだ件数	58件																													
<p>⑤貸付申請、償還指導の際に民生委員児童委員の協力を求め、相談と連携を行います。</p>	100%	<p>⑤貸付申請時や償還指導の際に担当職員と地区担当民生委員と同行訪問し、相談者世帯の生活状況を把握するなどの取り組みを実施しました。</p>																												

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1315 282 1362"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付事業を三重県社協から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付と償還指導を行い、経済的に安定した生活を送れるよう支援しました。中でも、督促状が発行されている滞納者に対しては連絡を促し、現在の生活状況の把握から償還の促進につなげることができました。また、償還指導をしてもなお償還が困難な世帯に対しては、対象地区の民生委員や三重県社協と連携して対応しました。 ・令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症特例貸付は、令和4年6月まで受付期間が延長されました。「新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか」と
評価	B		

いう思いを持ちながらも、相談者1人1人に対して丁寧な相談対応をしています。昨年度に比べると減少傾向にはあるものの、継続して貸付希望者が来所している状況です。また、この貸付を通じて相談者の自立の助長ができるよう自立相談支援機関と連動した相談支援を進めます。

4. 会員サービス事業・・・・・・・・・・支出予算（法人運営事業に包含）

■目標

- ①三重県共同募金会の配分要綱の見直しから、本会の共同募金配分金事業の再編が必要となったため、地域活動に対する助成金制度の見直しを行います。
- ②令和4年4月から新たに社協会費を財源として、助成事業の統廃合を行い、住民のみなさまが住みよいまちづくり活動や地域の助け合い・見守り活動のための助成事業を創設します。
- ③令和3年度は、上記①②をふまえて以下の3事業を従来どおり移行期間として実施し、令和4年度からの新助成事業を整備します。

（1）見守り支援員委託

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①磯部町内の自治会に対し、見守り支援員活動を委託し、助けあい活動の機運を高め安否確認活動を促進します。（委託額は地区の規模による）	100%	①20地区の自治会へ145名の見守り支援員を委託しました。例年、上半期に見守り支援員研修会を開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度に続き中止しました。
②磯部町自治会連合会へ助成事業の見直し再編整備について説明します。（7月予定）	10%	②ふくし座談会を推進し、地域福祉の活性化を図ること及び自治会と本会の協力関係の醸成を図ることを目的に新事業の概要を作成しました。自治会との協議の結果、次年度は移行期間とし令和5年度事業開始とすることになりました。

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・磯部地区では20地区の自治会が145名の見守り支援員活動を行っています。地域に見守りが必要な方を把握した際に、自治会長を通じて見守り支援員へ見守りをお願いしています。 ・会員サービス事業の再編を図り、令和4年度から事業開始を目指しておりましたが、自治会との協議は十分な時間が持つことができませんでした。協議の結果、令和4年度は現行のまま実施する中で自治会と意見交換し、より地域福祉を推進できる事業を組み立てていくことになりました。
----------------	---

（2）福祉委員会助成

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																					
<p>①地域の福祉活動、支え合い活動を実施している福祉委員会に対して助成金を交付します。 (1地区上限65,000円)</p>	100%	<p>①活動の状況と助成金の交付状況</p> <table border="1" data-bbox="757 331 2150 1118"> <thead> <tr> <th data-bbox="757 331 869 379">地区</th> <th data-bbox="869 331 1171 379">委員会名</th> <th data-bbox="1171 331 1283 379">委員数</th> <th data-bbox="1283 331 1989 379">主な活動内容</th> <th data-bbox="1989 331 2150 379">助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="757 379 869 579" rowspan="3">浜島</td> <td data-bbox="869 379 1171 459">桧山路地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 379 1283 459">15名</td> <td data-bbox="1283 379 1989 459">地区行事へ協力、見守り活動、イベント開催、体験学習会、福祉課題の把握</td> <td data-bbox="1989 379 2150 459">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 459 1171 531">塩屋地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 459 1283 531">6名</td> <td data-bbox="1283 459 1989 531">会議の開催、見守り活動、サロン運営、買い物支援</td> <td data-bbox="1989 459 2150 531">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 531 1171 579">迫子地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 531 1283 579">5名</td> <td data-bbox="1283 531 1989 579">社協事業・地区行事・JA女性部事業への協力、見守り活動</td> <td data-bbox="1989 531 2150 579">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="757 579 869 627">大王</td> <td data-bbox="869 579 1171 627">船越地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 579 1283 627">6名</td> <td data-bbox="1283 579 1989 627">見守り活動、サロン運営協力、福祉課題の把握</td> <td data-bbox="1989 579 2150 627">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="757 627 869 1070" rowspan="5">阿児</td> <td data-bbox="869 627 1171 722">鵜方地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 627 1283 722">7名</td> <td data-bbox="1283 627 1989 722">ボランティア協力、地区行事への協力、志摩市あんしん見守り協力員研修、見守り活動</td> <td data-bbox="1989 627 2150 722">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 722 1171 818">神明地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 722 1283 818">16名</td> <td data-bbox="1283 722 1989 818">見守り活動、高齢者ふれあい交流会、福祉・介護等の研修、高齢者の生活支援活動、社協事業への参加・協力</td> <td data-bbox="1989 722 2150 818">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 818 1171 914">立神地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 818 1283 914">16名</td> <td data-bbox="1283 818 1989 914">見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力</td> <td data-bbox="1989 818 2150 914">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 914 1171 978">志島地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 914 1283 978">10名</td> <td data-bbox="1283 914 1989 978">見守り活動、地区福祉課題の把握、講習会</td> <td data-bbox="1989 914 2150 978">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 978 1171 1070">甲賀地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1171 978 1283 1070">10名</td> <td data-bbox="1283 978 1989 1070">見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握、地域行事への参加・協力</td> <td data-bbox="1989 978 2150 1070">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="757 1070 869 1118">合計</td> <td colspan="3" data-bbox="869 1070 1989 1118"></td> <td data-bbox="1989 1070 2150 1118">585,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="757 1129 2150 1321"> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月9日 阿児地区福祉委員会会長会議を開催。 助成金の財源が共同募金配分金から会費を財源としたものに変更になった経緯を説明しました。阿児地区以外の福祉委員会には、各コーディネーターから個別に説明を行いました。 鵜方地区福祉委員会が、委員の高齢化、委員の担い手不足により3月末で解散となりました。 </p>					地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額	浜島	桧山路地区福祉委員会	15名	地区行事へ協力、見守り活動、イベント開催、体験学習会、福祉課題の把握	65,000円	塩屋地区福祉委員会	6名	会議の開催、見守り活動、サロン運営、買い物支援	65,000円	迫子地区福祉委員会	5名	社協事業・地区行事・JA女性部事業への協力、見守り活動	65,000円	大王	船越地区福祉委員会	6名	見守り活動、サロン運営協力、福祉課題の把握	65,000円	阿児	鵜方地区福祉委員会	7名	ボランティア協力、地区行事への協力、志摩市あんしん見守り協力員研修、見守り活動	65,000円	神明地区福祉委員会	16名	見守り活動、高齢者ふれあい交流会、福祉・介護等の研修、高齢者の生活支援活動、社協事業への参加・協力	65,000円	立神地区福祉委員会	16名	見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力	65,000円	志島地区福祉委員会	10名	見守り活動、地区福祉課題の把握、講習会	65,000円	甲賀地区福祉委員会	10名	見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握、地域行事への参加・協力	65,000円	合計				585,000円
地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額																																																			
浜島	桧山路地区福祉委員会	15名	地区行事へ協力、見守り活動、イベント開催、体験学習会、福祉課題の把握	65,000円																																																			
	塩屋地区福祉委員会	6名	会議の開催、見守り活動、サロン運営、買い物支援	65,000円																																																			
	迫子地区福祉委員会	5名	社協事業・地区行事・JA女性部事業への協力、見守り活動	65,000円																																																			
大王	船越地区福祉委員会	6名	見守り活動、サロン運営協力、福祉課題の把握	65,000円																																																			
阿児	鵜方地区福祉委員会	7名	ボランティア協力、地区行事への協力、志摩市あんしん見守り協力員研修、見守り活動	65,000円																																																			
	神明地区福祉委員会	16名	見守り活動、高齢者ふれあい交流会、福祉・介護等の研修、高齢者の生活支援活動、社協事業への参加・協力	65,000円																																																			
	立神地区福祉委員会	16名	見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力	65,000円																																																			
	志島地区福祉委員会	10名	見守り活動、地区福祉課題の把握、講習会	65,000円																																																			
	甲賀地区福祉委員会	10名	見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握、地域行事への参加・協力	65,000円																																																			
合計				585,000円																																																			
<p>②地区福祉委員会へ助成事業の見直し再編整備について説明します。(7月予定)</p>	0%	<p>②協議の結果、自治会助成と見守り支援員委託は見直し再編することとなりました。</p>																																																					

■評価

目標の達成度	・地域支援コーディネーターが福祉委員会と連携し、随時連絡を取り合い活動の支援を行っています。
評価 B	

5. 日常生活自立支援事業（受託事業）・・・・・・支出予算 7,584千円

(1) 日常生活自立支援事業

■目標

①判断能力に不安のある高齢者、障がいのある人などに福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類などの預かりサービスを行い、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況							
①新規利用者の相談支援を行います。 (随時)	100%	①実施状況							
		令和4年3月31日現在							
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	
		相談・助言	2件	1件	1件	13件	5件	22件	
		利用契約数	1件	1件	0件	2件	3件	7件	
		解約数	3件	4件	1件	5件	2件	15件	
		利用者数	7名	7名	2名	21名	7名	44名	
		内訳	認知症	2名	4名	1名	4名	1名	12名
			知的障がい	3名	1名	1名	8名	2名	15名
			精神障がい	1名	2名	0名	7名	4名	14名
			その他	1名	0名	0名	2名	0名	3名
		生活支援員数	3名	1名	1名	2名	0名	7名	
		生活支援員訪問回数	187回	140回	45回	330回	131回	833回	
		専門員訪問回数	6回	9回	0回	20回	4回	39回	
その他	479回	644回	259回	1,241回	461回	3,084回			
※相談・助言/問い合わせ件数、初回相談件数									

		※その他 /生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数																																								
<p>②契約締結審査会へ参加します。 (三重県社協 月1回)</p>	100%	<p>②契約締結審査会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より新型コロナウイルス感染症対策のため、Zoomによる会議となりました。ただし、原則としては審査案件がある場合のみの出席となります(報告案件のみの場合は出席なし)。 																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出席者数</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>審査案件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0名</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	出席者数	0名	2名	2名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	審査案件数	0件	0件	0件	0件	1件	0名	0件	0件	0件	0件	0件	0名	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																														
出席者数	0名	2名	2名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名																														
審査案件数	0件	0件	0件	0件	1件	0名	0件	0件	0件	0件	0件	0名																														
		<p>※5月と6月はオンライン開催を始めたばかりであることから、特例で視聴のみで出席しました。 ※審査案件：契約や解約を行うにあたり、専門員で判断し難い場合に審議を求めて提出する案件。 ※報告案件：契約・解約・再評価を行ったことを報告するために提出する案件。</p>																																								
<p>③専門員の資質向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員研修会へ参加します。(県社協主催) ・成年後見制度へスムーズに移行できるように成年後見制度研修会へ参加します。 ・その他、専門員として必要な研修に参加します。 	100%	<p>③専門員の研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員資質向上研修/県社協主催(2月1日) 1名参加 ・成年後見にかかるスキルアップ研修会/県社協主催(11月25日) 1名参加 ・精神保健福祉専門研修会/県こころの健康センター主催(1月21日) 1名参加 																																								
<p>④生活支援員の資質向上に努めます。 (年1回研修への参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員研修会(県社協主催)へ参加します。 ・内部研修を開催し、支援方法や福祉サービスの情報共有を図ります。 	100%	<p>④生活支援員等研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員スキルアップ研修/県社協主催(3月17日) 生活支援員7名、専門員2名参加 ・生活支援員勉強会/ 日本の社会福祉の変遷と日常生活自立支援事業について/志摩日常生活自立支援センター主催(2月14日) 生活支援員6名、専門員2名参加 																																								
<p>⑤利用者再評価の定期実施を行います。</p>	100%	<p>⑤再評価(利用者の自立支援に向けた再評価の定期実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ヵ月毎に実施する新規ケースの再評価(7件) ・6ヵ月毎の継続ケース再評価(73件) 																																								
<p>⑥法人後見支援との連携を図っていきます。</p>	100%	<p>⑥本会実施の法人後見受任者と関わりがあるケースについては、情報や支援方法を共有するなど、随時連携を図っています。</p>																																								

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用契約 7 件 解約件数 15 件となりました。新規の相談については、複合的な課題を抱えている方の割合が高く、関係機関と連携した対応が不可欠です。解約件数については、「死亡、施設入所、市外への移管、後見人の選任」と理由は多岐にわたります。 ・コロナ禍のため、入所先施設や入院先が外部からの出入り規制が続いていることから、利用者との面接が困難な状況が続いています。このことから生活支援活動に支障は出たものの、施設や関係機関との連携により利用者の生活に影響を及ぼすことなく支援ができました。今後も本人の意思に寄り添った支援を実施していきます。
----------------	--

6. 生活困窮者自立支援事業（受託事業）・・・・・・支出予算 24,107千円

(1) 生活困窮者自立支援事業

■目標

- ①自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業を一体的に実施しており、複合的な課題に対して適切に見立て、コーディネーターが求められることから、各事業が専門性を持ち相談支援が実施できるように職員の資質向上に努めます。
- ②啓発方法の見直しと関係機関との連携を強化し、相談窓口に繋がらない方、支援サービスにアクセスできない方が相談につながるようにしていきます。
- ③関係機関や地域関係者と、地域就労の支援について検討する機会をつくります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①相談員の資質向上に努めます。 ・集合やWEB開催などの研修会へ参加します。 ・未修了者については、本事業従事者養成における国・都道府県研修を受講します。(国研修、都道府県研修、ブロック別研修等) ・関係機関が主催する研修会へ参加します。(関係機関：就労支援、ひきこもり支援、子どもの貧困、こころの健康づくり、障がい者支援、高齢者支援)	100%	①研修会へ参加しました。 ○以下の研修会へ参加し、職員の資質向上に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパス生涯研修課程/チームリーダーコース (三重県社協主催) : 7月27日～28日 1名参加 ・ひきこもり支援推進計画等説明会(三重県主催) : 6月29日 Zoom 開催 2名参加 内 容：「三重県ひきこもり支援推進計画(仮称)」、「ひきこもりにかかる実態調査」「生きづらさを抱える方の相談支援強化 ICT 推進事業について」 ・多重債務研修会 : 6月16日 Zoom 開催 1名参加 ・相談支援従事者更新研修(12月まで複数回の開催予定) : 9月30日 1名参加 ・虐待防止研修会(磯部生涯学習センターにて開催) : 7月13日 1名参加 ・ひきこもり研修会(鳥羽市社協主催) : 10月8日 1名参加

<p>②自立相談支援機関について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けたプランの作成をします。 ・複雑化した生活課題については、ケース会議や相談支援調整会議において支援検討を行い、関係機関と連携し支援をします。 ・相談ニーズの可能性があれば、積極的に訪問するなどアウトリーチに努めています。 ・就労支援については、社会資源の開発に取り組みます。(認定訓練事業、連携企業の開拓、連携企業開拓会議、居場所作り等) 	<p>100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いなべ市ひきこもり支援センターの活動について(三重県社会福祉士会桑員支部主催) : 10月14日 1名参加 ・第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会(生活困窮者自立支援全国ネットワーク主催) : 10月20日、21日、27日、11月13日 5名参加 ・家計改善支援事業従事者研修(国研修)※オンデマンド配信あり : 10月8日 1名参加 ・みえボランティアフォーラム(全3回) : 10月25日、11月24日、12月14日 2名参加 ・東海北陸ブロック別研修(生活困窮者自立支援ネットワーク主催) : 12月16日～17日 1名参加 ・令和3年度いせサポステ講演会(サポステ主催) : 12月24日 1名参加 ・職業紹介責任者従事者講習(全国民営職業紹介事業協会主催) : 11月22日、12月8日 2名参加 ・ひきこもり問題の理解促進と支援力向上のための研修(KHJ 全国ひきこもり家族会連合会主催) : 1月10日 1名参加 ・生活困窮者自立相談支援員向け居住支援基礎研修 : 2月24日 1名参加 ・利用しやすい就労支援に向けて多様な地域連携と地域づくりの進め方(ユニバーサル志縁センター主催) : 3月28日 1名参加 <p>②自立相談支援機関について</p> <p>(1)相談実績</p> <table border="1" data-bbox="757 858 1451 957"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規相談件数</th> <th>プラン作成件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談支援状況</td> <td>121件</td> <td>49件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)みえ福祉の「わ」創造事業利用実績</p> <table border="1" data-bbox="757 1053 1944 1152"> <thead> <tr> <th></th> <th>緊急食糧提供事業</th> <th>緊急時物品等支援事業</th> <th>就労支援事業 (交通費助成)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実績</td> <td>62件</td> <td>5件</td> <td>33件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)支援調整会議の開催(月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援機関(ふんばり)が主催となり、新型コロナウイルス感染対策の上で自立支援プランや家計再生プランの承認手続きと新規相談ケースの報告を通じて情報共有や意見集約を図りました。 <p>(出席した相談機関)</p> <p>本 会：就労準備支援事業担当者、家計改善支援事業担当者 志摩市：志摩市生活支援課、志摩市介護・総合相談支援課、志摩市健康推進課</p>		新規相談件数	プラン作成件数	相談支援状況	121件	49件		緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業 (交通費助成)	利用実績	62件	5件	33件
	新規相談件数	プラン作成件数														
相談支援状況	121件	49件														
	緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業 (交通費助成)													
利用実績	62件	5件	33件													

<p>③家計改善支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計再生プランを作成します。本人が分かりやすい家計表の作成を行います。 ・債務相談等については、司法書士や弁護士による法律相談が必要時に相談できる体制にしています。 ・一時的な生活資金が必要な時は、生活福祉資金担当者と連携し、貸付のあっせんを行います。 <p>④就労準備支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労準備支援プログラムの作成を行います。 ・直ちに就労が難しい人(高齢者を含む)の就労体験、生活習慣の改善を支援し、自立意欲の増進を図ります。 ・就労体験場所を増やし、本人の意向に合わせた就労体験ができるようにします。 <p>⑤関係機関とのネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が主催する会議等へ参加します。(三重県や志摩市が主催する会議、ハローワーク主 	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>100%</p>	<p>他機関：志摩市障がい者相談支援センターこだま</p> <p>(4) 社会資源の開発に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな社会資源の開発に向けて取り組んだ結果、訪問看護事業所1ヶ所が生活困窮者支援の協力先になりました。 ・ハローワーク伊勢からの紹介があり、派遣会社1件が生活困窮者支援の協力先となりました。 <p>③家計改善支援事業について</p> <table border="1" data-bbox="757 392 1431 493"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>プラン作成件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援状況</td> <td>6名</td> <td>27件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用者数=3月末時点の利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任の担当者として職員1名を配置しました。 ・今年度は司法書士や弁護士への債務相談等の相談はありませんでした。 ・家計表、キャッシュフロー表を本人と一緒に作成し、家計の「見える化」を図ることにより、相談者自身が家計上の課題に気づき、見直しができるように支援を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活福祉資金特例貸付の申込者の内、家計面の課題がある方に対し、家計再建に向けた支援を行いました。 <p>④就労準備支援事業について</p> <table border="1" data-bbox="757 879 1155 979"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援状況</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用者数=3月末時点の利用者数</p> <p>※プログラム作成の支援メニュー(1)～(6)</p> <p>(1)障がい者就労支援事業所での就労体験 (2)日課の見直し、体力づくり (3)就職試験に向けた取り組み (4)介護事業所での介護体験 (5)自力通勤への取り組み (6)パソコン入力の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者の特性に合わせ、就労意欲が喚起されるための活動機会を提供することにより、相談者1人ひとりに寄り添った支援を実施しました。 ・利用者2名のうち1名が障がい福祉サービス(就労移行支援事業)の利用となり、就労準備支援事業の利用は終了となりました。 <p>⑤関係機関とのネットワークづくり</p> <p>(1) 民生委員児童委員協議会定例会への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町単位で開催される民生委員児童委員協議会定例会へ出席し、事業啓発を行いました。 		利用者数	プラン作成件数	支援状況	6名	27件		利用者数	支援状況	1名
	利用者数	プラン作成件数										
支援状況	6名	27件										
	利用者数											
支援状況	1名											

<p>催の会議、民児協定例会 等)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員協議会からの依頼により、事業説明(研修会)を実施しました(1回)。2名参加。 (2)関係機関が主催する会議へ以下のとおり参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援調整会議&地域支援コーディネーター連携会議(月1回開催) :1名参加。 ・本会内の虐待防止委員会(月1回開催) :1名参加。 ・志摩地域自立支援協議会「働く」プロジェクト会議(月1回開催) :1名参加。 ・志摩市開催の相談支援調整会議(毎週水曜日開催) : 随時参加(令和3年4月～9月は7回の出席)。 ・ひきこもり支援意見交換会(伊賀市社協主催) :11月25日、2名参加 ・個別ケースのケース会議 : 随時参加 ・就労準備支援事業についてのヒアリング調査(JA 共済総合研究所) :11月5日、2名参加 (3)第4次地域福祉(活動)計画策定に係る事務座談会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・事務座談会メンバーとして、事務局会議や策定委員会へ参加しました。1名参加。
<p>⑥関係機関と連携して地域づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会等を実施し、事業啓発を行います。 ・個別事例の課題から社会資源についての検討や地域資源の把握を行います。 ・年2回程度、志摩市生活支援課と生活困窮者支援についての検討をする機会をつくります。 	<p>100%</p>	<p>⑥関係機関と連携した地域づくりについて</p> <p>(1)研修会の実施</p> <p>生活困窮者自立支援事業の啓発を目的に以下のとおり研修会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和4年1月27日(木) 13:30～15:30 ・方 法：Zoomによるオンライン研修 ・内 容：ひきこもり支援について ・講 師：KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 事務局長 上田理香氏 ・参加者：37名 <p>(2)企業開拓</p> <p>志摩市内の企業への訪問等により事業啓発を行い、企業担当者との「顔の見える関係」づくりに努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉(活動)計画策定に係るヒアリング調査を通じて、企業訪問を実施しました。(3企業) スーパーマーケット、農協、漁協 ・関係機関からの紹介により企業を訪問しました。(5企業) ホテル、派遣会社、訪問看護事業所、新聞店、警備会社 <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からの紹介により、フィットネスクラブ「カーブス」より年1回(2月頃予定)食糧等の物資の寄付を受けることとなり

	<p>ました。</p> <p>3月にカーブスより食糧等の物資が寄贈されました。</p> <p>・第4次地域福祉(活動)計画の策定にあたり、志摩市生活支援課と意見交換をしました。</p>
--	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 448 282 499"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>新規相談件数は121件でした。昨年度の相談件数(174件)と比べると減少となります。しかし、自立プラン作成件数は微増しており、支援が必要なケースが増えている状況が伺えます。相談内容としては、単に経済的に生活が苦しいだけでなく、障がいの疑いやひきこもりなど複合的な課題を有するものも見受けられました。また、生活福祉資金貸付の相談からふんばりへの相談に至ったケースの中にも、生活福祉資金貸付以外の生活課題(家計面や同居親族の不就労など)が見受けられる方もありました。ふんばりとしては、1人1人の相談者の思いを受け止め、助言・提案を行いながら相談者に伴走する姿勢で相談支援を実施することができました。</p> <p>また、企業訪問を通じて、事業啓発活動にも取り組みました。引き続き、生活困窮者支援についての啓発活動を続け、志摩市内において本事業の周知・理解等が促進されるように努めていきたいと考えています。</p>
評価	B		

Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課 (事業方針)

令和3年度は3年に1回の介護報酬改定の年であり、改定案では居宅介護支援費は基本報酬が1.7%ほどのプラス改定となっています。介護報酬改定に関する審議報告では、感染症や災害への対応力強化、地域包括システムの推進、ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保、自立支援・重度化防止の取り組みの推進、ICTの活用、平時からの医療・介護連携の推進強化を図ることとなっています。求められているケアマネジャーの役割が果たせるように努めながら関係機関と連携し地域の高齢者、障がい者を支えています。



1. 居宅介護支援事業・・・支出予算 121,532千円

(1) 居宅介護支援事業

■目標

- ①介護支援専門員としての専門性を発揮し、要支援・要介護認定を受けた方への適切な予防プラン及びケアプランを作成します。
- ②高齢者がより充実した在宅生活を送ることができるよう、行政、サービス事業者、医療機関など関係機関との連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③専門員研修などに積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。
- ④要介護認定の訪問調査の依頼を受け、業務を行っていきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																						
①専門性を担保するため、1人5回以上外部研修に参加します。 ②居宅情報交換会（会議）を開催します。（年6回） ③週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催します。 ④他の法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で事例検討会、研修会等を実施します。（年1回） ⑤24時間連絡体制の確保及び相談に応じる体制を整えます。 ⑥介護・総合相談支援課から紹介の困難事例に対応します。 ⑦ケアプラン作成数の目標を1人あたり月35件とします。 ⑧その他（計画外）	163%	①外部研修の参加状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆうゆう</td> <td>5回×10名（職員数）＝50回</td> <td>86回</td> </tr> <tr> <td>かがやき</td> <td>5回×14名（職員数）＝70回</td> <td>110回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>120回</td> <td>196回</td> </tr> </tbody> </table>							行動計画による目標	参加回数	ゆうゆう	5回×10名（職員数）＝50回	86回	かがやき	5回×14名（職員数）＝70回	110回	計	120回	196回																					
		行動計画による目標	参加回数																																					
	ゆうゆう	5回×10名（職員数）＝50回	86回																																					
	かがやき	5回×14名（職員数）＝70回	110回																																					
	計	120回	196回																																					
	100%	②居宅情報交換会を6回開催しました。（4月13日、6月1日、8月2日、10月5日、12月1日、2月1日）																																						
	100%	③週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催しました。																																						
	100%	④全職員が参加できるよう同内容で10月13日、14日の2回開催しました。																																						
	100%	⑤従来からの24時間連絡体制を維持し、時間外相談に随時応じています。																																						
	100%	⑥地域包括支援センターから支援困難な利用者の紹介があった場合には引き受けられる体制を整えています。																																						
101%	⑦作成者数は1人平均35.6件となっています。（障がいプラン合算）																																							
	⑧-1 営業実績 ・経営状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">大王事業所</th> <th colspan="2">磯部事業所</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>介護プラン</th> <th>予防プラン</th> <th>介護プラン</th> <th>予防プラン</th> <th>介護プラン</th> <th>予防プラン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアプラン作成件数</td> <td>3,441件</td> <td>556件</td> <td>4,605件</td> <td>686件</td> <td>8,046件</td> <td>1,242件</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-19件</td> <td>+75件</td> <td>+173件</td> <td>+65件</td> <td>+154件</td> <td>+140件</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td colspan="2">-238,896円</td> <td colspan="2">9,104,195円</td> <td colspan="2">8,865,299円</td> </tr> </tbody> </table>							大王事業所		磯部事業所		合計		介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	ケアプラン作成件数	3,441件	556件	4,605件	686件	8,046件	1,242件	[前年比]	-19件	+75件	+173件	+65件	+154件	+140件	当期利益	-238,896円		9,104,195円		8,865,299円	
	大王事業所		磯部事業所		合計																																			
	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン																																		
ケアプラン作成件数	3,441件	556件	4,605件	686件	8,046件	1,242件																																		
[前年比]	-19件	+75件	+173件	+65件	+154件	+140件																																		
当期利益	-238,896円		9,104,195円		8,865,299円																																			

	当期利益増減値 [前年比]	-195,654 円	1,522,978 円	1,327,324 円		
	・認定調査取り扱い件数					
		大王事業所	磯部事業所	合計		
	取り扱い件数	0 件	0 件	0 件		
	[前年比]	-2 件	-3 件	-5 件		
	・年度別推移					
		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	サービス活動収益	151,308,774 円	142,731,084 円	134,513,628 円	135,648,637 円	140,083,718 円
	延べ作成件数	9,545 件	9,011 件	8,816 件	8,994 件	9,288 件
	当期利益	12,713,162 円	15,696,935 円	2,657,316 円	7,537,975 円	8,865,299 円
	当期利益増減値 [前年比]	-4,893,346 円	2,983,773 円	-13,039,619 円	4,880,659 円	1,327,324 円
	・1 件当たりのケアプラン作成料（月額） 要支援 1.2（予防プラン）…4,170 円 要介護 1.2（介護プラン）…14,830 円、要介護 3.4.5（介護プラン）…18,050 円					
	・大王事業所、磯部事業所 介護サービスのケアプラン（介護プラン）、予防サービスのケアプラン（予防プラン）ともに作成件数が増えています。 認定調査取り扱い件数については、介護保険の有効期間がこれまで 1 年間か 2 年間であったのが、3 年間のケースが増えたことで、全体の認定調査数が減ったことから、依頼が減り、取り扱いがなくなっています。 ⑧-2 感染症対策委員会を開催し、法人全体で感染症の予防及まん延防止のための対策を検討しました。（9 月 15 日） また、感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練を各事業所で実施しました。					

■評価

目標の達成度 評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が大きくありましたが、人員基準等の臨時的な取り扱いに従いながら、在宅勤務、通信機器を利用して、積極的に研修会等へ参加し、資質を維持しながら、事業が継続できるよう努めました。 ・介護、予防ともに利用者が増えています。引き続き利用者に満足いただけるサービスを提供できるよう努めます。 ・年度末にタブレットを導入しましたので、業務の効率化に役立てられるようにしていきます。
--------------	---	--

(2) 障がい者相談支援事業

■目標

- ①相談支援専門員として、障がい者等の有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、適切なサービス等利用計画及び障害児支援利用計画を作成します。
- ②総合的なサービス提供ができるよう、関係市町、地域の保健、福祉、医療機関との連携に努めます。
- ③介護保険制度の介護支援専門員と密接に連携していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																
①専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加します。	264%	①外部研修の参加状況																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆうゆう</td> <td>2回×7名(職員数) =14回</td> <td>44回</td> </tr> <tr> <td>かがやき</td> <td>2回×7名(職員数) =14回</td> <td>30回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28回</td> <td>74回</td> </tr> </tbody> </table>		行動計画による目標	参加回数	ゆうゆう	2回×7名(職員数) =14回	44回	かがやき	2回×7名(職員数) =14回	30回	計	28回	74回				
			行動計画による目標	参加回数														
		ゆうゆう	2回×7名(職員数) =14回	44回														
かがやき	2回×7名(職員数) =14回	30回																
計	28回	74回																
②障がい者地域ケア会議に参加します。(年6回)	83%	②障がい者地域ケア会議に5回参加しました。(5月17日、7月12日、9月13日中止、11月8日、1月17日、3月23日)																
③ケアプラン作成数の目標を1人あたり月35件とします。	101%	③作成者数は1人平均35.6件となっています。(介護プラン合算)																
④その他(計画外)		④営業実績																
		・計画相談件数																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>大王事業所</th> <th>磯部事業所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画相談件数</td> <td>164件</td> <td>129件</td> <td>293件</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-12件</td> <td>+3件</td> <td>-9件</td> </tr> </tbody> </table>		大王事業所	磯部事業所	合計	計画相談件数	164件	129件	293件	[前年比]	-12件	+3件	-9件				
			大王事業所	磯部事業所	合計													
計画相談件数	164件	129件	293件															
[前年比]	-12件	+3件	-9件															
・年度別推移																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい福祉サービス等事業収益</td> <td>3,802,540円</td> <td>3,767,490円</td> <td>3,935,340円</td> <td>4,469,330円</td> <td>4,330,950円</td> </tr> <tr> <td>延べ作成件数</td> <td>228件</td> <td>218件</td> <td>269件</td> <td>302件</td> <td>293件</td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	障がい福祉サービス等事業収益	3,802,540円	3,767,490円	3,935,340円	4,469,330円	4,330,950円	延べ作成件数	228件	218件	269件	302件	293件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度													
障がい福祉サービス等事業収益	3,802,540円	3,767,490円	3,935,340円	4,469,330円	4,330,950円													
延べ作成件数	228件	218件	269件	302件	293件													

	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン更新事務1件…17,500円(1～3年に1回) モニタリング1件…14,490円(3か月～6か月に1回) ケアプラン料は更新事務、モニタリング時のみとなります。
--	---

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、対応件数は昨年度より減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、外部研修への参加機会は減っていますが、感染予防対策をしながらできる限り研修会へ参加し、事業所の資質向上に努めました。今後も障がいのある方が地域で生活する上での困りごとについての相談に応じ、関係機関と連携しながら、サービス利用計画を作成し福祉サービス利用の支援を行っていきます。
評価	A		

○在宅サービス課（事業方針）

令和3年度は3年に1回の介護報酬改定の年です。改定案では、訪問介護、訪問看護は1単位¹、訪問入浴においては4単位のプラス改定に留まりました。また、通所介護では機能訓練加算²や生活機能向上連携加算³が見直しされました。そのため、各事業所において算定できる体制を整えます。その他に算定できる加算に注視しながら、在宅サービス課において次のとおり取り組みを行います。しかし、改定内容には特定事業所加算⁴の算定基準の緩和、訪問入浴における初回加算の算定等、算定可能な加算があることから、人員体制、資格要件等加味し、加算の申請を行い、収入増につなげます。



また、今回の介護報酬改定に関する審議報告では、感染症や災害への対応力強化（感染症対策の強化、事業継続に向けた取組の強化）や地域包括ケアシステムの推進（認知症への対応力向上に向けた取組、認知症に係る取組の情報公表の推進）等が盛り込まれています。それをふまえて新型コロナウイルス等の感染症対策、災害時の事業継続計画（BCP）の作成、それに伴う訓練の実施、介護職員の認知症に対する対応力の強化、また、長年の課題である介護人材の確保、人材育成といった問題と向き合いながら、健全な事業所運営に努めます。

さらに、訪問看護事業においては、昨年受けた三重県看護協会によるアドバイザー事業の助言を基に、選ばれる事業所を目指し活動を継続します。また、訪問入浴事業では、入浴車の老朽化が激しいことから、収支を鑑みリース車両の活用や、事業継続について検討します。

¹ 単位：介護サービス事業所が介護サービスを提供するときに、予め国によって定められた報酬単価のことで、1単位＝10円が基本となっています。

（例）訪問介護：身体介護 30分以上1時間未満 396単位＝3,960円

² 機能訓練加算：利用者のリハビリ指導を担当する機能訓練指導員（理学療法士、作業療法士、看護師等）を配置し、個別機能訓練計画書を作成・実践する事業所に対して支払われる加算です。

³ 生活機能向上連携加算：リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士等）や医師が通所介護事業所等を訪問し、共同でアセスメント（評価）を行い、個別機能訓練計画を作成・実践する事業所に対して支払われる加算です。

⁴ 特定事業所加算：要介護度の高い利用者や支援が困難な場合においても、質の高い介護サービスを積極的に提供し、厳しい算定条件を満たす運用をしている事業所に対して支払われる加算です。

1. 訪問介護事業・・・支出予算 58,118千円

(1) 訪問介護事業・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上に取り組み、研修会への参加、勉強会を定期的に行います。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ④人材育成ができる体制づくりを行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
①毎月1回は、パート職員を含めた自主研修会を開催し、感染症や災害への対応力強化、認知症への対応強化、虐待防止に取り組みます。	100%	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体で集まらず少人数での開催としました。7月、8月、9月は書面による伝達、研修を行いました。自主研修内容（新型コロナウイルス感染症対応について、食中毒予防について、ヒヤリハットについて、交通安全について、熱中症予防・対処法、認知症、感染症、災害、虐待防止について）						
②資質向上、専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加し、事業所にて伝達します。（1回は障がいに関した研修）	44%	②外部研修の参加状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あんず</td> <td>2回×8名（職員数）=16回</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウェブ研修を活用し参加しました。（コロナ感染症の対応について）1名（なんとめでたいご臨終について）4名 障がい相談援助更新研修1名、権利擁護について1名 パート職員を含むミーティングで、研修内容の伝達を行いました。 また、課内において正職員を対象とした内部（リーダー）研修に計3回（参加回数12回）出席しました。</p>		行動計画による目標	参加回数	あんず	2回×8名（職員数）=16回	7回
	行動計画による目標	参加回数						
あんず	2回×8名（職員数）=16回	7回						
③毎月1回はパート職員を含めた情報交換を行い、支援内容の見直し等につなげます。	100%	③定期的にミーティングを行い、必要時には利用者ごとにケース会議を開催し、支援方法等について話し合いました。 また、話し合った内容を担当ケアマネに報告し、支援内容の見直しに至ったケースもあります。						
④延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。	97%	④延べ利用者は1,449名増でした。令和2年度20,846名×1.1=22,930名 令和3年度22,295名 22,295名/22,930名×100=97.2%						
⑤職員確保に努めます。（パート職員1名以上）	0%	⑤パート職員において、4月に1名増加しましたが、3月末までに3名退職（定年退職含む）しました。						

<p>⑥事業継続計画（BCP）の作成と計画に沿った訓練の実施（年1回）を検討します。</p> <p>⑦その他（計画外）</p>	<p>50%</p>	<p>⑥感染症の事業継続計画は作成に着手し、訓練については机上訓練を実施しました。災害のBCPについては令和4年度に作成予定です。</p> <p>⑦営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 延べ利用者数及び延べサービス提供時間 <table border="1" data-bbox="734 343 2132 545"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">延べ利用者数</th> <th rowspan="2">延べサービス提供時間数</th> <th colspan="3">サービス提供時間数</th> </tr> <tr> <th>身体介護</th> <th>生活援助</th> <th>総合事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス提供状況</td> <td>22,295名</td> <td>20,734時間00分</td> <td>8,418時間30分</td> <td>10,151時間30分</td> <td>2,165時間00分</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>1,449名</td> <td>2,471時間15分</td> <td>1,451時間30分</td> <td>817時間30分</td> <td>246時間45分</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 年度別推移 <table border="1" data-bbox="734 593 2132 890"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>67,676,293円</td> <td>65,074,903円</td> <td>71,292,263円</td> <td>66,693,782円</td> <td>77,149,206円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>23,744名</td> <td>21,946名</td> <td>22,894名</td> <td>20,846名</td> <td>22,295名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>1,310,296円</td> <td>3,412,451円</td> <td>13,124,854円</td> <td>11,204,207円</td> <td>17,582,214円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>346,811円</td> <td>2,102,155円</td> <td>9,712,403円</td> <td>-1,920,647円</td> <td>6,378,007円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 前年度より延べ利用者数が増加しました。特に身体介護の利用者が増加したため、収入も大幅増となっています。 また、今年度より特定事業所加算V⁵を算定した影響もあり収入が増加しています。 		延べ利用者数	延べサービス提供時間数	サービス提供時間数			身体介護	生活援助	総合事業	サービス提供状況	22,295名	20,734時間00分	8,418時間30分	10,151時間30分	2,165時間00分	[前年比]	1,449名	2,471時間15分	1,451時間30分	817時間30分	246時間45分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	サービス活動収益	67,676,293円	65,074,903円	71,292,263円	66,693,782円	77,149,206円	延べ利用者数	23,744名	21,946名	22,894名	20,846名	22,295名	当期利益	1,310,296円	3,412,451円	13,124,854円	11,204,207円	17,582,214円	当期利益増減値 [前年比]	346,811円	2,102,155円	9,712,403円	-1,920,647円	6,378,007円
	延べ利用者数	延べサービス提供時間数				サービス提供時間数																																															
			身体介護	生活援助	総合事業																																																
サービス提供状況	22,295名	20,734時間00分	8,418時間30分	10,151時間30分	2,165時間00分																																																
[前年比]	1,449名	2,471時間15分	1,451時間30分	817時間30分	246時間45分																																																
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																
サービス活動収益	67,676,293円	65,074,903円	71,292,263円	66,693,782円	77,149,206円																																																
延べ利用者数	23,744名	21,946名	22,894名	20,846名	22,295名																																																
当期利益	1,310,296円	3,412,451円	13,124,854円	11,204,207円	17,582,214円																																																
当期利益増減値 [前年比]	346,811円	2,102,155円	9,712,403円	-1,920,647円	6,378,007円																																																

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1145 282 1193"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の要望を聞き、丁寧に利用者の支援内容の検討等を行うことで、ニーズに沿ったサービスが提供できました。また、訪問時に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減、精神的ストレスの軽減に努めることができました。 通所介護等で開催した勉強会に参加しました。また、その資料を活用し、各地区のミーティング時に伝達研修を行いました。 居宅介護支援事業所と連携を密にして情報交換を行い、支援内容の検討を行いました。
評価	A		

⁵ 特定事業所加算V：「訪問介護員等ごとに作成された研修の実施」、「訪問介護員等の総数のうち、勤続年数7年以上の者の割合が30%以上」などの要件を満たした場合、所定単位数の3%が加算されます。

・課が統合され、係長・主任・系の職階による業務の見直しを行いました。職階の役割が曖昧でうまく機能できませんでした。また、職員からの意見・要望についてこまめに話を聴くことでストレスを軽減し、資質向上に努めました。

2. 障がい者ヘルパーセンター事業・・・・・・支出予算 37,944千円

(1) 障がい者ヘルパーセンター事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上に取り組み、研修会への参加、勉強会を定期的に開催していきます。
- ③障がい者相談支援事業所へ空き状況を報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ④人材育成ができる体制づくりを行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
①毎月1回はパート職員を含めた自主研修会を開催し、感染症や災害への対応力強化、認知症への対応強化、虐待防止に取り組みます。	100%	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体で集まらず少人数での開催としました。7月、8月、9月は書面による伝達、研修を行いました。自主研修内容（新型コロナウイルス感染症対応について、食中毒予防について、ヒヤリハットについて、交通安全について、熱中症予防・対処法、認知症、感染症、災害、虐待防止について）						
②資質向上、専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加し、事業所にて伝達します。（1回は認知症に特化した研修）	44%	②外部研修の参加状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あんず</td> <td>2回×8名（職員数）＝16回</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウェブ研修を活用し参加しました。（コロナ感染症の対応について）1名（なんとめでたいご臨終について）4名 障がい相談援助更新研修1名、権利擁護について1名 パート職員を含むミーティングで、研修内容の伝達を行いました。 また、課内において正職員を対象とした内部（リーダー）研修に計3回（参加回数12回）出席しました。</p>		行動計画による目標	参加回数	あんず	2回×8名（職員数）＝16回	7回
	行動計画による目標	参加回数						
あんず	2回×8名（職員数）＝16回	7回						
③毎月1回はパート職員を含めた情報交換を行い、支援内容の見直し等につなげます。	100%	③定期的にミーティングを行い、必要時には利用者ごとにケース会議を開催し、支援方法等について話し合いました。また、話し合った内容を担当ケアマネに報告し、支援内容の見直しに至ったケースもあります。						
④延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。	89%	④延べ利用者は164名減でした。令和2年度8,851名×1.1＝9,736名 令和3年度8,687名 9,736名/8,687名×100＝89.2%						

<p>⑤職員確保に努めます。(パート職員1名以上)</p> <p>⑥事業継続計画(BCP)の作成と計画に沿った訓練の実施(年1回)を検討します。</p> <p>⑦その他(計画外)</p>	<p>0%</p> <p>50%</p>	<p>⑤パート職員において、4月に1名増加しましたが、3月末までに3名退職(定年退職含む)しました。</p> <p>⑥感染症の事業継続計画は作成に着手し、訓練については机上訓練を実施しました。災害のBCPについては令和4年度に作成予定です。</p> <p>⑦営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 延べ利用者数 <table border="1" data-bbox="752 491 2154 689"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">自立支援給付(居宅、重度訪問、同行援護)</th> <th colspan="2">受託事業(移動支援)</th> </tr> <tr> <th>延べ利用者数</th> <th>延べ提供時間数</th> <th>延べ利用者数</th> <th>延べ提供時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス提供状況</td> <td>8,389名</td> <td>9,963時間30分</td> <td>298名</td> <td>566時間30分</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-181名</td> <td>-432時間30分</td> <td>17名</td> <td>-24時間30分</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 年度別推移 <table border="1" data-bbox="752 737 2154 1034"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>39,013,546円</td> <td>47,553,937円</td> <td>55,465,187円</td> <td>57,572,344円</td> <td>53,812,530円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>6,532名</td> <td>7,973名</td> <td>8,809名</td> <td>8,851名</td> <td>8,687名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>4,931,322円</td> <td>13,986,012円</td> <td>19,011,067円</td> <td>13,470,327円</td> <td>13,129,557円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-7,311,010円</td> <td>9,054,690円</td> <td>5,025,055円</td> <td>-5,540,740円</td> <td>-250,770円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 一体型移送サービスでも新型コロナウイルス感染症予防対策の影響もあり、外出の機会が減ったことに伴い件数が減少しました。 		自立支援給付(居宅、重度訪問、同行援護)		受託事業(移動支援)		延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数	サービス提供状況	8,389名	9,963時間30分	298名	566時間30分	[前年比]	-181名	-432時間30分	17名	-24時間30分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	サービス活動収益	39,013,546円	47,553,937円	55,465,187円	57,572,344円	53,812,530円	延べ利用者数	6,532名	7,973名	8,809名	8,851名	8,687名	当期利益	4,931,322円	13,986,012円	19,011,067円	13,470,327円	13,129,557円	当期利益増減値 [前年比]	-7,311,010円	9,054,690円	5,025,055円	-5,540,740円	-250,770円
	自立支援給付(居宅、重度訪問、同行援護)			受託事業(移動支援)																																															
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数																																															
サービス提供状況	8,389名	9,963時間30分	298名	566時間30分																																															
[前年比]	-181名	-432時間30分	17名	-24時間30分																																															
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																														
サービス活動収益	39,013,546円	47,553,937円	55,465,187円	57,572,344円	53,812,530円																																														
延べ利用者数	6,532名	7,973名	8,809名	8,851名	8,687名																																														
当期利益	4,931,322円	13,986,012円	19,011,067円	13,470,327円	13,129,557円																																														
当期利益増減値 [前年比]	-7,311,010円	9,054,690円	5,025,055円	-5,540,740円	-250,770円																																														

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1286 280 1342"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の要望を聞き、丁寧に利用者の支援内容の検討等を行うことで、ニーズに沿ったサービスが提供できました。また、訪問時に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減、精神的ストレスの軽減に努めることができました。 通所介護等で開催した勉強会に参加しました。また、その資料を活用し、各地区のミーティング時に伝達研修を行いました。 居宅介護支援事業所と連携を密にして情報交換を行い、支援内容の検討を行いました。
評価	B		

・課が統合され、係長・主任・系の職階による業務の見直しを行いました。職階の役割が曖昧でうまく機能できませんでした。また、職員からの意見・要望についてこまめに話を聴くことでストレスを軽減し、資質向上に努めました。

3. 訪問入浴介護事業・・・支出予算 15,738千円

(1) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上に取り組み、研修会への参加、勉強会を定期的に開催していきます。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
①資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加し、事業所にて伝達します。	150%	<p>①外部研修の参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問入浴</td> <td>1回×8名(職員数) = 8回</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウェブによる研修会に参加し資質向上に努めました。(研修テーマ：心不全ネットワーク、with コロナ これから私たちに必要な感染対策、在宅高齢者の褥瘡対策・栄養管理の重要性、膀胱の声を聴いてみましょう、在宅医療・多職種連携、コロナと共生する新たな地域医療の在り方、パーキンソン病の治療、神経難病とともに生活するために) ウェブ研修会を活用することで、研修会に参加しやすい環境ができました。また、課内において正職員を対象とした内部(リーダー)研修も計3回(参加回数3回)開催しました。</p>		行動計画による目標	参加回数	訪問入浴	1回×8名(職員数) = 8回	12回
	行動計画による目標	参加回数						
訪問入浴	1回×8名(職員数) = 8回	12回						
②毎月1回はパート職員を含めた自主研修会を開催し、感染症や災害への対応力強化、認知症への対応強化、虐待防止に取り組みます。	100%	<p>②毎月のミーティングで研修内容について伝達しました。</p> <p>特に皮膚トラブルや感染予防対策については再確認し、入浴時の対応に役立てました。</p> <p>ケース検討、話し合いを訪問終了後、毎回行いました。連絡ノートやシフト表を活用して利用者の情報共有を行いました。</p>						
③各居宅介護支援事業所へ空き状況の報告をし、スムーズなサービス提供につなげます。	100%	<p>③月1回、居宅介護支援事業所9事業所に情報提供し、利用希望者には迅速な対応を行いました。</p> <p>無料お試しサービスがあることも周知しましたが、利用者はいませんでした。</p>						
④延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。	83%	<p>④延べ利用者は104名減でした。令和2年度1,281名×1.1=1,409名 令和3年度1,177名</p> <p>1,177名/1,409名×100=83.5%</p>						

<p>⑤職員確保に努めます。(パート職員2名程度)</p> <p>⑥利用者満足度を確認するためのアンケートを実施します。</p> <p>⑦事業継続計画(BCP)の作成と計画に沿った訓練の実施(年1回)を検討します。</p> <p>⑧年度内でも収支の状況のみをみて、事業継続について検討します。</p> <p>⑨その他(計画外)</p>	<p>50%</p> <p>100%</p> <p>50%</p> <p>100%</p>	<p>⑤パート職員1名の増加がありましたが、利用者数の増加の伸び悩みがあり、活動してもらっていません。</p> <p>⑥アンケートを実施し満足度調査を確認しました。満足して利用していただいております。</p> <p>⑦感染症の事業継続計画は作成に着手し、訓練については机上訓練を実施しました。災害のBCPについては令和4年度に作成予定です。</p> <p>⑧収支状況は厳しく、通所介護や他の事業との兼務で効率的な運営ができないか協議しました。</p> <p>⑨営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数 <table border="1" data-bbox="750 582 1146 730"> <tr> <td></td> <td>阿児事業所</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,177名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-104名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・年度別推移 <table border="1" data-bbox="750 782 2145 1077"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>18,687,159円</td> <td>16,351,091円</td> <td>17,094,500円</td> <td>17,667,360円</td> <td>15,997,450円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,419名</td> <td>1,238名</td> <td>1,281名</td> <td>1,281名</td> <td>1,177名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>888,858円</td> <td>-450,122円</td> <td>-295,066円</td> <td>350,428円</td> <td>-667,518円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>393,716円</td> <td>-1,338,980円</td> <td>155,056円</td> <td>645,494円</td> <td>-1,017,946円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問入浴での利用者増加に繋げることはできませんでしたが、通所介護で機能訓練加算が算定できるよう、看護師が協力できる体制を取りました。 		阿児事業所	延べ利用者数	1,177名	[前年比]	-104名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	サービス活動収益	18,687,159円	16,351,091円	17,094,500円	17,667,360円	15,997,450円	延べ利用者数	1,419名	1,238名	1,281名	1,281名	1,177名	当期利益	888,858円	-450,122円	-295,066円	350,428円	-667,518円	当期利益増減値 [前年比]	393,716円	-1,338,980円	155,056円	645,494円	-1,017,946円
	阿児事業所																																					
延べ利用者数	1,177名																																					
[前年比]	-104名																																					
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																	
サービス活動収益	18,687,159円	16,351,091円	17,094,500円	17,667,360円	15,997,450円																																	
延べ利用者数	1,419名	1,238名	1,281名	1,281名	1,177名																																	
当期利益	888,858円	-450,122円	-295,066円	350,428円	-667,518円																																	
当期利益増減値 [前年比]	393,716円	-1,338,980円	155,056円	645,494円	-1,017,946円																																	

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="89 1324 291 1372"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	<p>・市内唯一の事業所であり、ニーズがあれば利用につながるサービスですが終末期の方が多く、お亡くなりになる方が多く利用者減となりました。また、新規利用の申し込みがあってもすぐにお亡くなりになってしまうケースが多々ありました。</p>
評価	C		

4. 福祉用具貸与事業・・・・・・・・支出予算 1,680千円

(1) 福祉用具貸与事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿った福祉用具を提供することにより、利用者の心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加、勉強会を定期的に行います。
- ③各居宅介護支援事業所への周知を行うなど連携をとりながら、新規利用者の獲得に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況									
①資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加し、事業所にて伝達します。	0%	①日程調整ができず研修会に参加できませんでした。									
②各居宅介護支援事業所へ周知等を行い、利用者増加に努め、延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。	80%	②居宅介護支援事業所へカタログの配布や訪問を行いました。利用者増にはつながりませんでした。 補完型福祉用具利用者1名が介護保険に移行しましたが、施設入所や死亡された利用者が多く、利用者減となってしまいました。 延べ利用者は16名減でした。令和2年度129名×1.1=141名 令和3年度113名 113名/141名×100=80.1%									
③毎月1回は自主研修会を開催し、感染症や災害への対応力強化、認知症への対応強化、虐待防止に取り組みます。	100%	③事業所内研修で、新型コロナウイルス感染症対応について、食中毒予防について、ヒヤリハットについて、交通安全について、熱中症予防・対処法、認知症、感染症、災害、虐待防止について参加しました。（出席者：各1名）									
④事業継続計画（BCP）の作成と計画に沿った訓練の実施（年1回）を検討します。	50%	④感染症の事業継続計画は作成に着手し、訓練については机上訓練を実施しました。災害のBCPについては令和4年度に作成予定です。									
⑤年度内でも収支の状況を見て、事業継続について検討します。	100%	⑤収支状況や市内のサービス量、職員の担い手などを総合的に判断し、令和4年度において方向性を示します。									
⑥その他（計画外）		⑥営業実績 ・延べ利用者数									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>貸与利用者数</th> <th>販売利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>110名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-18名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		貸与利用者数	販売利用者数	延べ利用者数	110名	3名	[前年比]	-18名	2名
	貸与利用者数	販売利用者数									
延べ利用者数	110名	3名									
[前年比]	-18名	2名									

		・年度別推移				
		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
サービス活動収益		2,285,340 円	2,361,667 円	2,411,738 円	2,020,710 円	1,637,380 円
延べ利用者数		142 名	152 名	163 名	128 名	110 名
当期利益		896,731 円	935,927 円	410,475 円	233,734 円	115,493 円
当期利益増減値 [前年比]		96,228 円	39,196 円	-525,452 円	-176,741 円	-118,241 円
居宅介護事業所への周知を行い、利用者増加に努めましたが、住宅改修の絡みもあり利用者を増やすことができませんでした。						

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿った福祉機器を貸与、販売することで、本人の自立の支援、介護負担の軽減に努めました。 ・通所介護等で開催した勉強会に参加しました。 ・居宅介護支援事業所へ周知、情報共有を行いました。利用者の増加につなげることができませんでした。
----------------	---

5. 訪問看護事業・・・・・・・・支出予算 12,672千円

(1) 訪問看護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上（新たな知識の習得、多職種との連携強化）に取り組み、研修会への参加、勉強会を定期的で開催していきます。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①毎月1回訪問看護連絡協議会での事業所管理者会議へ出席します。	92%	①新型コロナウイルス感染症の対策を行い、毎月1回の管理者会議に出席し、情報を共有し、資質の向上に努めました。8月は開催がありませんでした。11回出席

<p>②資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加し、事業所にて伝達します。</p>	400%	<p>②外部研修の参加状況</p> <table border="1" data-bbox="763 180 1487 284"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1回×4名(職員数) =4回</td> <td>16回</td> </tr> </tbody> </table> <p>専門研修：16回参加（管理者会議後の専門研修11回は除く） （第2回伊勢志摩心不全ネットワーク研修会、with コロナ これから私たちに必要な感染対策、在宅高齢者の褥瘡対策・栄養管理の重要性、膀胱の声を聴いてみましょう、認知症事例検討会、在宅医療・多職種連携、夏場にかけて心不全に打ち勝つために、コロナと共生する新たな地域医療の在り方、今こそ若さを取り戻そう・老いに負けない体のつくり方、パーキンソン病の治療について、神経難病とともに生活するために、コロナで事業所が閉鎖された時の協働体制について、褥瘡の評価とケア、心不全患者さんへの療養指導、精神疾患をもつ方との関わり、災害時の対応） ウェブ研修会を活用することで、研修会に参加しやすい環境ができました。また、課内において正職員を対象とした内部（リーダー）研修を計3回（参加回数5回）開催しました。</p>		行動計画による目標	参加回数	訪問看護	1回×4名(職員数) =4回	16回
	行動計画による目標	参加回数						
訪問看護	1回×4名(職員数) =4回	16回						
<p>③毎月1回は自主研修会を開催し、感染症や災害への対応力強化、認知症への対応強化、虐待防止に取り組みます。</p>	100%	<p>③研修会に参加した職員が、研修会の資料を使って毎回のケースカンファレンス実施の際に伝達し、支援に活用しました。</p>						
<p>④各居宅介護支援事業所へ空き状況の報告をし、スムーズなサービス提供につなげます。</p>	100%	<p>④月1回、居宅介護支援事業所4カ所へ周知、情報共有を行い、利用希望者には迅速な対応を行いました。医療保険による新規利用者は2名でした。</p>						
<p>⑤延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。</p>	84%	<p>⑤延べ利用者は229名減でした。令和2年度1,938名×1.1=2,131名 令和3年度1,794名 $1,794/2,131 \times 100 = 84\%$</p>						
<p>※三重県看護協会によるアドバイザー事業の助言を基に、病状の安定した利用者に対しターゲットを絞り、生きがいを見出してもらえりような支援を行い利用者増加に努めます。</p>	100%	<p>※昨年助言をうけた内容を少しですが実施し、現利用者には好評ですが、そのことが新規利用者獲得にはつながっていません。もう1つの助言である「慢性疾患に特化した事業所としての運営」については事業者内で協議し検討しました。</p>						
<p>⑥年度内でも収支の状況のみを、事業継続について検討します。</p>	100%	<p>⑥法人全体の看護師不足を補うため、週1回阿児通所・磯部通所及び月1回生活介護事業所へ応援体制を取りました。また、訪問入浴の看護師同様、デイサービスでの機能訓練加算算定に向けての協力体制を取りました。</p>						
<p>⑦事業継続計画（BCP）の作成と計画に沿った訓練の実施（年1回）を検討します。</p>	50%	<p>⑦感染症の事業継続計画は作成に着手し、訓練については机上訓練を実施しました。災害のBCPについては令和4年度に作成予定です。</p>						

⑧その他（計画外）		⑧営業実績 ・延べ利用者数 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 35%;">介護保険</td> <td style="width: 35%;">医療保険</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,709名</td> <td>85名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-229名</td> <td>85名</td> </tr> </table> ・年度別推移 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 12.5%;">平成29年度</td> <td style="width: 12.5%;">平成30年度</td> <td style="width: 12.5%;">令和元年度</td> <td style="width: 12.5%;">令和2年度</td> <td style="width: 12.5%;">令和3年度</td> </tr> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>15,123,190円</td> <td>11,146,590円</td> <td>10,947,290円</td> <td>12,393,769円</td> <td>11,652,250円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>2,405名</td> <td>1,924名</td> <td>1,791名</td> <td>1,938名</td> <td>1,794名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-198,946円</td> <td>1,771,213円</td> <td>-2,124,547円</td> <td>-1,742,243円</td> <td>-2,034,284円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-3,698,107円</td> <td>1,970,159円</td> <td>-3,895,760円</td> <td>382,304円</td> <td>-292,041円</td> </tr> </table>		介護保険	医療保険	延べ利用者数	1,709名	85名	[前年比]	-229名	85名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	サービス活動収益	15,123,190円	11,146,590円	10,947,290円	12,393,769円	11,652,250円	延べ利用者数	2,405名	1,924名	1,791名	1,938名	1,794名	当期利益	-198,946円	1,771,213円	-2,124,547円	-1,742,243円	-2,034,284円	当期利益増減値 [前年比]	-3,698,107円	1,970,159円	-3,895,760円	382,304円	-292,041円
	介護保険	医療保険																																							
延べ利用者数	1,709名	85名																																							
[前年比]	-229名	85名																																							
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																				
サービス活動収益	15,123,190円	11,146,590円	10,947,290円	12,393,769円	11,652,250円																																				
延べ利用者数	2,405名	1,924名	1,791名	1,938名	1,794名																																				
当期利益	-198,946円	1,771,213円	-2,124,547円	-1,742,243円	-2,034,284円																																				
当期利益増減値 [前年比]	-3,698,107円	1,970,159円	-3,895,760円	382,304円	-292,041円																																				

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">C</td> </tr> </table>	評価	C	・経営実績について、病院や診療所等から医療保険による新規利用者が2名あり増加しましたが、介護保険の利用者は新規利用者の申し込みはあるもののお亡くなりになった方や施設入所となった方がいたため、減少となりました。 ・利益が減少したのは法人運営に繰り出し費用が増加したことと車検の車両があったためです。
評価	C		

6. 通所介護事業・・・・・・・・支出予算 268,251千円

(1) 通所介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス

■目標

- ①居宅介護支援事業所に空き情報を随時報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得及び利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組みます。
- ②職員の資質向上（感染症対策・災害対策・虐待防止等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的で開催します。
- ③利用者の地域における社会参加活動や地域住民との交流を促進する観点から、地域密着型通所介護などと同様に、事業の運営に当たって、感染症対策を講じながら地域住民やボランティア団体等との連携・協力を行うなどの地域との交流に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																		
①通所会議を定期的で開催します。(年6回)	100%	①通所会議を6回開催(5月、7月、9月、11月、1月、3月)しました。																		
②課題検討会議において、ICTの活用による生産性の向上や事業継続計画(BCP)について協議します。(年6回)	100%	②課題解決会議を6回開催(4月、6月、8月、10月、12月、2月)し、ICTの活用による生産性の向上や事業継続計画(BCP)について協議しました。																		
③看護師会議を開催します(年3回)	100%	③看護師会議を3回開催(6月、9月、3月)しました。6月には志摩の里と協定を締結し、理学療法士の派遣により実施する生活機能向上連携加算や機能訓練加算の実施内容について、9月には看護師の応援体制や11月に開催予定の勉強会(感染症)について、3月には令和4年度の組織体制(応援)について話し合いを行ないました。																		
④常勤職員は外部研修に参加します。(1人2回以上)	59%	④外部研修の参加状況 <table border="1" data-bbox="745 667 1489 975"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜島通所</td> <td>2回×9名(職員数)=18回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>大王通所</td> <td>2回×6名(職員数)=12回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>阿児通所</td> <td>2回×4名(職員数)=8回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>磯部通所</td> <td>2回×7名(職員数)=14回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>52回</td> <td>31回</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催される研修会が少なかつたり人数制限があつたりしたため、計画どおり参加できませんでしたが、課内において正職員を対象とした内部(リーダー)研修を計3回(参加回数30回)開催しました。</p>		行動計画による目標	参加回数	浜島通所	2回×9名(職員数)=18回	13回	大王通所	2回×6名(職員数)=12回	4回	阿児通所	2回×4名(職員数)=8回	6回	磯部通所	2回×7名(職員数)=14回	8回	計	52回	31回
	行動計画による目標	参加回数																		
浜島通所	2回×9名(職員数)=18回	13回																		
大王通所	2回×6名(職員数)=12回	4回																		
阿児通所	2回×4名(職員数)=8回	6回																		
磯部通所	2回×7名(職員数)=14回	8回																		
計	52回	31回																		
⑤資質向上のため、勉強会を開催します。(年3回)	100%	⑤各事業所において、9月に「送迎・運転中に災害に遭遇した時の対応について」11月に「感染症対策について」1月と3月に「虐待防止について」の勉強会を開催しました。さらに職員避難カードを作成しました。																		
⑥昨年度、阿児通所で実施しました外部のリハビリ専門職(志摩の里)を活用した生活機能向上連携を各事業所においても実施します。(機能訓練強化)	100%	⑥各事業所において、志摩の里から担当職員の派遣を受け、連携して実施しました。 (浜島22回32時間、大王16回25時間、阿児10回11時間、磯部18回37時間)																		
⑦阿児通所において収入減とならないように工夫しながら営業日を週5日にします。	78%	⑦6月から週5日営業としました。なお、収入は当初予算より9,240,000円未達成でした。																		

⑧1日の平均利用を浜島35名、大王27名、阿児22名、磯部30名とします。

浜島 106%
大王 117%
阿児 80%
磯部 107%

⑧営業実績

・経営状況（予防・基準該当生活介護含む）

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	合計
利用定員	45名	40名	30名	40名→45名	160名
延べ利用者数	11,711名	8,769名	4,818名	9,820名	35,118名
[前年比]	+617名	+1,256名	-1,234名	+611名	+1,250名
サービス提供日数	307日	308日	266日	306日	
1日平均利用者数	38.1名	28.5名	18.1名	32.1名	116.8名
前年度 1日平均利用者数	36.2名	25.2名	19.7名	30.1名	111.2名
当期利益	12,903,266円	5,007,232円	-5,624,098円	9,875,130円	22,161,530円
当期利益増減値 [前年比]	-765,944円	8,629,775円	-6,498,828円	-303,082円	1,061,921円

・年度別推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
サービス活動収益	287,290,029円	280,098,404円	274,740,914円	295,860,053円	304,080,184円
延べ利用者数	33,395名	32,921名	32,856名	33,868名	35,118名
当期利益	13,922,715円	2,131,961円	-4,589,461円	21,099,609円	22,161,530円
当期利益増減値 [前年比]	-5,119,627円	-11,790,754円	-6,721,422円	25,689,070円	1,061,921円

各事業所の分析については以下のとおりです。

・浜島通所介護事業所

営業日は前年度より1日少なくなりましたが、平均利用者数は38.1名（前年度36.2名）で延利用者数は617名の増加です。収益は前年度より5,010,000円増加、当初予算より7,900,000円増加しました。

・大王通所介護事業所

営業日は前年度より10日多く、平均利用者数は28.5名（前年度25.2名）で延利用者数は1,256名の増加です。収益は前年度より10,520,000円増加、当初予算より5,640,000円増加しました。

		<ul style="list-style-type: none"> ・阿児通所介護事業所 6月より週5日営業としたため、営業日は前年度より41日少なくなりました。平均利用者数は18.1名（前年度19.7名）で延利用者数は1,234名減少しました。収益は前年度より13,360,000円減少、当初予算より9,240,000円減少しました。 ・磯部通所介護事業所 営業日は前年度より2日少なくなりましたが、平均利用者数は32.1名（前年度30.1名）で延利用者数は611名増加しました。収益は前年度より6,040,000円増加、当初予算より9,980,000円増加しました。
--	--	--

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の獲得及びサービス提供回数増に積極的に取り組んだため、大幅な利用者増となっています。空き情報につきましては、ショートステイを利用される方がいる時に追加利用ができるよう居宅介護支援事業所と連携しました。 ・9月に災害対策、11月に感染症対策、3月に虐待防止についての勉強会を開催しました。 ・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令された影響により、地域との交流は自粛しました。
評価	A		

7. 介護予防事業（受託事業）・・・・・・支出予算 4,793千円

(1) 介護予防事業（菜の花館）

■目標

- ①外出の機会が少ない高齢者等が、要支援・要介護に陥らず、生きがいをもち地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。
- ②利用者の地域における社会参加活動や地域住民との交流を促進する観点から、事業の運営に当たって、感染症対策を講じながら地域住民やボランティア団体等との連携・協力を行うなどの地域との交流に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①菜の花館の運営を行います。 ⇒生きがい活動支援通所事業の実施（水曜日・金曜日） ⇒一般利用（火曜日、木曜日）	88%	①事業実績		
		・延べ利用者数		
			生きがい活動支援通所（水・金）	一般高齢者通所（火・木）
		延べ利用者数	807名	211名
		[前年比]	+265名	-409名

②施設・事業の将来像を市と協議します。	100%	※生きがい活動支援通所事業につきましては、緊急事態宣言期間中（8月27日～9月30日）は休止しました。またまん延防止等重点措置として、一般高齢者通所事業（5月10日～11月30日、1月24日～3月31日）は休止しました。 ②生きがい活動支援通所の利用者については対象利用者を要支援の方も利用できるような緩和されたため、1か月間休館しましたが利用者は増加しました。将来像について、介護予防拠点施設が志摩市で菜の花館のみであるため、当面はこのままで事業を実施していきます。
---------------------	------	---

■評価

目標の達成度 評価 C	・生きがい活動支援通所につきましては対象利用者が緩和されたため増加となりました。しかしながら、一般高齢者通所は新型コロナウイルス感染拡大防止によりほとんどの期間休止しましたので、延利用者数は減少しました。
----------------	--

○障がい福祉課（事業方針）

障がい福祉課においては、障がいのある児・者が日中活動を有意義に利用できるように、関係機関と連携しながら事業運営していくために次の取り組みを行います。特に、障がい福祉分野で必要となる資格取得に向けて、今後、障がい福祉課において一元管理していきます。

また、事業所ごとに各種行事やイベント等での交流を通じて、障がい者や障がい児に対する理解を持ち、障がいの有無にかかわらず誰もがお互いを尊重し、ともに生きる社会を作っていくよう取り組んでいきます。

大災害などの非常時において本会の担うべき業務と事業の再開・継続に向けた過程を明らかにするために、障がい福祉課としての事業継続計画（BCP）を作成していきます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のための感染症対策委員会や、利用者の権利を擁護するための虐待防止委員会を設置していくよう検討していきます。



1. 障がい者生活介護センター事業・・・・・・・・支出予算 94,024千円

(1) 障がい者生活介護センター事業

■目標

①介護を要する障がいのある方に対し、通所による入浴、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のために必要な援助を行います。また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

②浸水想定区域となっているきらり事業所の高台移転について検討していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況												
<p>①質の向上のため一人2回以上外部研修に参加します。また、研修会参加者による伝達講習を実施し、全体のスキルアップを図ります。</p>	57%	<p>①外部研修参加の状況</p> <table border="1" data-bbox="748 328 1507 534"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かがやき</td> <td>2回×18名(職員数) = 36回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>きらり</td> <td>2回×16名(職員数) = 32回</td> <td>29回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>68回</td> <td>39回</td> </tr> </tbody> </table> <p>研修費用の有料化やコロナ禍でズーム研修も増加している状況の中、職員の知識や意欲向上につながるよう可能なかぎり研修に参加しましたが、目標を達成することができませんでした。</p> <p>かがやきでは、契約職員が1名異動、パート職員が1名退職となり、職員数が16名と減員したことも要因となりました。</p>		行動計画による目標	参加回数	かがやき	2回×18名(職員数) = 36回	10回	きらり	2回×16名(職員数) = 32回	29回	計	68回	39回
	行動計画による目標	参加回数												
かがやき	2回×18名(職員数) = 36回	10回												
きらり	2回×16名(職員数) = 32回	29回												
計	68回	39回												
<p>②毎月1回常勤会議を開催し、情報の共有、課題等の検討に取り組みます。</p>	106%	<p>②会議開催の状況</p> <table border="1" data-bbox="748 729 1583 877"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計(回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かがやき</td> <td>15回</td> <td>12回</td> <td>27回</td> </tr> <tr> <td>きらり</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所24回/年×2事業所 実績：51/48回</p> <p>両事業所とも感染対策を行いながら、職員会議と支援会議を毎月1回は実施することで、利用者の情報共有や個別支援に活かすことができました。また、サービスの質の向上に向けた事業所内研修の取り組みも継続して実施することができ目標は達成できました。</p>		職員会議	支援会議等	計(回数)	かがやき	15回	12回	27回	きらり	12回	12回	24回
	職員会議	支援会議等	計(回数)											
かがやき	15回	12回	27回											
きらり	12回	12回	24回											
<p>③職員のスキルアップのため、勉強会の機会(年1回以上)を確保します。</p>	0%	<p>③今年度も新型コロナウイルス感染症の影響があり、勉強会を実施することができませんでした。</p> <p>短時間ではありますが、朝礼を活用した職員教育の機会を確保し、情報共有することに努めました。</p>												
<p>④かがやき、きらりの両事業所において前年度延べ利用人数を最低限超えるよう実績目標とします。</p>	95%	<p>④営業実績</p> <p>・経営状況</p> <table border="1" data-bbox="748 1264 1715 1414"> <thead> <tr> <th></th> <th>かがやき事業所</th> <th>きらり事業所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>2,919名</td> <td>4,091名</td> <td>7,010名</td> </tr> </tbody> </table>		かがやき事業所	きらり事業所	合計	利用定員	20名	20名	40名	延べ利用者数	2,919名	4,091名	7,010名
	かがやき事業所	きらり事業所	合計											
利用定員	20名	20名	40名											
延べ利用者数	2,919名	4,091名	7,010名											

[前年比]	-179名	-139名	-318名
サービス提供日数	243日	243日	486日
1日平均利用者数	12.0名	16.8名	14.4名
前年度 1日平均利用者数	12.7名	17.3名	15.0名
当期利益	5,001,156円	-8,765,424円	-3,764,268円
当期利益増減値 [前年比]	5,036,503円	-2,449,144円	2,587,359円

・年度別推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
サービス活動収益	100,860,438円	100,385,715円	97,404,172円	101,791,077円	94,205,875円
延べ利用者数	8,017名	7,571名	7,368名	7,328名	7,010名
当期利益	15,859,718円	11,288,870円	2,743,391円	-6,351,627円	-3,764,268円
当期利益増減値 [前年比]	142,508円	-4,570,848円	-8,545,479円	-9,095,017円	2,587,359円

・かがやき

令和3年4月から毎日利用の方が1名増員、8月から月曜日のみ利用の方が1名増員しさらに12月からは木曜日にも利用追加がありました。9月から毎日利用の方が介護保険サービス利用に移行されたため1名減員となり、12月に毎日利用の方が1名亡くなり、同じく12月に特別養護老人ホームに入所された方が1名と合計3名の方が減員となりました。令和4年1月からは火曜日のみ利用の新規利用者が1名と、3月からは月・水曜日利用の新規利用者が1名増員となりました。なお、利用者数及び収益ともに、前年比で減少する結果となりました。

介護給付費収益は、前年比2,310,000円の減額で49,221,460円の決算額となりました。

・きらり

利用者状況としては、退所者3名、新規利用者3名で、前年と同様の35名の実利用者数となりました。また、長期休みのの方が継続して3名見受けられる状況となりました。新型コロナウイルス感染症のリスクに敏感な利用者の家族が1名おり、依然として長期で利用を取りやめている状況となっています。

⑤その他（計画外）	<p>介護給付費収益は、前年比1,210,000円の減額で42,244,941円の決算額となりました。</p> <p>⑤利用者の権利を擁護するための虐待防止委員会を設置していくよう検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会の実施（8回開催） 7月13日（火）、8月23日（月）、9月27日（月）、10月15日（金）、10月28日（木）、11月15日（月） 11月29日（月）、2月22日（火） 虐待防止対策実施要綱、虐待防止自己点検シート（チェックリスト）、身体拘束適正化指針、虐待防止マニュアル等の各種書類を整備しました。 虐待防止研修会の実施（1回開催） 11月29日（月）13:30～15:00に市川知律氏（有限会社With A Will 取締役）を講師に招き、虐待防止委員会の役割などを中心に、今後の虐待防止に向けた取り組みの研修会を開催しました。 参加者：23名（事業所の管理者及び管理職員）
-----------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 815 282 866"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>（かがやき）</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員会議と支援会議を毎月開催し、職員間で情報共有及び課題の検討を行いました。 また、空調機取替工事による居室移転の際にも、全体ミーティングを行い、極力サービス利用が低下しないように注意点等を確認し周知しました。 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で研修の機会は少なく、目標達成するには厳しい結果となりました。 下半期からはオンライン研修が多く開催されるようになったため、比較的研修会へは参加できるようになりました。今後は、オンライン研修への参加を中心として積極的な研修への参加を促していきます。 勉強会は実施することができませんでしたが、実際の現場での支援指導や職員間でのコミュニケーションを多く持ち、現場の支援に活かすことができました。 <p>（きらり）</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により行事イベントの中止や事業内容の一部変更等で自粛せざるを得ない状況が続きました。しかし、利用者及び家族の理解や協力のもと、職員間でも試行錯誤しながら感染対策（3密）に配慮し、少ない回数ではありましたがレクリエーション交流を楽しんでいただきました。 職員会議や支援会議の開催回数も達成し、職員間での情報共有ができて事業運営に活かすことができました。 外部研修は進捗率90%の達成率でしたが、事業所内研修の機会を取り入れることにより各職員が現場の支援に活かすことができました。 海拔が2メートル以下で浸水想定区域となっているきらり事業所及びはばたき事業所の高台移転について、令和3年度においては以下の取組を行いました。 ①令和3年8月11日付けで志摩市へ、事業拠点の高台移転についての検討をするための協議機会設定の要望書を提出しました。
評価	B		

②令和3年12月6日に、志摩市長及び副市長との意見交換会を実施しました。志摩市としては、社協が使用する施設を優先しての財源支援は困難で、社協独自財源により建設していく前提であれば助言や相談等の支援は可能であるとの見解でした。

2. 放課後等デイサービス事業・・・・・・・・支出予算 19,833千円

(1) 障がい児童デイサービスセンター事業

■目標

- ①障がいのある学齢期の子どもたちの健全な育成を図るため、授業の終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練や指導、集団生活への適応訓練、社会との交流の促進等を行い、様々な体験を通じ個々の子どもたちの状況に応じた発達支援を提供します。
- ②事業所の実情に応じた創意工夫を図り提供する支援の質の向上に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況								
①支援の質の向上のため、一人2回以上の外部研修に参加します。	67%	①外部研修参加の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行動計画による目標</th> <th>参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くれよん</td> <td>2回×6名(職員数) = 12回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table>		行動計画による目標	参加回数	くれよん	2回×6名(職員数) = 12回	8回		
	行動計画による目標	参加回数								
くれよん	2回×6名(職員数) = 12回	8回								
②毎月支援会議及び常勤会議を開催し、情報の共有や支援課題の検討等に取り組みます。	67%	②会議開催の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計(回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くれよん</td> <td>8回</td> <td>8回</td> <td>16回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：24回/年 実績：16回/24回</p>		職員会議	支援会議等	計(回数)	くれよん	8回	8回	16回
	職員会議	支援会議等	計(回数)							
くれよん	8回	8回	16回							
③職員のスキルアップや事故・虐待防止のために職員全体会議及び勉強会を確保します。(年4回以上)	200%	③職員全体会議は年8回実施し、虐待防止研修の伝達や感染症対策の机上訓練において、職員全員が感染症に対するリスクを回避するための協議を行いました。								
④相談支援事業所と連携しながら、成長の変化が著しい利用者に対応するため、再アセスメント(年1回)を計画していきます。 また、少子化により実利用者数が減少しているた	50%	④新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス担当者会議において利用者の保護者や相談支援事業所の担当者が全員参加しての会議を開催することは困難な状況でしたが、書面による情報共有や電話及びメール等による連絡確認で再アセスメントを行いました。 なお、利用者増員の積極的な啓発活動についても同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。								

<p>め、関係機関を通じパンフレット等で啓発活動していきます。</p> <p>⑤利用者数の減少に伴い、くれよん2（大王）の1カ所を拠点場所として運営し、前年度延べ利用人数を最低限超えるよう実績目標とします。</p>	64%	<p>⑤営業実績</p> <p>・経営状況</p> <table border="1" data-bbox="801 323 1469 772"> <tr> <td></td> <td>くれよん</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,668名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-899名</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>241日</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>6.9名</td> </tr> <tr> <td>前年度1日平均利用者数</td> <td>10.5名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>-4,256,306円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-7,174,930円</td> </tr> </table> <p>・年度別推移</p> <table border="1" data-bbox="801 820 2130 1118"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>37,758,046円</td> <td>30,332,397円</td> <td>26,877,689円</td> <td>26,197,232円</td> <td>16,559,780円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>3,481名</td> <td>3,250名</td> <td>2,830名</td> <td>2,567名</td> <td>1,668名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>10,420,645円</td> <td>1,991,897円</td> <td>-2,617,936円</td> <td>2,918,624円</td> <td>-4,256,306円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>12,345,131円</td> <td>-8,428,748円</td> <td>-4,609,833円</td> <td>5,536,559円</td> <td>-7,174,930円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・障がい児通所給付費収益は、前年比9,150,000円の減額で15,704,035円の決算額となりました。</p>		くれよん	利用定員	10名	延べ利用者数	1,668名	[前年比]	-899名	サービス提供日数	241日	1日平均利用者数	6.9名	前年度1日平均利用者数	10.5名	当期利益	-4,256,306円	当期利益増減値 [前年比]	-7,174,930円		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	サービス活動収益	37,758,046円	30,332,397円	26,877,689円	26,197,232円	16,559,780円	延べ利用者数	3,481名	3,250名	2,830名	2,567名	1,668名	当期利益	10,420,645円	1,991,897円	-2,617,936円	2,918,624円	-4,256,306円	当期利益増減値 [前年比]	12,345,131円	-8,428,748円	-4,609,833円	5,536,559円	-7,174,930円
	くれよん																																																	
利用定員	10名																																																	
延べ利用者数	1,668名																																																	
[前年比]	-899名																																																	
サービス提供日数	241日																																																	
1日平均利用者数	6.9名																																																	
前年度1日平均利用者数	10.5名																																																	
当期利益	-4,256,306円																																																	
当期利益増減値 [前年比]	-7,174,930円																																																	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																													
サービス活動収益	37,758,046円	30,332,397円	26,877,689円	26,197,232円	16,559,780円																																													
延べ利用者数	3,481名	3,250名	2,830名	2,567名	1,668名																																													
当期利益	10,420,645円	1,991,897円	-2,617,936円	2,918,624円	-4,256,306円																																													
当期利益増減値 [前年比]	12,345,131円	-8,428,748円	-4,609,833円	5,536,559円	-7,174,930円																																													

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1321 282 1367"> <tr> <td>評価</td> <td>D</td> </tr> </table>	評価	D	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、長期休暇期間は学校介助員を要請していましたが、利用者数の減少に伴い夏休み期間のみ要請し、冬休みと令和4年3月の春休みは現状職員で対応しました。 ・年間をとおして、コロナ禍の影響や少子化による利用者数の減少等により、延べ利用者数は前年比899名の減少で大きく落ち込む結果となりました。
評価	D		

3. 就労支援事業・・・・・・・・支出予算 167,420千円

(1) はばたき・あいのその・えりはら・ひまわり

■目標

【B型（はばたき、あいのその、えりはら）】

- ①一般企業等での就労が困難な障がいのある方に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
- ②浸水想定区域となっているはばたき事業所の高台移転について検討していきます。

【移行（ひまわり）】

- ①一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

【A型（ひまわり）】

- ①労働者（雇用）として働きながら一般就労を目指します。

【生活介護（えりはら）】

- ①介護を要する障がいのある方に、通所していただき、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のための必要な援助を行います。また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																						
<p>【共通】</p> <p>①職員会議を毎月1回開催します。 （その他必要に応じて職員会議・支援会議等を適宜開催）</p> <p>②サービスの質及び知識向上に向け外部研修への積極的な参加を行います。また、参加</p>	83%	<p>【共通】</p> <p>①会議開催の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #cccccc;"></th> <th style="background-color: #cccccc;">職員会議</th> <th style="background-color: #cccccc;">支援会議等</th> <th style="background-color: #cccccc;">計（回数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">はばたき</td> <td style="text-align: center;">9回</td> <td style="text-align: center;">7回</td> <td style="text-align: center;">16回</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">あいのその</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: center;">24回</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">えりはら</td> <td style="text-align: center;">11回</td> <td style="text-align: center;">11回</td> <td style="text-align: center;">22回</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ひまわり</td> <td style="text-align: center;">9回</td> <td style="text-align: center;">9回</td> <td style="text-align: center;">18回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所24回/年×4事業所 実績：80回/96回</p>				職員会議	支援会議等	計（回数）	はばたき	9回	7回	16回	あいのその	12回	12回	24回	えりはら	11回	11回	22回	ひまわり	9回	9回	18回
		職員会議	支援会議等	計（回数）																				
はばたき	9回	7回	16回																					
あいのその	12回	12回	24回																					
えりはら	11回	11回	22回																					
ひまわり	9回	9回	18回																					
179%	<p>②外部研修参加の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #cccccc;"></th> <th style="background-color: #cccccc;">行動計画による目標</th> <th style="background-color: #cccccc;">参加回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				行動計画による目標	参加回数																		
	行動計画による目標	参加回数																						

していない職員にも共有できるよう伝達研修等も積極的に取り入れていきます。

はばたき	2回×17名(職員数) =34回	130回
あいのその	2回×11名(職員数) =22回	15回
えりはら	2回×14名(職員数) =28回	17回
ひまわり	2回×7名(職員数) =14回	14回
計	98回	176回

※はばたきの参加回数は、伝達研修及び回覧研修を含んでいます。

③はばたき、あいのその、えりはら、ひまわりの事業所において、前年度延べ利用人数を最低限超えるよう実績目標とします。

95%

③就労支援事業営業実績

・経営状況

	はばたき	あいのその	えりはら	ひまわり	合計
利用定員	20名	20名	20名	20名	80名
延べ利用者数	4,400名	4,101名	4,652名	1,097名	14,250名
[前年比]	-562名	+10名	-260名	+168名	-644名
サービス提供日数	268日	245日	254日	242日	1,009日
1日平均利用者数	16.4名	16.7名	18.3名	4.5名	14.1名
前年度 1日平均利用者数	18.8名	16.8名	19.8名	3.8名	14.9名
当期利益	-2,110,254円	1,876,280円	-721,275円	-3,522,041円	-4,477,290円
当期利益増減値 [前年比]	-1,374,996円	-681,421円	-308,960円	6,697,475円	4,332,098円

・年度別推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
サービス活動収益	178,230,592円	171,102,888円	170,797,812円	170,011,343円	166,426,289円
延べ利用者数	14,826名	15,161名	14,917名	14,894名	14,250名
当期利益	15,825,430円	8,865,599円	4,677,985円	-8,809,388円	-4,477,290円
当期利益増減値 [前年比]	-5,111,679円	-6,959,831円	-4,187,614円	-13,487,373円	4,332,098円

・はばたき

<p>【はばたき】</p> <p>①様々な環境下においても工賃を維持できる よう作業計画の充実を図ります。</p>	<p>80%</p>	<p>前年度より3名が退所され、骨折入院や体調不良の利用者が2名おり、延べ利用者数は、前年と比較し減少しましたが、年度末より2名の利用見学者がおられ、その内の1名が利用開始となりました。</p> <p>今年度から、正職員ではなく嘱託職員を配置したことにより、人件費を抑制することができました。</p> <p>訓練等給付費収益は、前年比3,520,000円の減額で38,229,640円の決算額となりました。</p> <p>就労支援事業収益は、前年比780,000円の増額で11,308,856円の決算額となりました。</p> <p>・あいのその</p> <p>前年度から契約職員1名を増員したことにより、人件費が増額となりました。</p> <p>訓練等給付費収益は、前年比1,060,000円の増額で36,623,750円の決算額となりました。</p> <p>就労支援事業収益は、前年比650,000円の減額で6,484,708円の決算額となりました。</p> <p>・えりはら</p> <p>前年度より嘱託職員1名を減員したことにより、人件費を抑制することができました。</p> <p>介護給付費収益は、前年比1,670,000円の減額で6,073,010円の決算額となりました。</p> <p>訓練等給付費収益は、前年比150,000円の増額で35,746,640円の決算額となりました。</p> <p>就労支援事業収益は、前年比30,000円の減額で11,553,445円の決算額となりました。</p> <p>・ひまわり</p> <p>前年度の正職員1名・契約職員1名の体制から、今年度は正職員を配置せずに、契約職員2名体制で人員配置したことにより人件費を抑制することができました。</p> <p>訓練等給付費収益は、前年比1,310,000円の増額で6,999,770円の決算額となりました。</p> <p>就労支援事業収益は、前年比1,300,000円の増額で8,278,610円の決算額となりました。</p> <p>【はばたき】</p> <p>①天候不順や新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通りに作業を進められませんでした。志摩市役所からの三重とこわか大会用の花苗や三重県建設課からの花苗を受注しました。また、志摩市役所より青梅の収穫作業の委託や販売、志摩地中海村からのさらなる注文等を受け、工賃の維持ができるよう計画を立て取り組んできました。</p> <p>その結果、11月から3月まで利用者工賃の時給を50円増額することができました。</p> <p>また、志摩市農林課より令和4年度予算として、はばたき農園へ委託作業の相談も受けました。</p>
---	------------	--

<p>②職員資質向上へ向けた研修等への参加（常勤職員は年2回以上を目標）とパート職員を含めた勉強会を開催（年2回以上を目標）します。</p> <p>③作業メニューを様々な状況に合わせて柔軟に対応できるように構築していきます。</p> <p>④前年度に引き続き、現状の事業を見直し、整理を行います。</p>	<p>80%</p> <p>80%</p> <p>50%</p>	<p>②予定していた研修会が新型コロナウイルス感染症の影響による中止で参加できませんでしたが、「障害者総合支援法を知ろう」や「三重県でのコロナ感染対策研修会資料（コロナ感染を経験して）」や「課内会議で配布された資料」を、全職員に回覧することで一定の意識付けを行ってきました。また、自立支援協議会主催の精神障害の研修会では、事務局から資料データを借用し、直接講師の方より学ぶ機会を設けました。さらに、10月には、はばたき全職員を対象に虐待防止研修会（愚行権）を開催し、日常支援の疑問や悩みを解消するきっかけとなりました。</p> <p>③上記①と同様に、利用者が様々な作業メニューに対応できるよう、利用者の希望を尊重しながら本人の体力面を考慮して個別支援計画に基づいた支援を行いました。また、令和4年度から福祉市場レインボーの運営をひまわりへ移行することにより、早期に利用者への聞き取りを開始し、新たな個別プログラムの見直しをすることができました。</p> <p>④上半期は職員異動の影響があり、現状事業の把握のみとなってしまう、事業の見直しや整理まで行うことができませんでした。特に、福祉市場レインボーの運営についての方向性は、サンライフあごの改修工事計画も関係することから未整理のままとなりました。</p> <p>しかし、サンライフあごの改修工事が決定し、ひまわり事業所が福祉市場レインボーを事務所兼販売拠点場所として移転することになりました。そのため、はばたきによる移動販売担当職員の活動や販売物品の減少といった多くの課題が浮き彫りになり、その課題を作業場会議で検討してきましたが明確な方向性まで導くことができませんでした。また、借用している阿児町鶴方の畑が、土壌改良や除草作業等で管理方法が困難となり、地主に返還する計画を進めています。</p>
<p>【あいのその】</p> <p>①個別支援計画に基づく統一した支援ができる事業所づくりをします。</p> <p>②個別支援計画や記録等を、質の高いものにしていきます。</p> <p>③工賃向上のために戦略的な作業計画を立てられるようにします。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、工賃アップにつながり、利用者が望む</p>	<p>80%</p> <p>80%</p> <p>70%</p> <p>60%</p>	<p>【あいのその】</p> <p>①②サービス等利用計画、個別支援計画に基づく統一した支援の必要性についての研修を行いました。また、日々の利用者の個別記録書を個別支援計画に基づく様式に改良し、個別記録の内容を日々各職員が確認するようにしました。このような取り組みにより、定例会議での利用者のモニタリングや個別支援計画の見直しのための議論が、以前に比べて質の高いものになってきています。また、日頃の支援で個別支援計画を意識した支援が行われるようになってきています。定例会議に参加できなかった職員に対しては、個々に会議の内容を必ず報告するようにしています。</p> <p>③毎日の作業内容をサービス管理責任者が中心に決めていくようにしたことや、人員の見直しを行ったことにより、全体を把握しながら、作業内容の調整や決定が効率よく行われるようになってきました。しかし、まだ商品注文見込みの予測が確立できていないため、商品の在庫切れが発生することもあるため今後も改善の必要があります。</p> <p>④志摩地中海村、賢島宝生苑、鳥羽マルシェ、五っぼ、ひだまりへの販路拡大の取り組み、amazonへの出店アカウントの再設定、現行の自主製品の宣伝ネタの調査、イセカルダモンコーラ（クラフトコーラ）の共同製造依頼を行ってきましたが、大きく工賃アッ</p>

<p>仕事や製品の開拓を行います。(共通)</p> <p>【えりはら】</p> <p>①皇學館大学のCLL活動(「伊勢志摩定住自立共生学」教育プログラムによる地域人材育成)と協同し、手作りパンの製品企画、毎月のフェアパンのチラシのデザイン及びPR動画の企画・作成、店舗のリニューアル等を検討して実施していきます。</p> <p>※CLL活動は、伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の地域課題について体験を通して学ぶ学修プログラム。</p> <p>②受託作業の課題を整理し、工賃確保、工賃UPにつながる作業を考えていきます。</p> <p>③月、水、金曜日のシルバー人材センターからの受託事業(夕食用の弁当作り)に加えて、木曜日の昼食用の弁当作りを拡充していきます。</p>	<p>30%</p> <p>70%</p> <p>90%</p>	<p>プにつながる方策は見つけることはできていません。</p> <p>三重県主催の工賃向上研修を受講しましたので、参考にして工賃向上につながるよう模索していきます。</p> <p>今年度から草木染めを立ち上げる予定でしたが、効果的な販売方法が予測できないため実施には至っていません。</p> <p>志摩市からは市内公園の清掃作業の予算見積り依頼、商工会参画企業からのクッキーやプリン製造依頼など、昨年度志摩市地域自立支援協議会「働くプロジェクト」で、事業所の「作業可能リスト」を作成し、市や商工会等に配布した成果ができています。</p> <p>まだ、あいのそのの新規作業につながっていませんが、はばたきの作業にはつながっていきそうです。</p> <p>令和4年4月からアオサのゴミ選別の仕事を、カネウフーズ株式会社(本社:阿児町志島)より受託する予定です。</p> <p>【えりはら】</p> <p>①昨年度に引き続いて皇學館大学のCLL活動(「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる地域人材育成)と連携して、手作りパンの製品企画、フェアチラシのデザイン図案を学生と検討する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでした。ただし皇學館大学内におけるパン販売については、可能なかぎり実施して、えりはらのパンのPR(フェアのチラシ配布など)に努めました。</p> <p>②電気部品などの内職作業について、なるべく利用者ができる作業を増やすように委託元と作業内容を相談しながら作業に取り組みました。パンの販売先については、施設の所在地の利便性を活かして販路の拡大を図り、令和3年度より新たに近隣の市町にあるIPPO WORKPLACE ANTENNA SHOP & IPPO café(鳥羽市)や社会福祉法人三重済美学院(伊勢市)などへ出向いて移動販売を行いました。コロナ禍において移動販売でも制限があり、それほど工賃アップには繋がっていませんでしたが、昨年度並みの工賃の確保に努めました。また厨房作業については、委託元より弁当などの受注数が増えたため、利用者を増員して作業を行ないました。</p> <p>③配食及び弁当の受注販売の実績は下表のとおりです。弁当の受注数については、厨房作業の利用者を2名体制にして1回の受注可能数を増やしました。</p>
---	----------------------------------	--

			シルバー人材センター (配食)	弁当の受注販売
		実績金額	2,206,260 円	804,630 円
		前年度実績金額	2,146,620 円	847,390 円
		実績数	5,253 個	1,752 個
		前年度実績数	5,111 個	1,844 個
④南海トラフの巨大地震等の大規模災害が発生した場合、えりはらの事業所として非常時における社会貢献活動として何ができるのか研究します。	40%	④障がい福祉課内において策定している事業所版の事業継続計画（BCP）と連携しながら、災害時に事業所として何ができるのか検討しましたが、明確な答えは出ず、次年度に持ち越しました。		
【ひまわり】		【ひまわり】		
①牡蠣の販売方法及び販売ルートの開拓を行います。	90%	①牡蠣の販売については、本会のホームページからの注文及び電話、FAX での注文を受け付けました。 牡蠣シーズンの販売は、三重県内の社協職員や県外のリピーターへ、特にホームページを活用して周知していきました。		
②一般企業などへの就労を希望する人に、情報を提供し、企業との面接機会を増やします。	70%	②就労移行支援の利用登録者は、年度当初は1名でしたが、令和3年6月からは2名の利用者数推移となりました。 新型コロナウイルス感染症の影響下ではありますが、就労に関する情報の提供や事業所見学の実施、市内事業所での実習などを通してステップアップを目指し、就労に向けての支援を継続して行いました。		
③就労移行支援事業所の今後の方向性を検討します。	100%	③志摩市には就労移行支援事業所が「ひまわり」だけのため、今後も事業を継続していく予定です。		

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援の2事業所（あいのその・えりはら）は、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント行事や訪問販売での自主製品の売り上げが伸びず、生産活動収入が落ち込む結果となりました。 ・就労支援の2事業所（はばたき・ひまわり）は、就労支援事業収益が前年比微増ではありますが増額の結果となりました。 ・職員の資質向上のために積極的な外部研修への参加を促すよう計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間をとおして各種研修会の開催が中止や延期といった状況が続き、各事業所とも研修会参加の実績が厳しい結果となりました。
評価	

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

〒515-0214 三重県志摩市磯部町迫間 955

TEL 0599-56-1600

FAX 0599-56-1601

e-mail : honsho@shima-fukushikyo.or.jp

<http://www.shima-fukushikyo.or.jp>